

歯科技工所アンケート 報告書

 東京歯科保険医協会
歯科技工士問題検討委員会

1. 概要

【調査期間】 2023年9月1日～10月5日

【送付先】 東京都内の各区市町村のHP上に公表されている歯科技工所および、
東京都内の各区市町村にて開示請求手続き等により開示された歯科技工所

【送付件数】 1,805件（うち199件は宛名不明で返還）

【返信数】 265件／1,606件

【回収率】 16.5%

【送付および回収方法】 封書で送付し、封書で回収（無記名返送）

2. 主な特徴点

今回、3年前に行ったアンケート（以下、前回）では対象としなかった多摩地区の歯科技工所を含めてアンケート調査を行った。

開設者の年齢は60代が最も多く、次いで50代、40代であった。また、前回と比べ60代以上の割合45%から53%と8ポイント増加した。開業年数は、31年以上が43%で、前回と比べ6ポイント増となった。開業形態は個人65%、法人34%で前回から大きな変化はみられなかった。一方、年齢が高くなると個人開業が多い傾向がみられた。

歯科技工所の規模は歯科技工士1人のみが46%、歯科技工士1名と事務職員1名が15%と、合わせて61%の技工所が歯科技工士1名であった。一事業所当たりの人数が3人以下の技工所で78%を占めており、小規模な技工所が大半であることが示された。

歯科技工士会への入会は21%であり、76%が入会していなかった。開業区分別では、法人で74%、個人で77%が未入会であった。年齢では、20代で100%、30代で79%、40代で91%が未入会であった。

歯科医師とのコミュニケーションについては、「取れている」が86%と前回の「よく出来ている」「出来ている」を合わせた77%よりも9ポイント増加した。反して「あまり出来ていない」「出来ていない」との回答は前回は15%だったのに対し、12%と3ポイント減少していた。年齢による差はあまり認められないが、個人より法人開業の方がコミュニケーションを取れている傾向があり、前回とは逆の傾向であった。

1週間の労働時間をみると、60時間を越えているとの回答は36%で前回の48%よりも12ポイント減少した。また、個人では1週間の労働時間が50時間以内との回答が40%にとどまり、1週間の休日については、週1日以下との回答が55%となっていた。個人開業の技工所、3人以下の小規模な技工所で労働時間が長い傾向がみられた。法人では、1週間の休日が2日との回答が63%であり、前回から12ポイント増加していた。1週間の労働時間は60時間以内との回答が73%であり、個人開業の技工所と比べると、法人の方が働き方の是正が進んでいることが窺えた。可処分所得別では60時間以上の労働時間で200万円以内が個人では22%、法人で26%であった。60時間以上の労働時間で601万円以上が個人では55%、法人では25%であった。

昨年度の総売り上げについては、250万円以内が17%であり、500万円以内が34%と前

回よりも7ポイント増加した。個人では251～500万円が25%で最も多く、また500万円以内が49%で、前回39%よりも10ポイント増加した。法人では5,001万円以上が34%と最も多かった。

売りに占める保険と自費の割合をみると、保険を80%以上行っている技工所が52%と半数を超えた。自費100%の技工所は16%で、前回8%よりも8ポイント増加していた。個人では保険が大きな割合を占める技工所が多く、法人では自費が大きな割合を占める技工所が多かった。製作歯科技工物に占める保険と自費の割合は、保険を80%以上行っている技工所が53%であった。売上に占める保険と自費の割合と同じく、個人では保険、法人では自費の割合が高い傾向にあった。

可処分所得を見ると200万円以内が30%と最も多く、前回22%よりも8ポイント増加していた。次いで201～300万円19%となり、合わせて49%が300万円を下回る所得と回答した。特に個人開業では62%が300万円以内と回答しており、長時間労働、低賃金の状況が窺えた。

新型コロナウイルス感染症が拡大する前と後での経営状況については、収入が減ったが55%であった。反して増えたと回答したのは12%であった。電気高騰の影響については「～10%の値上がり」との回答が30%で最も多かった。

歯科技工所の閉所について、「考えたことがある」と回答したのが50%で、半分の歯科技工所で閉所を検討していた。理由としては「採算が合わない」が64%と最も多く、次いで「設備投資が厳しい」、「高齢」、「将来展望がない」が52%であった。保険と自費の割合別では保険が50%を超える場合の「考えたことがある」と回答した割合が61%に対し、自費が50%を超える場合が24%であった。

後継者については83%が「いない」と回答した。仕事のやりがいがあるは66%であった。個人より法人の方が「ある」との回答が19ポイント多く、「ない」の回答は14ポイント少なかった。保険と自費の割合別では、保険が50%を超えている場合の「ある」の回答は61%で、自費が50%を超えている場合は76%であった。

CAD/CAM技術による受注については、42%が「保険・自費を問わず受注」、12%が「自費のみ受注」で、43%が「受注していない」との回答であった。「自費のみ受注」「受注していない」の理由は「設備投資が厳しい」が42%と最も多く、次いで「採算が合わない」が35%であった。また、個人では「保険・自費問わず受注」が32%に対し、法人は60%であった。

チタン冠の受注については、15%が「保険自費問わず受注」、3%が「自費のみ受注」で、77%が「受注していない」と回答した。「自費のみ受注」「受注していない」の理由は設備投資が厳しいが37%で最も多く、次いで要望がないが33%であった。また、個人では「保険・自費問わず受注」が8%に対し、法人は29%であった。法人の技工所の方が保険・自費問わず受注している傾向にあった。

保険の義歯の受注については46%が「受注している」、13%が「受注を止めた」、38%が「受注していない」と回答した。「受注を止めた」「受注したことがない」の理由は「クラ

ウン・ブリッジ製作が専門」が46%と最も多く、次いで「採算が合わない」が34%であった。法人の受注が42%に対し、個人は48%であり、法人よりも個人の方が受注の割合が多かった。年代別では30代の64%、40代の61%、50代の66%が「受注を止めた」「受注していない」と回答していた。

自費の義歯の受注については49%が「受注している」、11%が「受注を止めた」、35%が「受注していない」との回答であった。「受注を止めた」、「したことがない」理由は「クラウン・ブリッジ製作が専門」が44%と最も多く、次いで「採算が合わない」が16%であり、保険の義歯よりも「採算が合わない」という回答の割合が少なかった。法人の受注が56%に対し、個人は46%であり、個人よりも法人の方が受注の割合が多かった。年代別では30代の50%、40代の53%、50代63%が「受注を止めた」「受注していない」との回答であり、若い年代の方がその比率が低かった。

技工物の現行料金と希望する料金では、現行料金と希望料金に違いがあるケースが多く、インレー、FMC、硬質レジン前装冠、チタン冠では、保険技工料の7割を求める意見が多かった。一方、CAD/CAM冠や有床義歯、鑄造二腕鉤では、保険技工料7割以上の報酬を求める回答が多く、保険技工料が低すぎる設定であることが示唆された。一方、不採算と思う保険技工物は、「義歯」、「インレー」、「FMC」という回答が多く、現行料金と希望料金に差があることが分かった。

今後望む方向としては、「技工所が保険請求を直接請求」が57%と最も多かった。前回は65%と最も多く、直接請求を望む声は大きい。「7:3の徹底」より、「技工料の明確化」の回答が9%高く、現在の診療報酬自体にも不満が窺える。また、「今のままで良い」という回答は4.5%と最も低く、現状に不満を持っていることが分かった。

自費で製作している補綴物が将来保険導入されることについては、「適正な価格で保険導入されるのであれば賛成する」が55%と最も多かった。個人では60%、法人では46%が「適正な価格での保険導入されるのであれば賛成する」と回答していた。年代別では20～50代が「適正な価格で保険導入されるのであれば賛成する」と回答した割合は50%以下であった。

歯科技工物が再製作になった場合の技工料負担については、「歯科技工所負担」が49%と半数近くが歯科技工所負担となっていた。年代別では50代以降の50%以上が「歯科技工所負担」と回答しているが、30代、40代では「ケースバイケースでの負担」との回答が最も多かった。

今後歯科技工所の経営強化のために行うべき方策では、「自費技工物の製作に力を入れる」が29%と最も多かった。次いで「経費削減」が28%、「営業活動の強化」が27%となった。一方、30代以下の若い世代では「技工所毎でのCAD/CAM冠等の機械の導入」が多く回答された。

チェアサイドの評価については、「歯科医師の依頼などに応じて歯科医院に赴いたことに対する評価」と回答した割合が63%と最も多かった。法人の68%、個人の63%で歯科医師の依頼などに応じて歯科医院に赴いたことに対する評価を求めている。

デジタルデータから自費の補綴物を「製作している」との回答は25%、「していない」は71%であった。法人では50%が「している」と回答したのに対し、個人では11%であった。年代別では30代、40代の割合が高かった。

コロナ禍での助成金についての回答は「申請した」が57%、「申請しなかった」が24%、「申請できるものがなかった」が12%、「知らなかった」が3%であった。申請した助成金の種類としては「持続化給付金」が88%、「家賃支援金」が22%であった。

インボイスの登録についての回答は、「登録した」が50%、「登録する予定」が6%、「登録の予定はない」が31%、「わからない」が10%であった。法人では82%が「登録した」、「登録する予定」と回答したのに対し、個人では41%にとどまった。「登録した」、「登録する予定」と回答した理由としては「税理士のアドバイス」が59%と最も多かった。

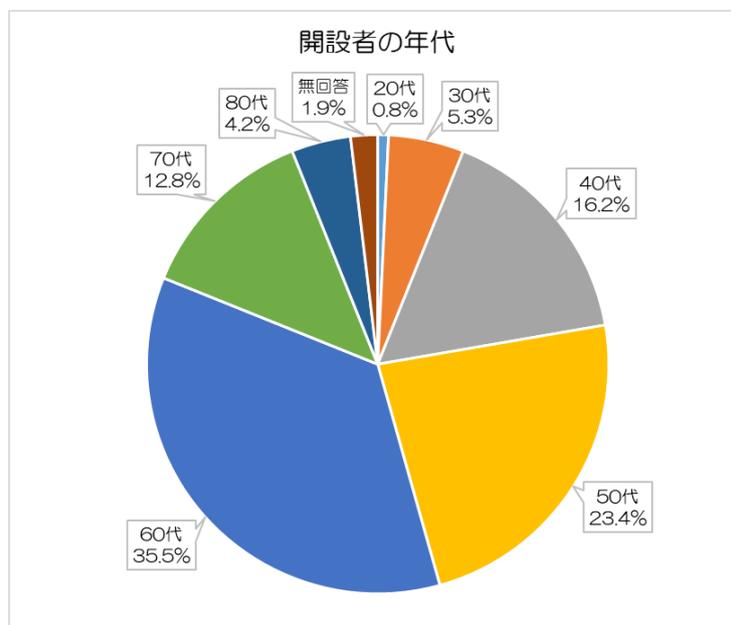
自由記載欄には、現在の歯科技工所の状況や問題点、今後の展望や希望など多くの意見が寄せられた。

3. アンケート集計結果

1. 開設者の年齢 () 歳 (2023年9月1日現在の満年齢をご記入ください)

開設者の年齢は、60代が最も多く、次いで50代、40代となった。前回では、60代が29%だったが、今回は36%と7ポイント増加した。

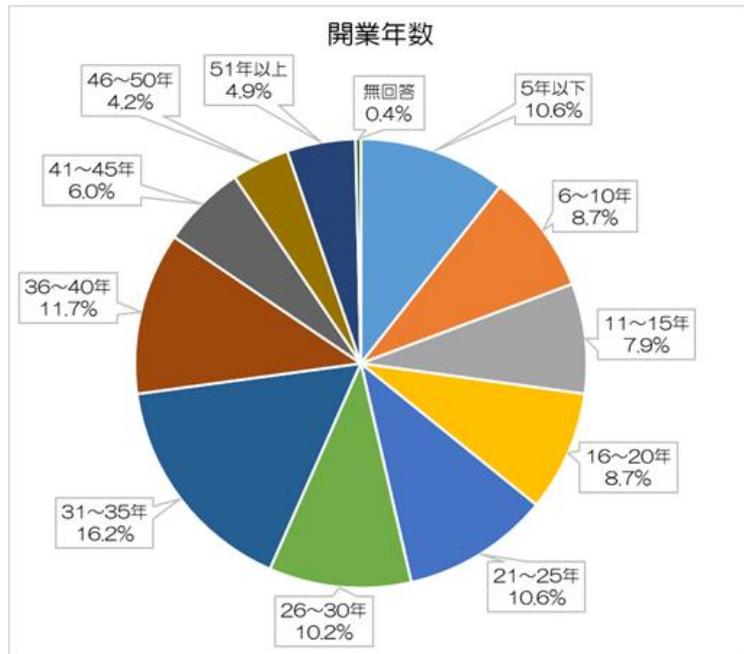
20代	2
30代	14
40代	43
50代	62
60代	94
70代	34
80代	11
無回答	5
計	265



2. 開業年数 () 年 (2023年9月1日現在でご記入ください)

開業年数は、31年以上が43%で、前回と比べ6ポイント増となった。

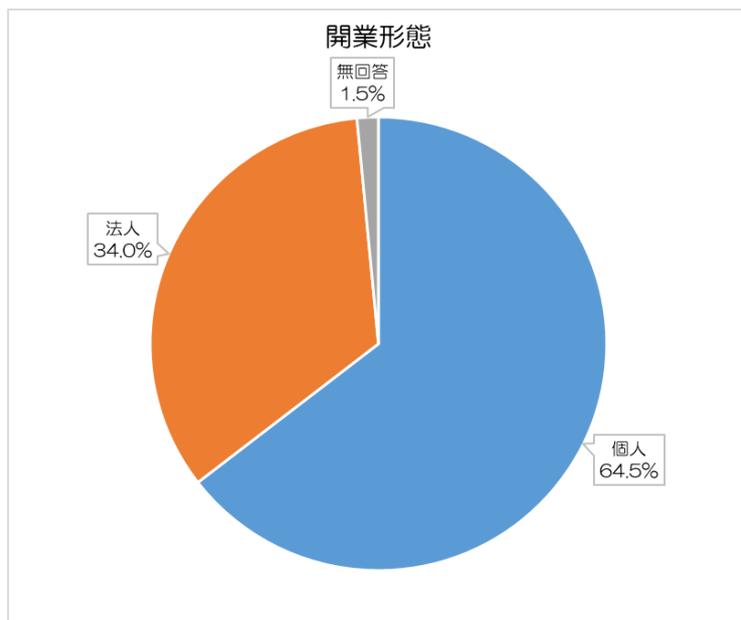
5年以下	28
6～10年	23
11～15年	21
16～20年	23
21～25年	28
26～30年	27
31～35年	43
36～40年	31
41～45年	16
46～50年	11
51年以上	13
無回答	1
	265

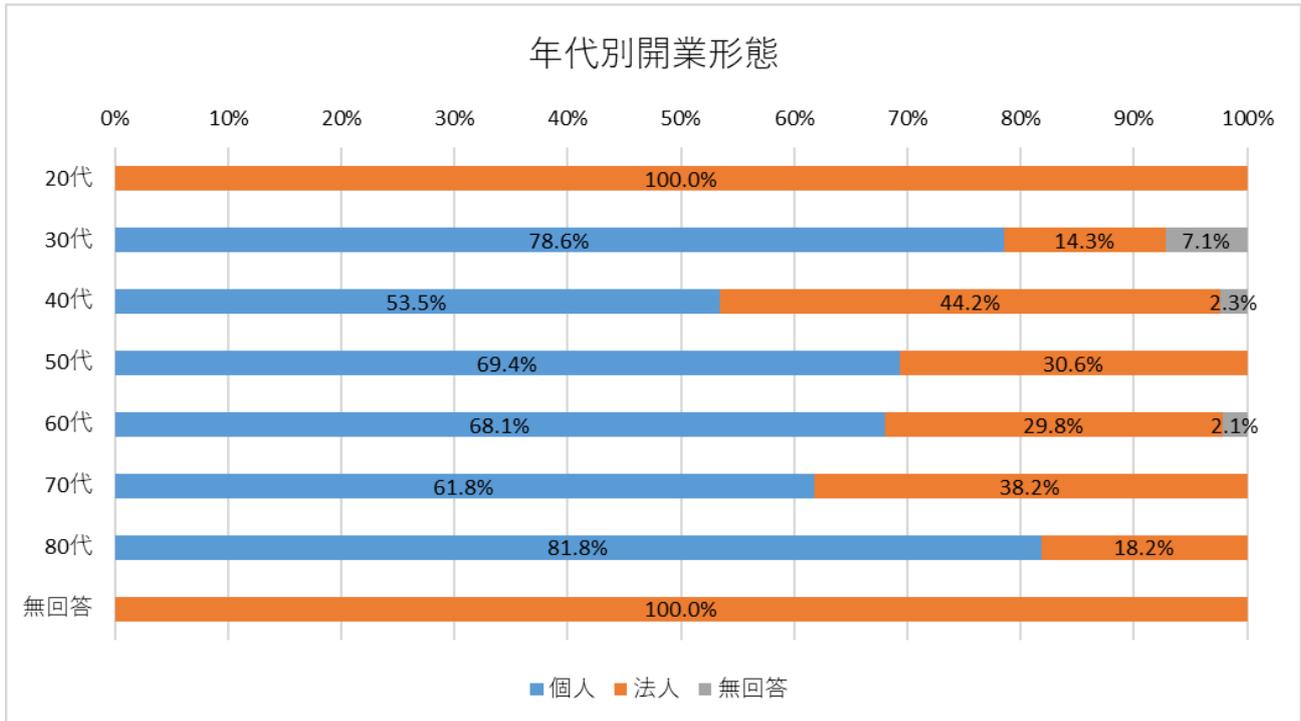


3. 開業形態 個人 法人 (該当する方をチェックしてください)

開業形態は個人が65%、法人が34%となり、前回から大きな変化はみられなかった。一方、年齢が高くなると個人開業が多い傾向がみられた。

個人	171
法人	90
無回答	4
計	265





4. 事業所の規模（一事業者あたり）

歯科技工士数 常勤（ ）人・非常勤（ ）人
 事務職員数 常勤（ ）人・非常勤（ ）人

歯科技工所の規模は歯科技工士1人のみが46%、歯科技工士1名と事務職員1名が15%と、合わせて61%の技工所が歯科技工士1名であった。一事業所当たりの人数が3人以下の技工所で78%を占めており、小規模な技工所が大半であることが示された。

一事業者あたりの人数

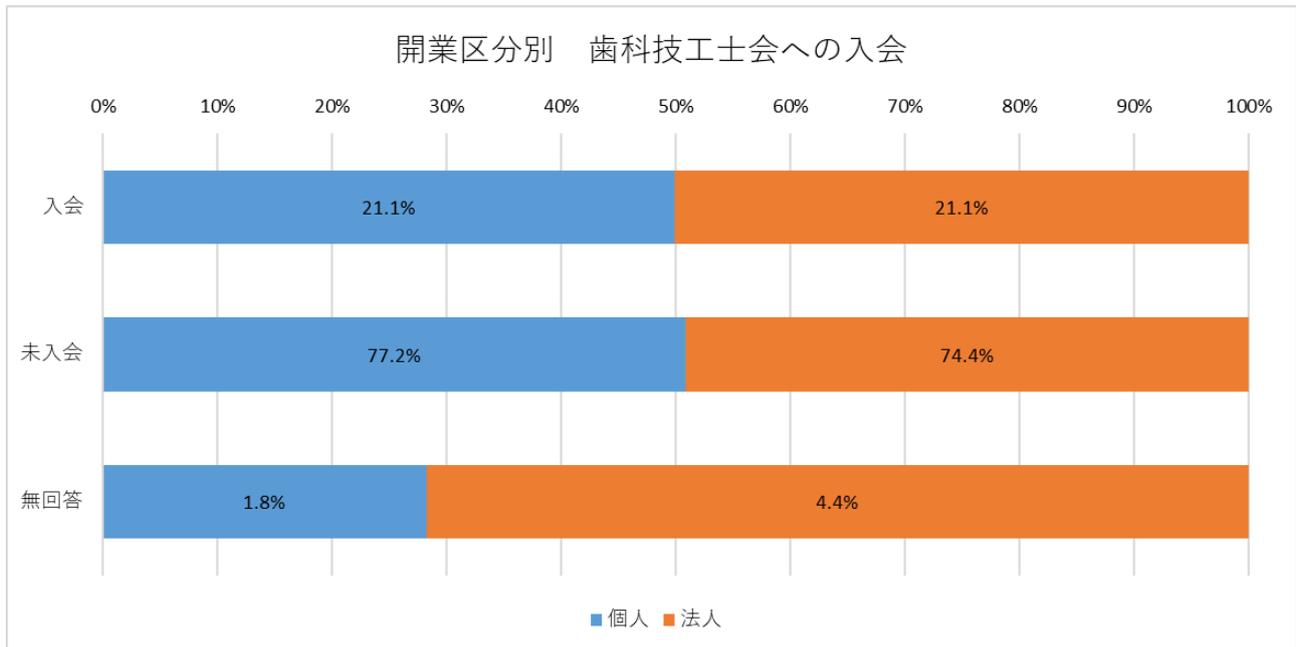
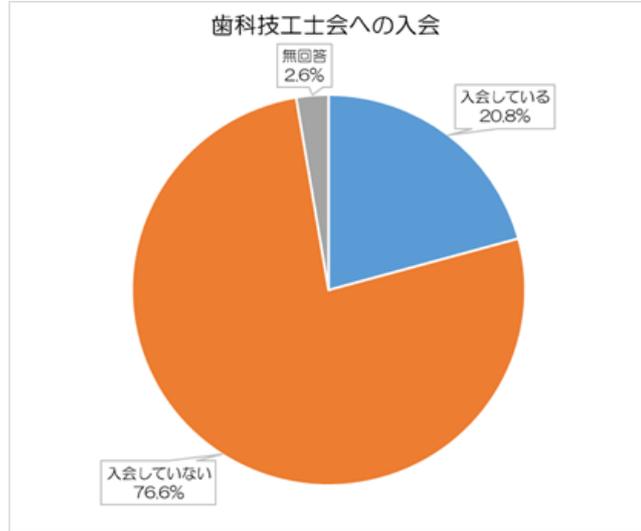
0人・無回答	6
歯科技工士1人のみ	121
技工士1人+事務職員1名	40
技工士2人のみ	25
技工士1人+事務職員2人	4
技工士2人+事務職員1人	7
技工士3人のみ	9
4人~9人	31
10人以上	22

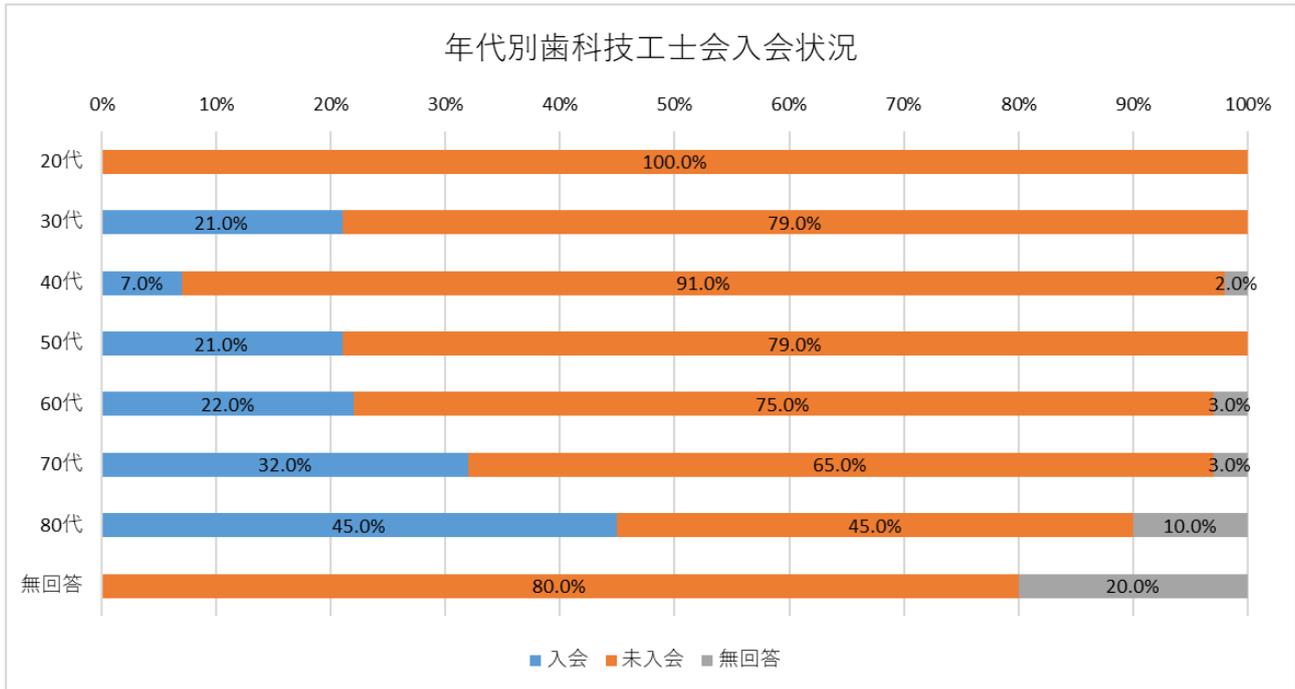
法人で歯科技工士一人と回答(1人法人)	13
---------------------	----

5. 歯科技工士会への入会 □入会している □入会していない

歯科技工士会へは76%が入会していなかった。開業区分別では、法人で74%、個人で77%が未入会であった。年齢では、20代で100%、30代で79%、40代で91%が未入会であった。

入会している	55
入会していない	203
無回答	7
計	265



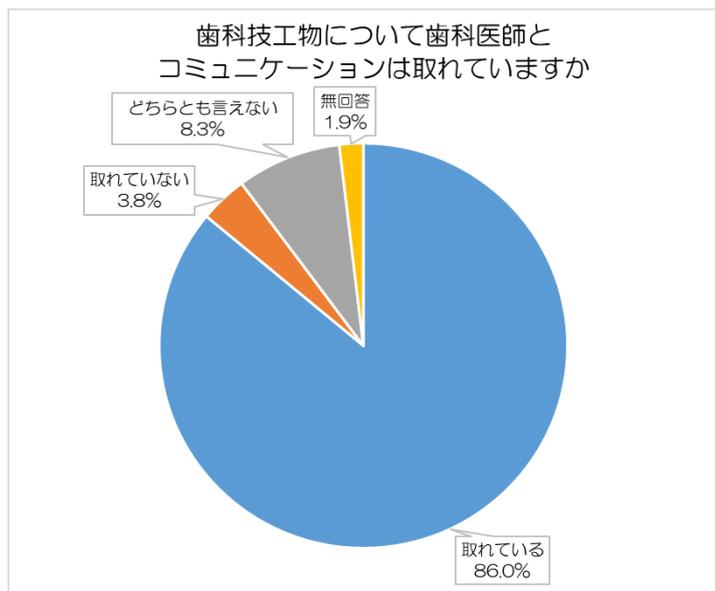


6. 歯科技工物について歯科医師とコミュニケーション（直接対話・電話など）は取れていますか？

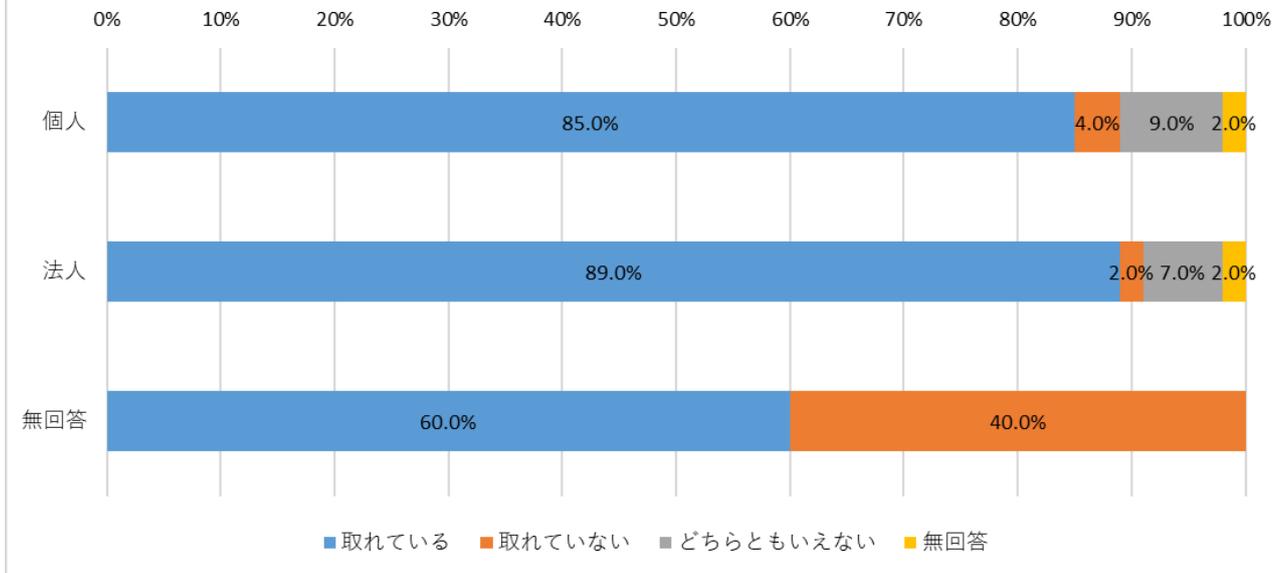
取れている 取れていない

歯科医師とのコミュニケーションについては、「取れている」が86%と前回の「よく出来ている」「出来ている」を合わせた77%よりも9ポイント増加した。反して「あまり出来ていない」「出来ていない」との回答は前回は15%だったのに対し、12%と3ポイント減少していた。年齢による差はあまり認められないが、個人より法人開業の方がコミュニケーションを取れている傾向があり、前回とは逆の傾向であった。

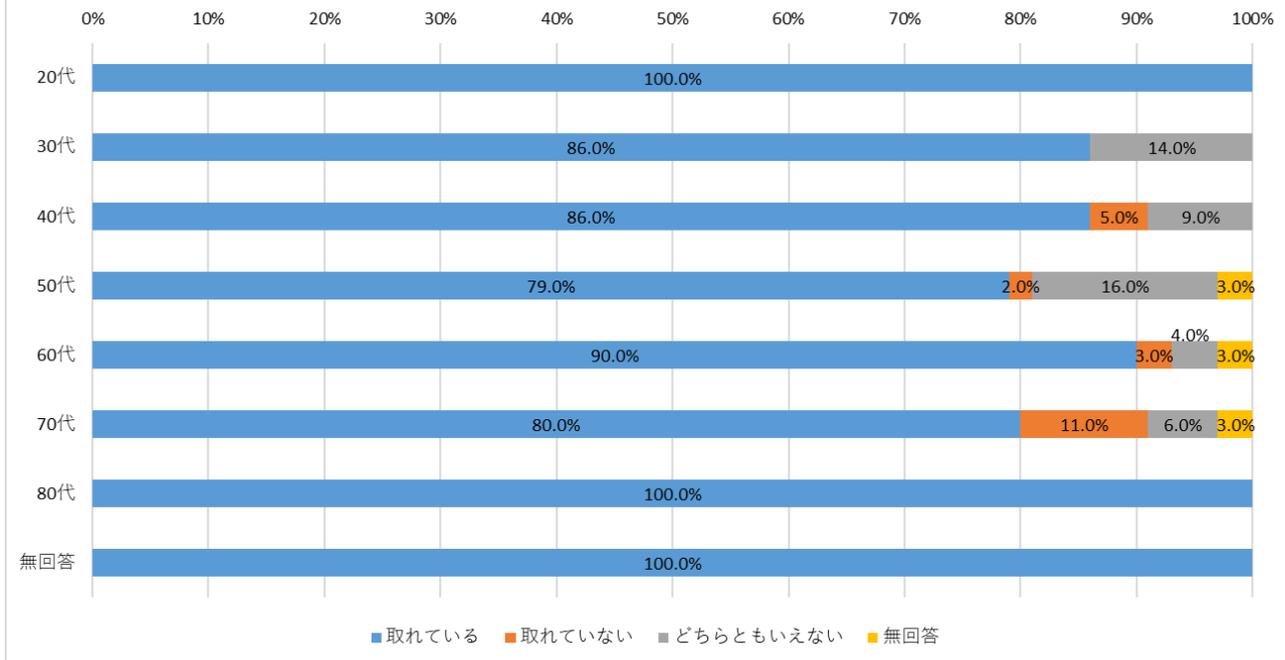
取れている	228
取れていない	10
どちらとも言えない	22
無回答	5
計	265



開業区分別歯科医師とのコミュニケーション



年代別歯科医師とのコミュニケーション

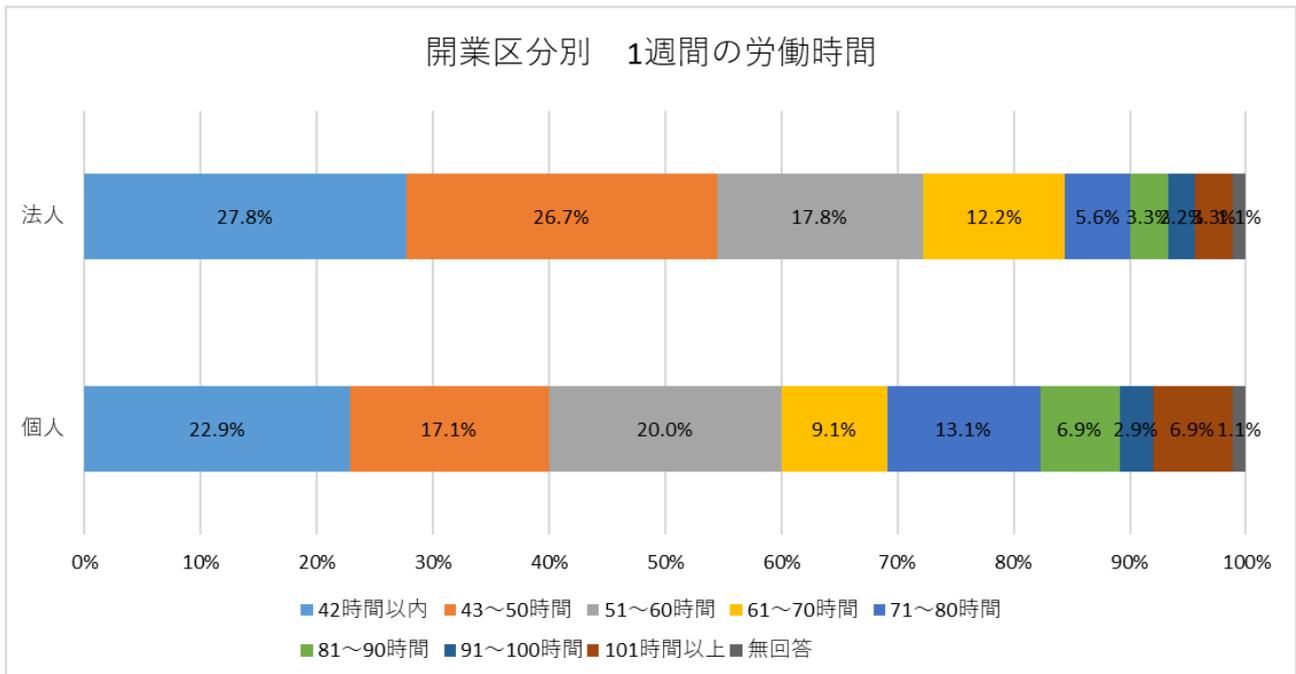
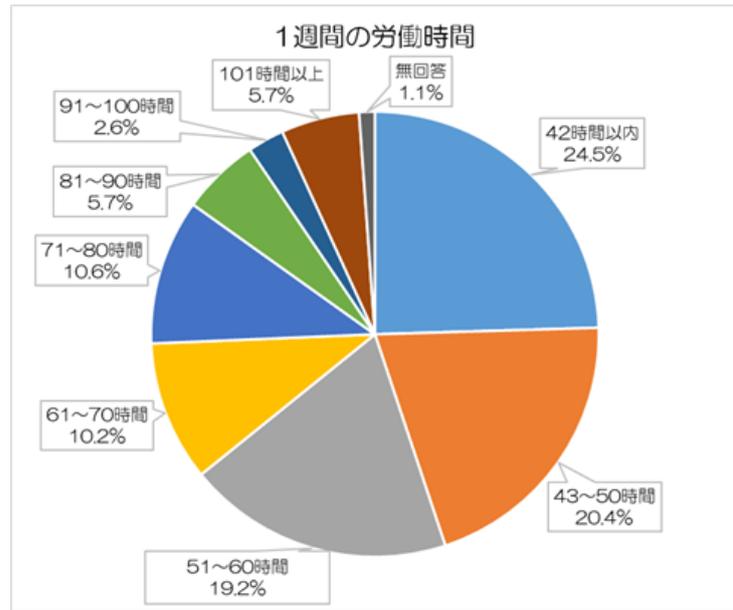


7. 1週間の労働時間

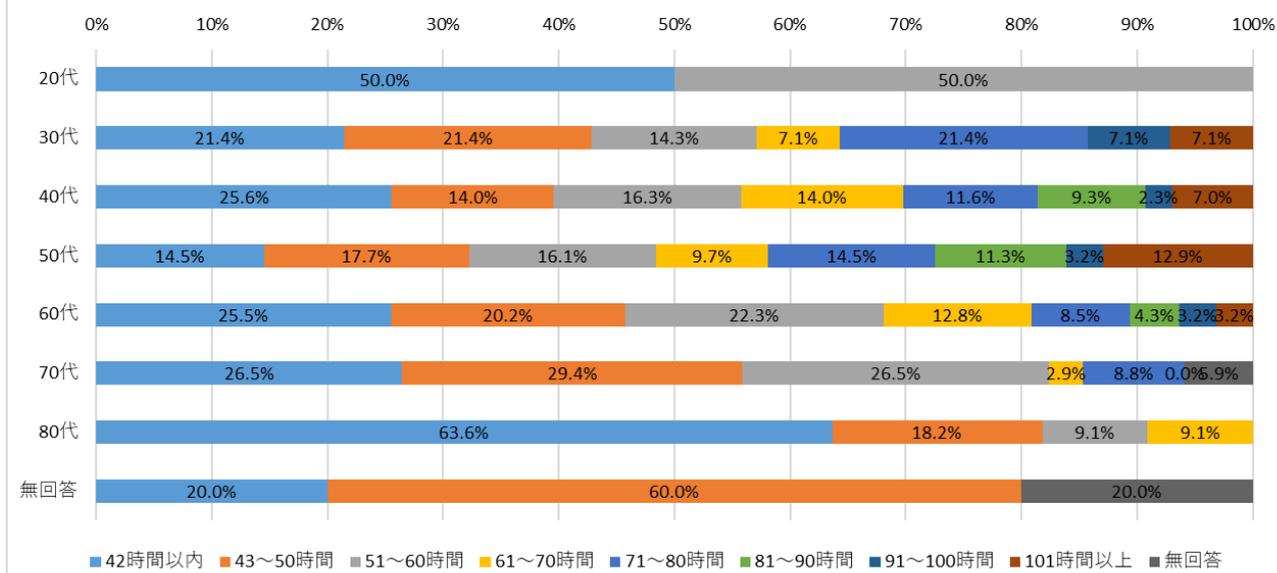
- 42時間以内 43～50時間 51～60時間 61～70時間
 71～80時間 81～90時間 91～100時間 101時間以上

1週間の労働時間を見ると、60時間以上は36%で前回の48%よりも12ポイント減少した。一方、開業区分別にみると、個人で50時間以内の労働時間が40%に対し、法人は55%であった。

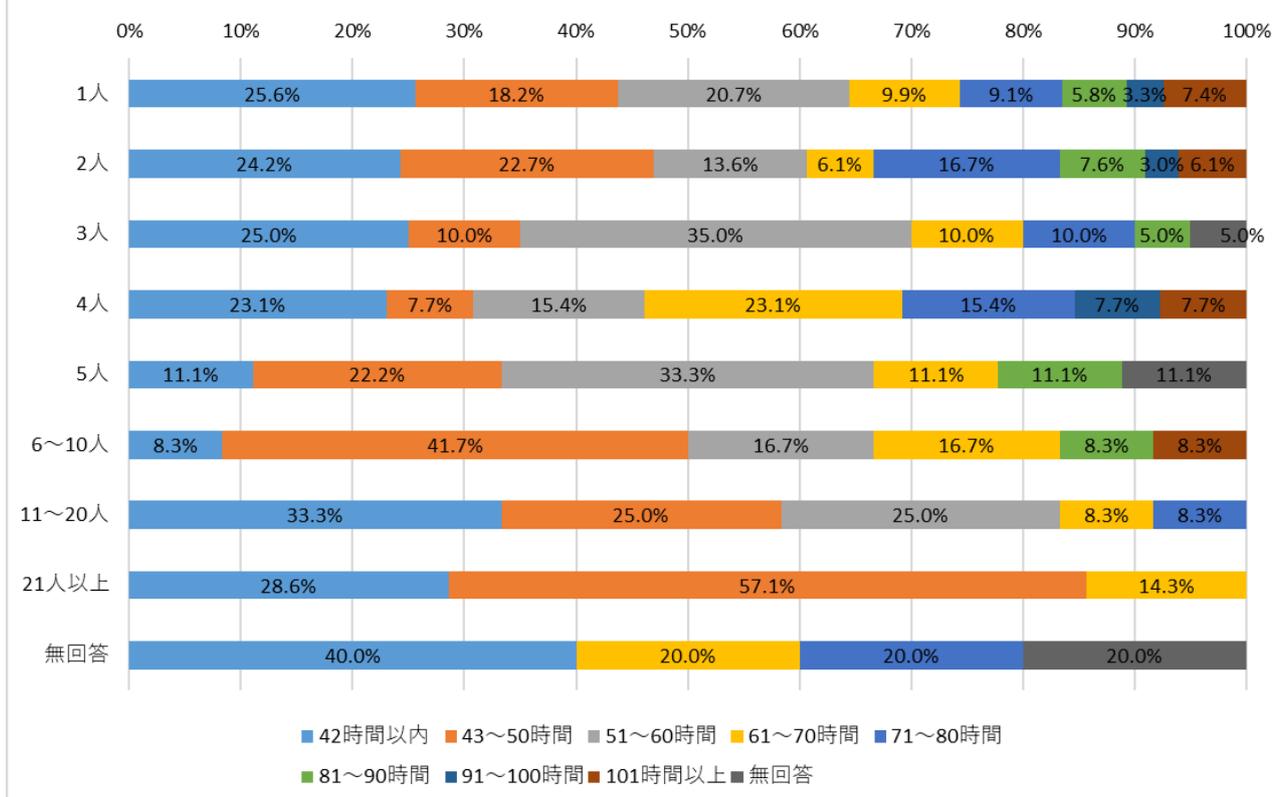
42時間以内	65
43～50時間	54
51～60時間	51
61～70時間	27
71～80時間	28
81～90時間	15
91～100時間	7
101時間以上	15
無回答	3
計	265



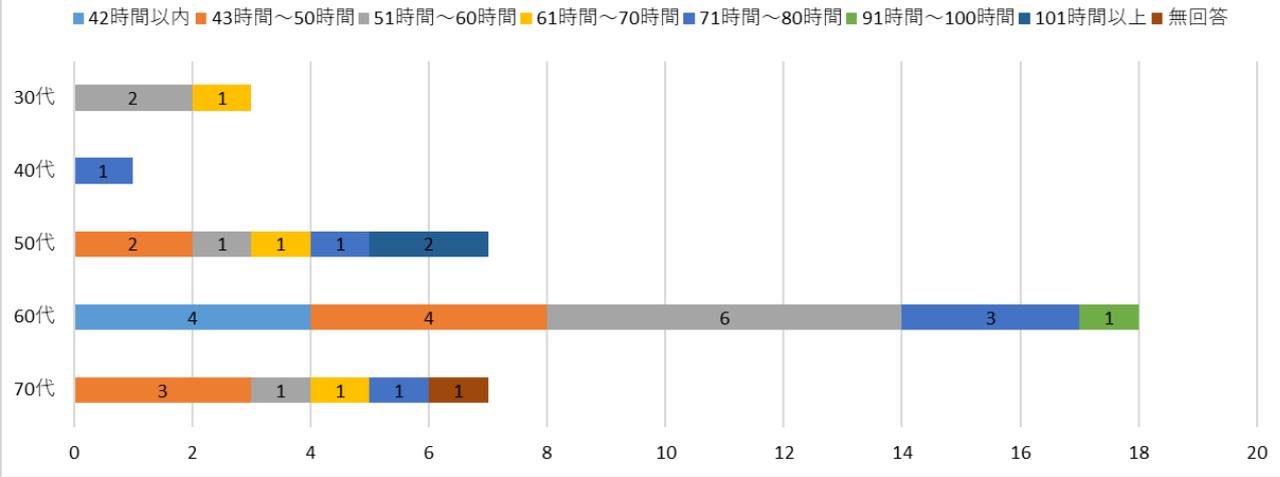
年代別 1週間の労働時間



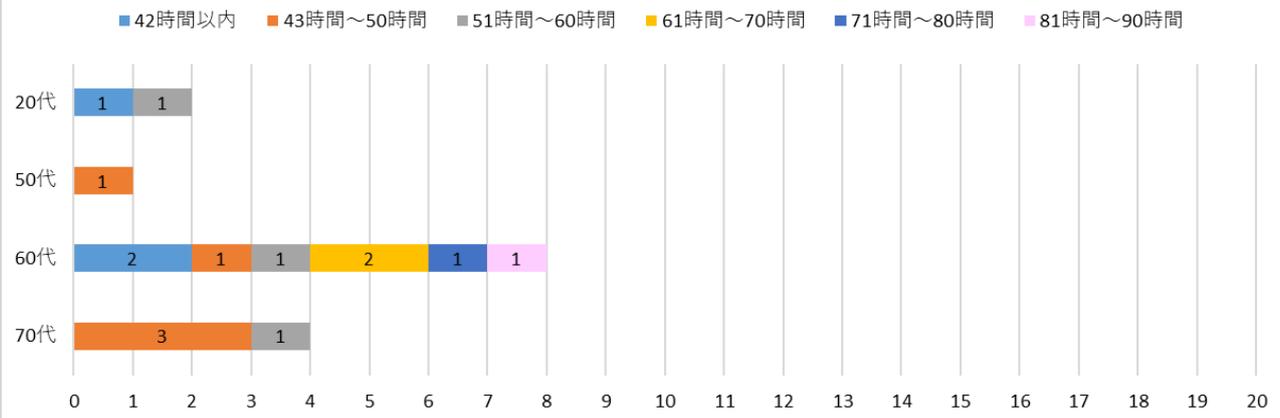
事業所人数別 1週間の労働時間



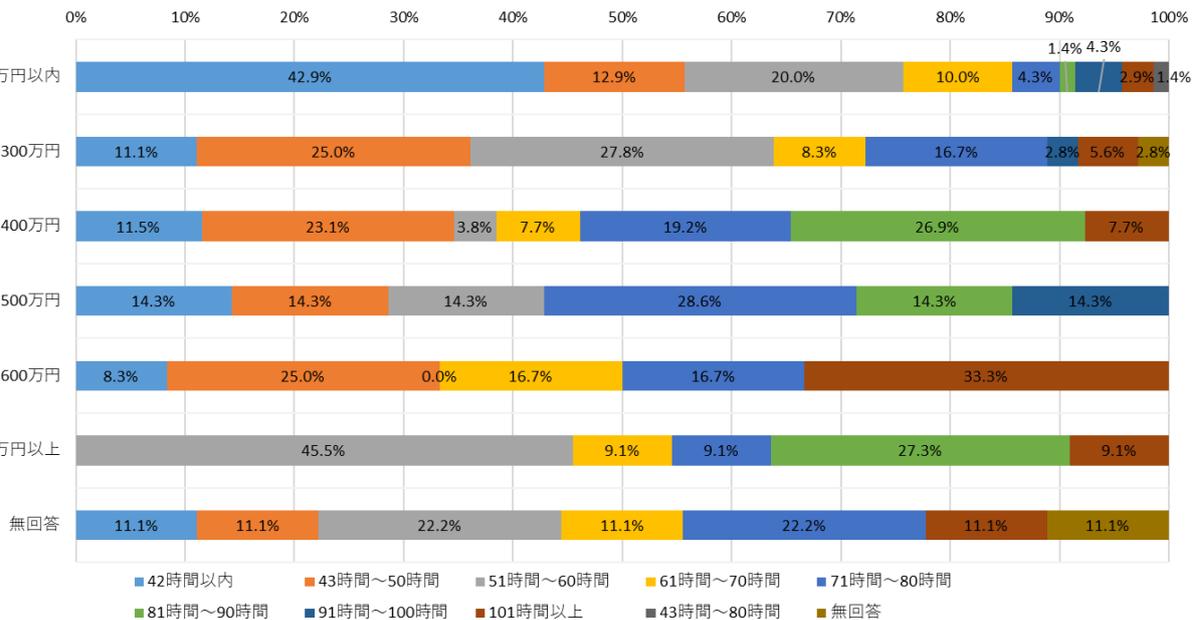
可処分所得201万円～300万円の労働時間（個人） N=36

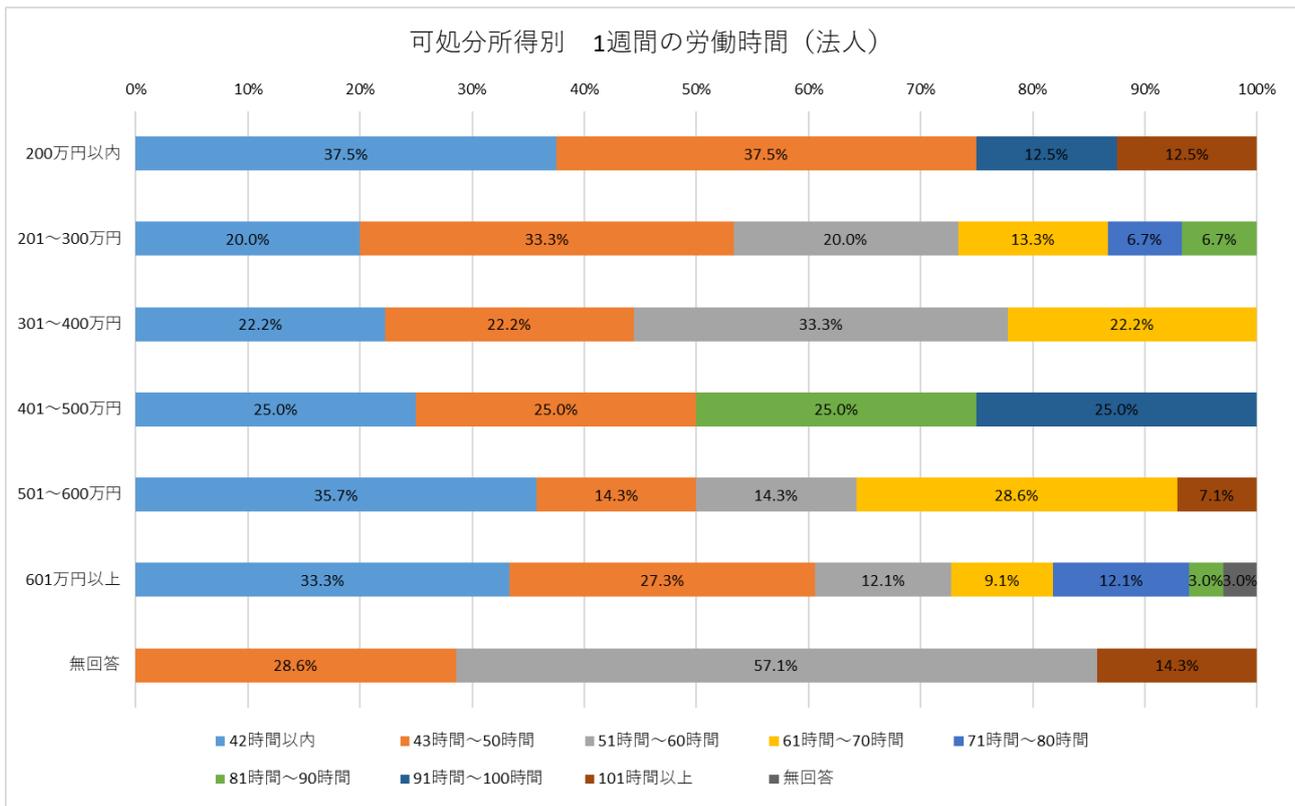


可処分所得201万円～300万円の労働時間（法人） N=15



可処分所得別 1週間の労働時間（個人）



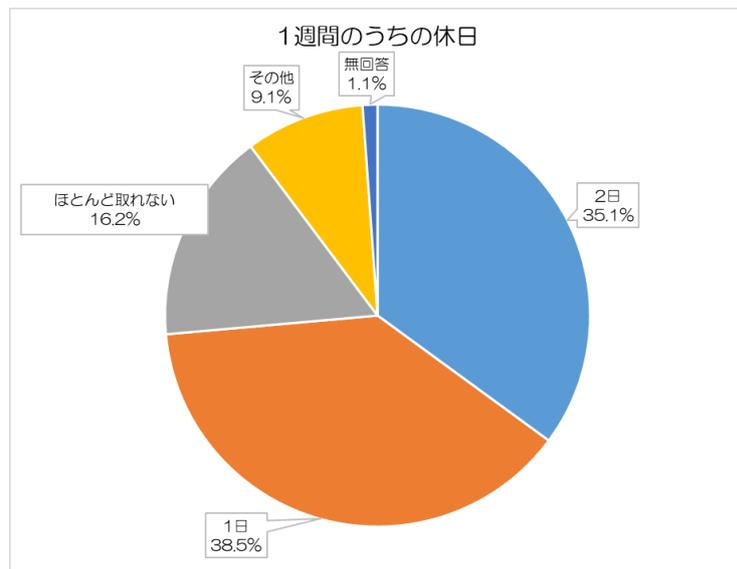


8. 1週間のうちの休日

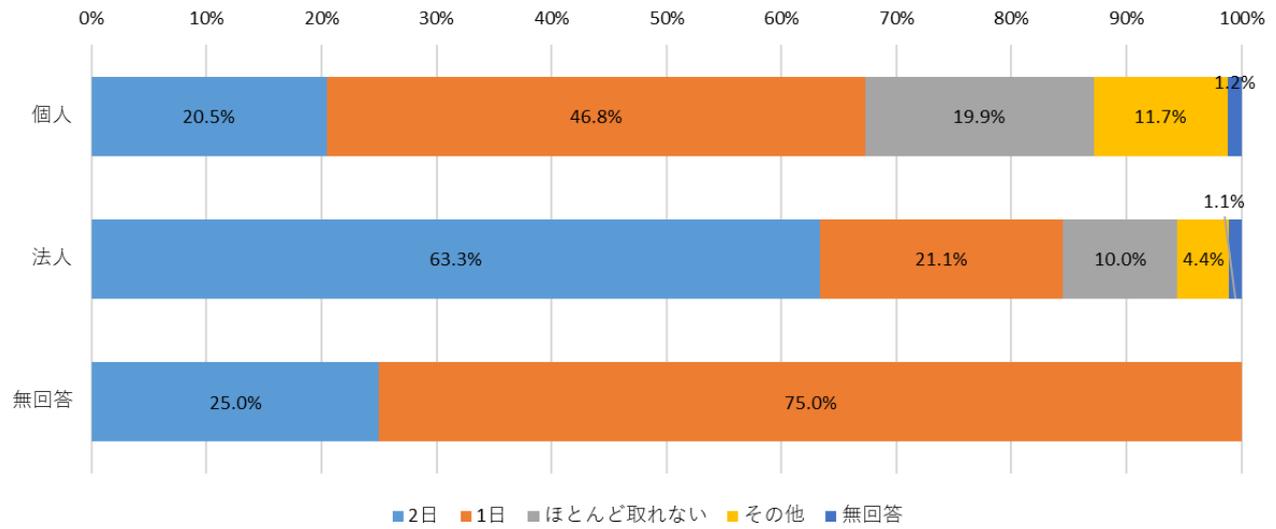
2日 1日 ほとんど取れない その他（ ）

1週間の休日については週1日以下が55%で、前回の60%よりも減少した。特に個人開業の技工所で顕著であり、3人以下の小規模な技工所での労働時間が長い傾向がみられた。法人では、1週間のうちの休日が2日と回答している技工所が63%であり、前回から12ポイント増加していた。

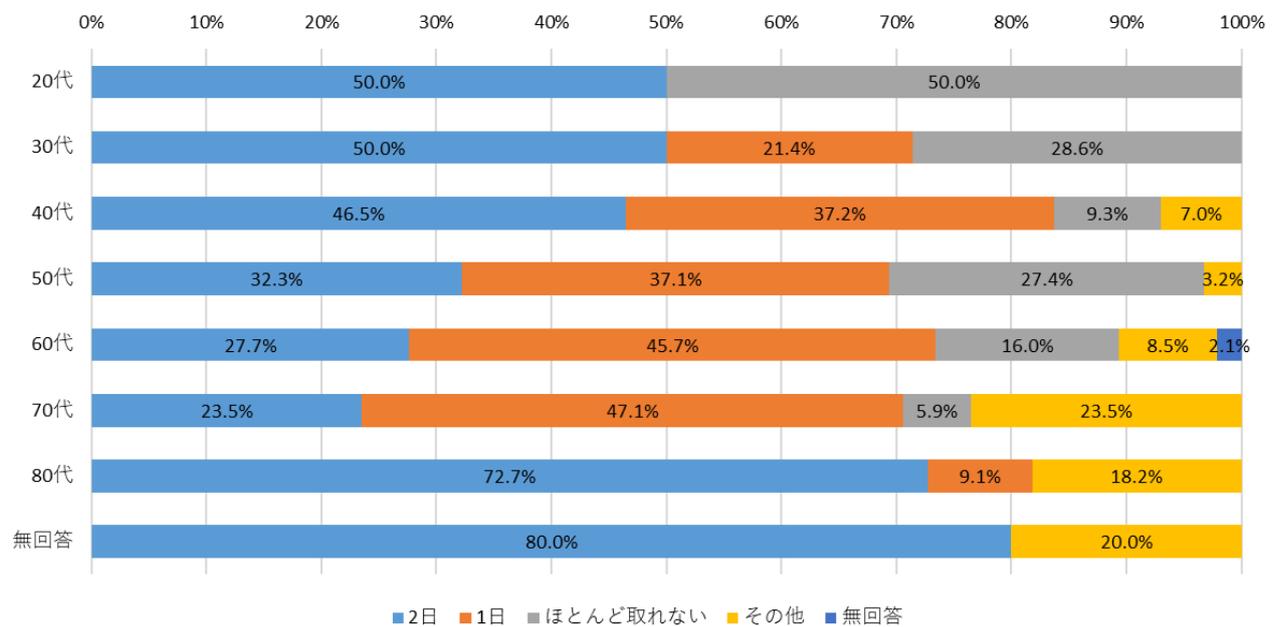
ほとんど取れない	43
1日	102
2日	93
その他	24
無回答	3
計	265

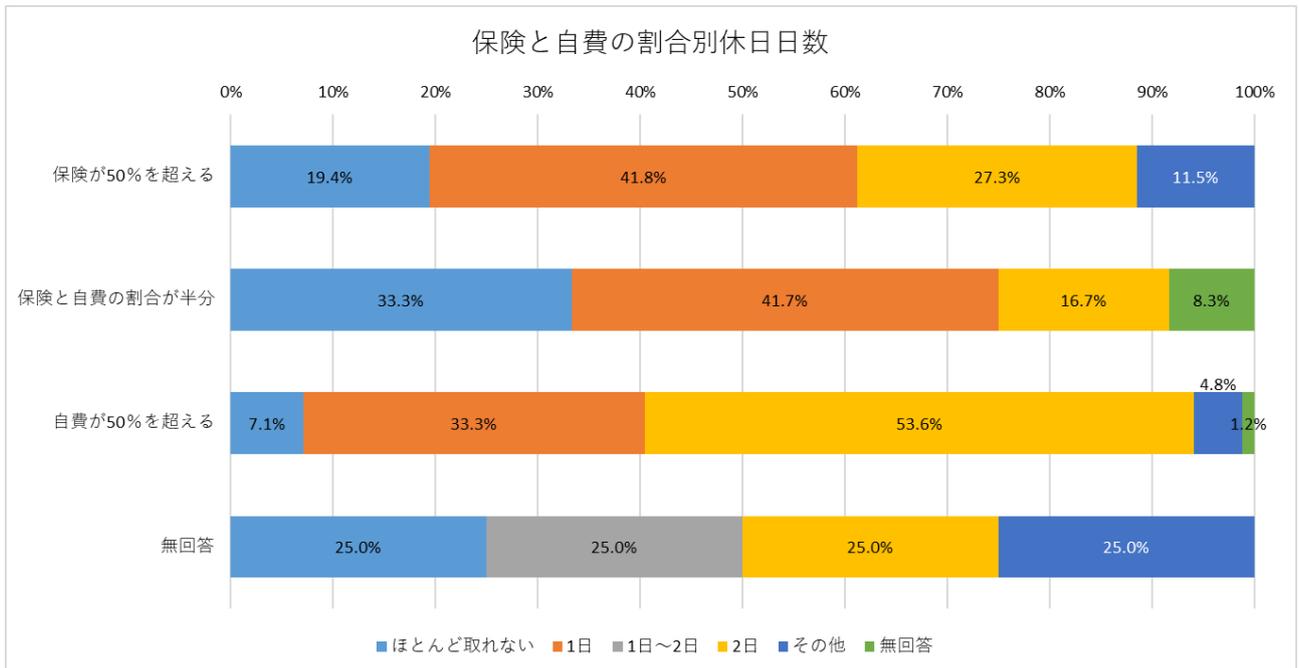
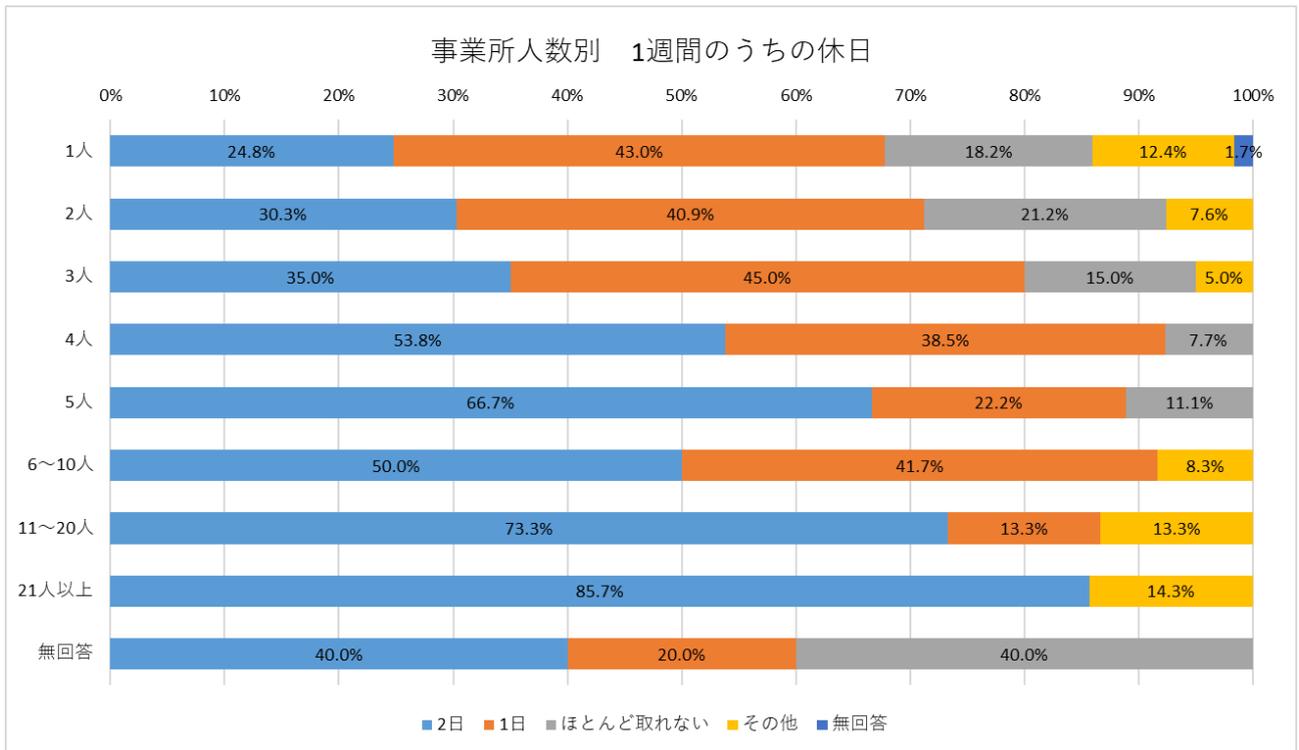


開業区分別 1週間のうちの休日



年代別 1週間のうちの休日



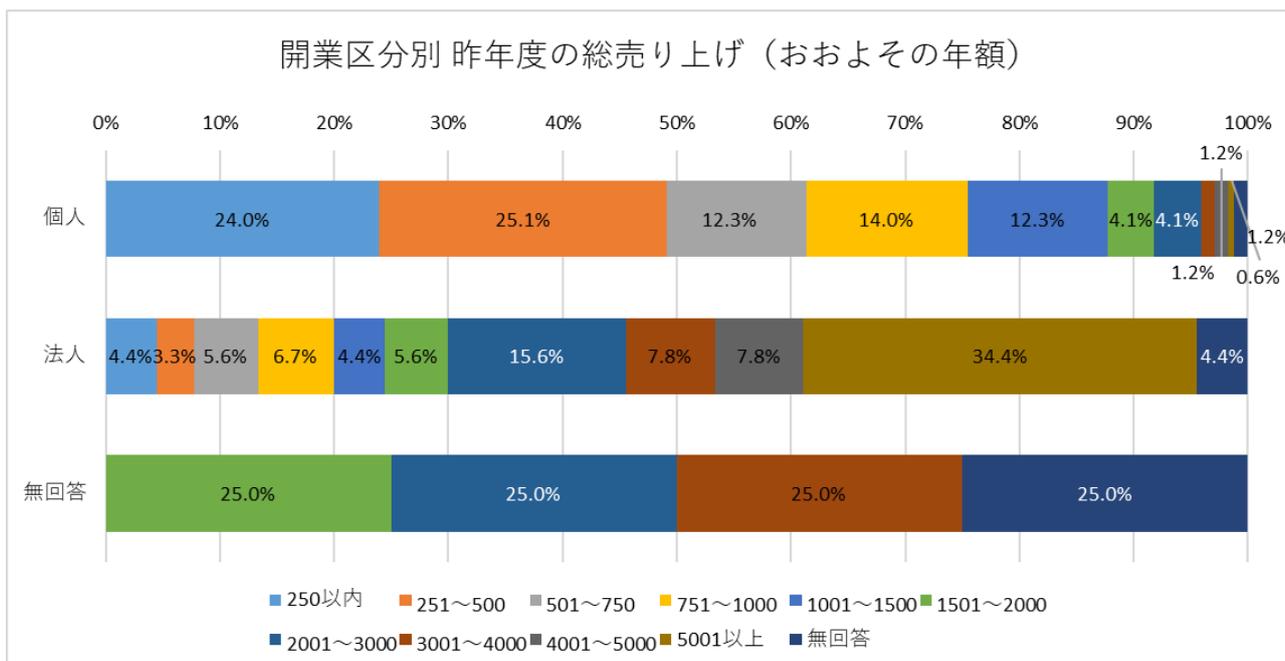
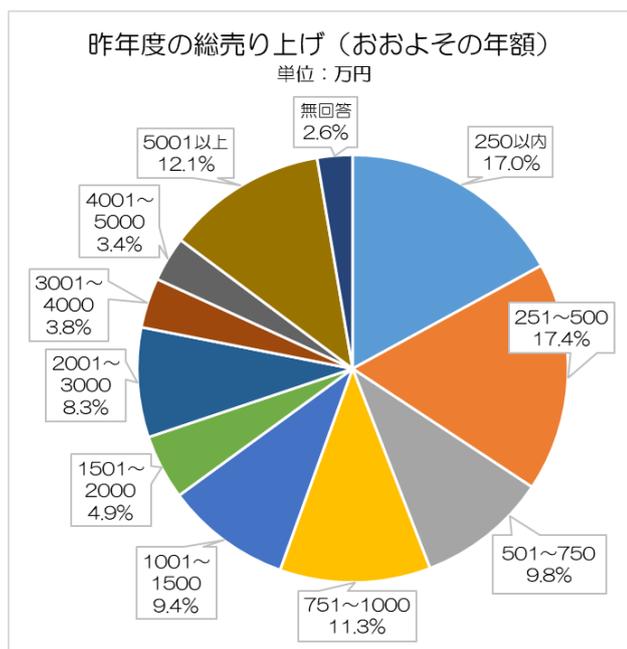


9. 昨年度の総売り上げ（おおよその年額）

- 250 万円以内 □251 万～500 万円 □501 万～750 万円 □751 万～1000 万円
- 1001 万～1500 万円 □1501 万～2000 万円 □2001 万～3000 万円
- 3001 万～4000 万円 □4001 万～5000 万円 □5001 万円以上

昨年度の総売り上げについては、250 万円以内が 17%あり、500 万円以内が 34%と前回よりも 7 ポイント増加した。個人では 251～500 万円が 25%で最も多く、また 500 万円以内が 49%おり、前回 39%よりも 10 ポイント増加した。法人では 5,001 万円以上が 34%と最も多かった。

250以内	45
251～500	46
501～750	26
751～1000	30
1001～1500	25
1501～2000	13
2001～3000	22
3001～4000	10
4001～5000	9
5001以上	32
無回答	7
計	265

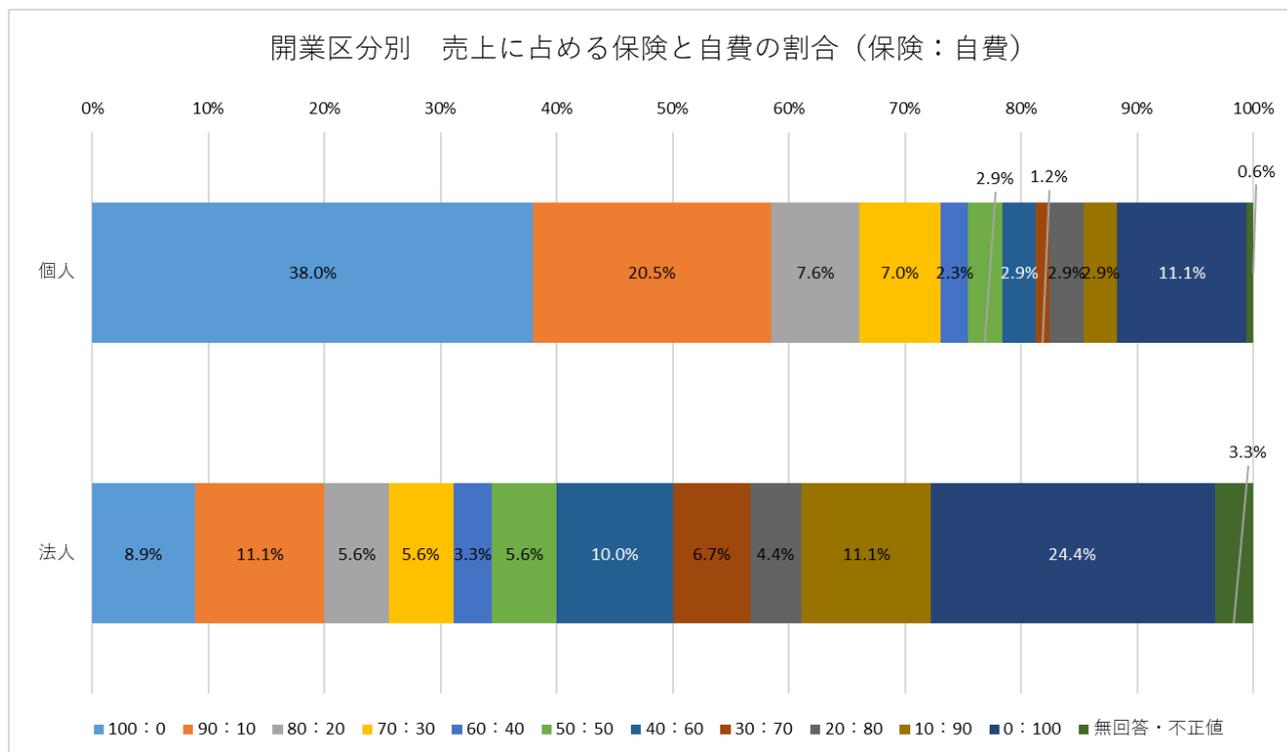
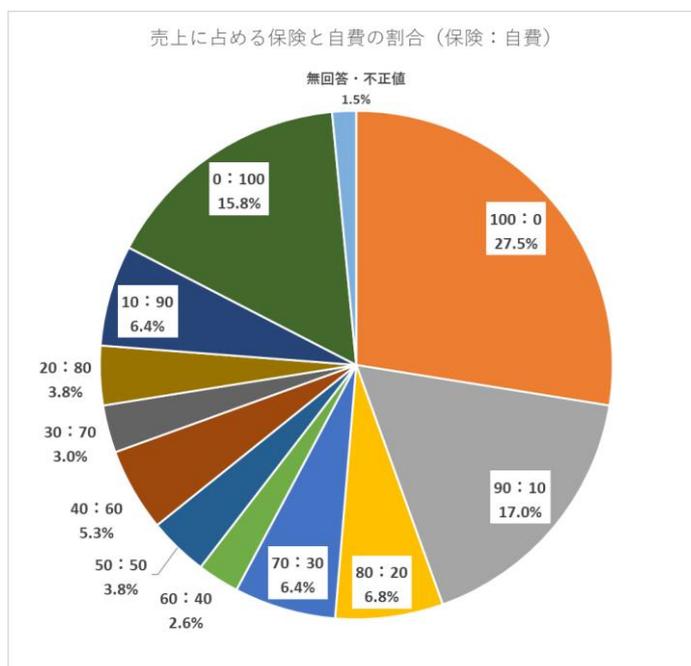


10. 売りに占める保険と自費の割合

保険 約 () % 自費 約 () %

売りに占める保険と自費の割合は、保険を 80%以上行っている技工所が 52%（前回 52%）と半数以上であった。自費 100%の技工所は 16%で、前回 8%よりも 8ポイント増加した。個人では保険が大きな割合を占める技工所が多く、法人では自費が大きな割合を占める技工所が多かった。

100 : 0	73
90 : 10	45
80 : 20	18
70 : 30	17
60 : 40	7
50 : 50	10
40 : 60	14
30 : 70	8
20 : 80	10
10 : 90	17
0 : 100	42
無回答・不正値	4
	265

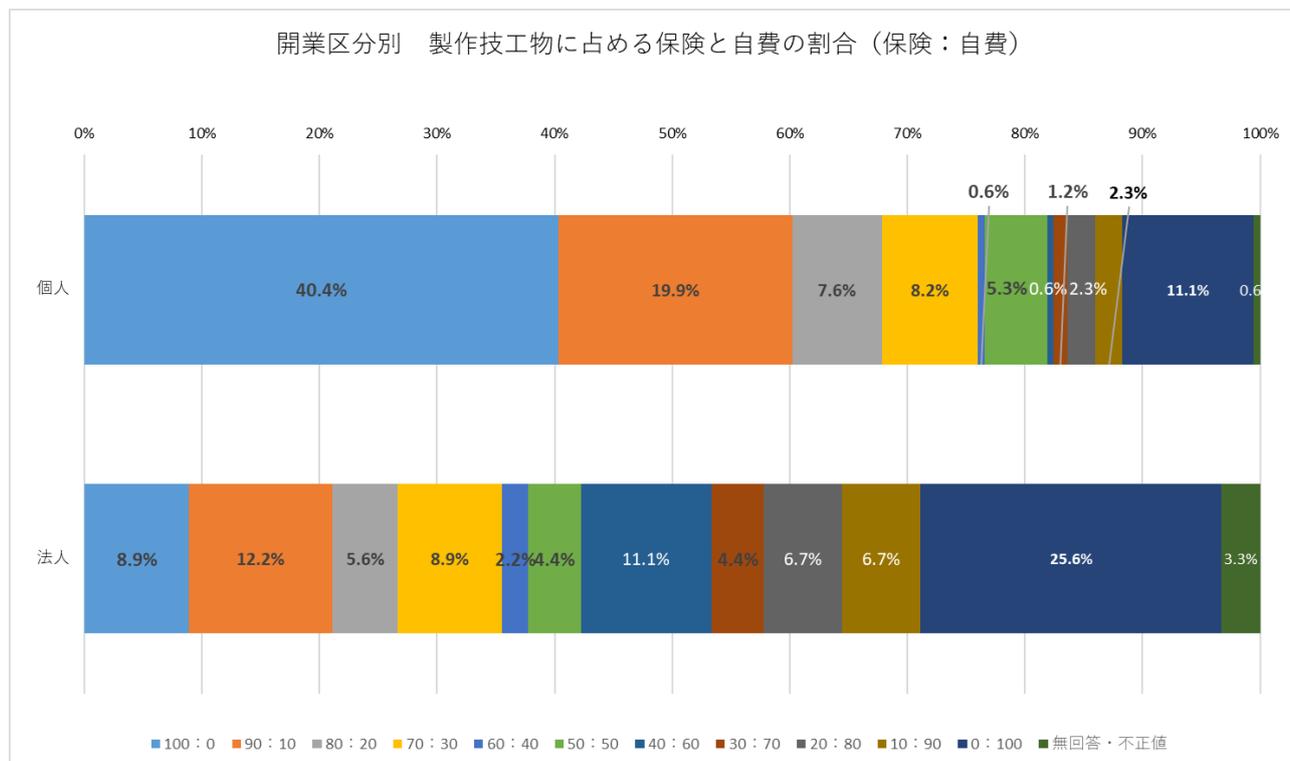
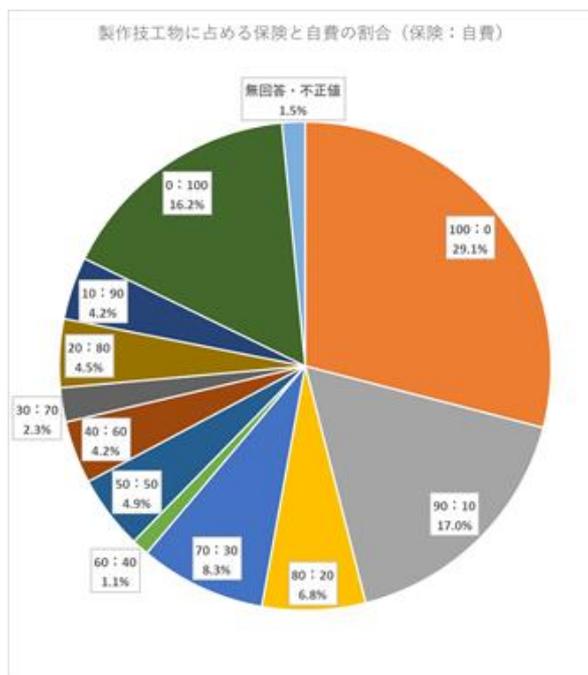


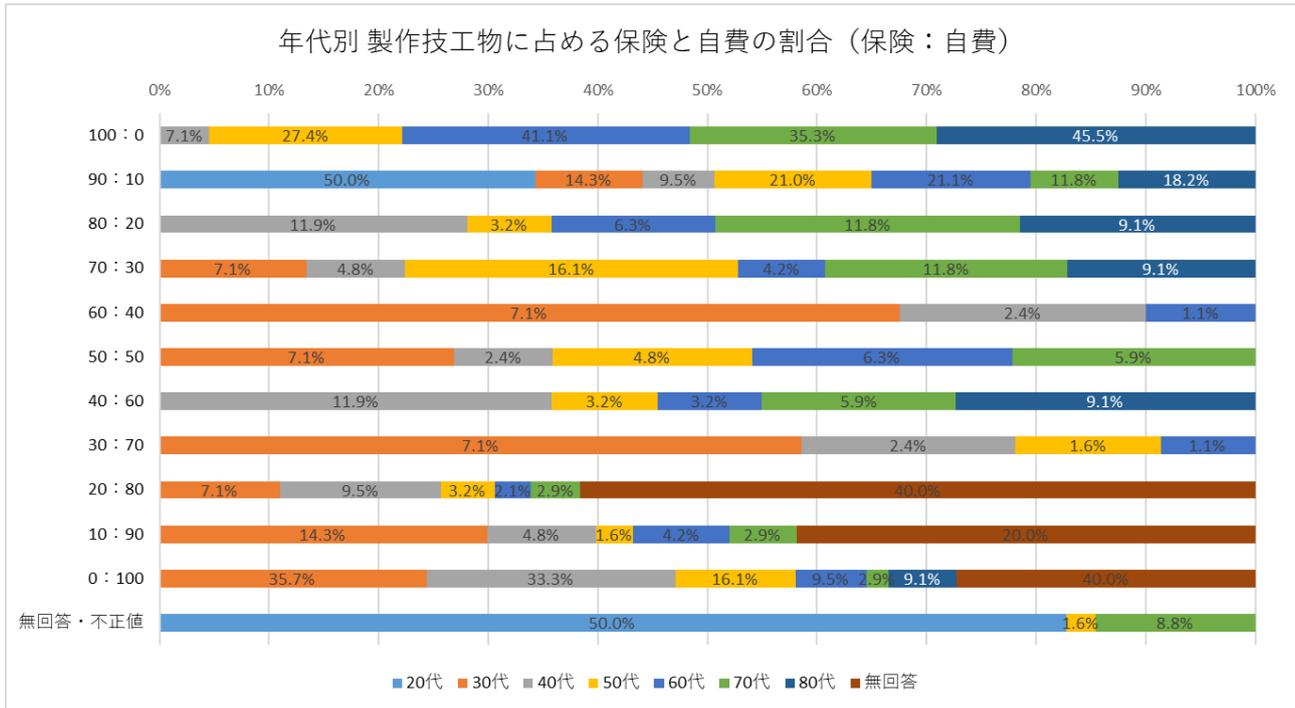
1.1. 製作技工物全体に占める保険と自費の割合

保険 約 () % 自費 約 () %

製作技工物に占める保険と自費の割合は、保険が80%以上の技工所が53%であった。売上に占める保険と自費の割合と同じく、個人では保険、法人では自費の割合が高い傾向であった。

100 : 0	77
90 : 10	45
80 : 20	18
70 : 30	22
60 : 40	3
50 : 50	13
40 : 60	11
30 : 70	6
20 : 80	12
10 : 90	11
0 : 100	43
無回答・不正値	4
	265



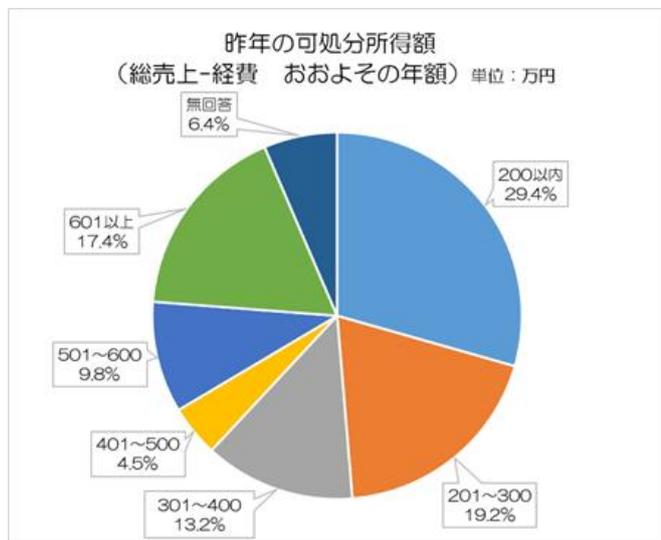


1.2. 昨年の可処分所得額（総売上－経費 おおよその年額）（法人は代表者の報酬）

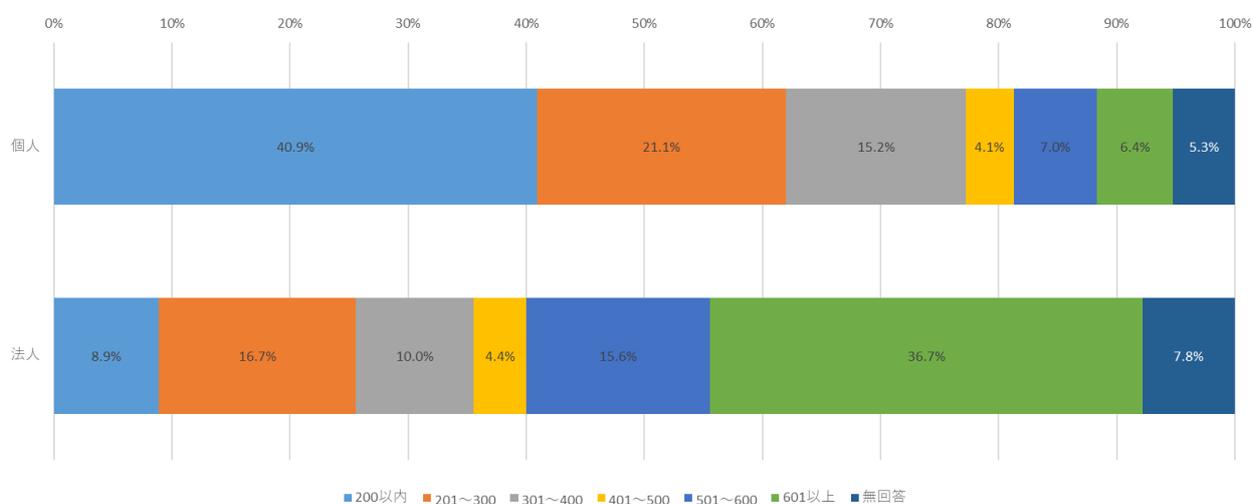
- 200 万円以内 201 万～300 万円 301 万～400 万円
 401 万～500 万円 501 万～600 万円 601 万円以上

可処分所得をみると 200 万円以内が 30%と最も多く、前回 22%よりも 8 ポイント増加した。次いで 201～300 万円 19%（前回 24%）となり、49%が 300 万円を下回る所得と回答した。特に個人開業では 62%（前回 54%）が 300 万円以内の所得と回答しており、長時間労働、低賃金の状況が窺えた。保険と自費の割合別で可処分所得を見ると、400 万円以内だと保険が 50%を超えると回答した割合が 70%超であり、601 万円以上は自費が 50%を超えると回答した割合が 74%であった。

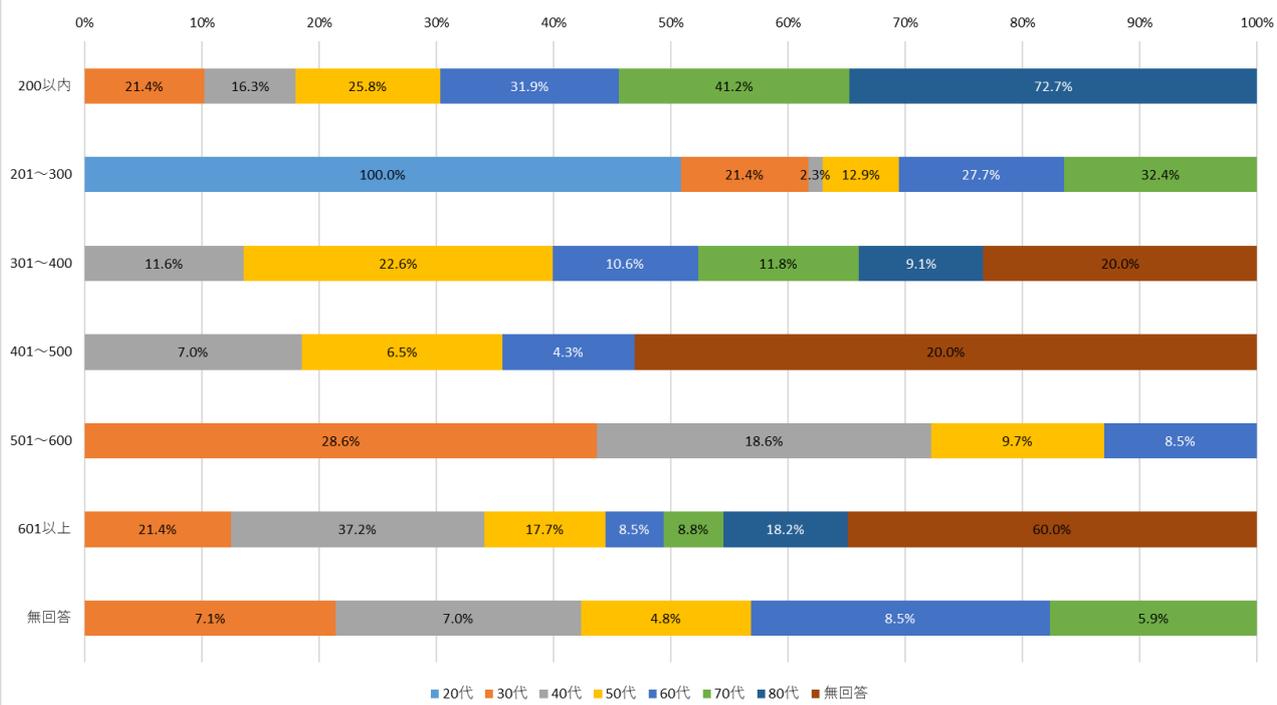
200以内	78
201～300	51
301～400	35
401～500	12
501～600	26
601以上	46
無回答	17
計	265

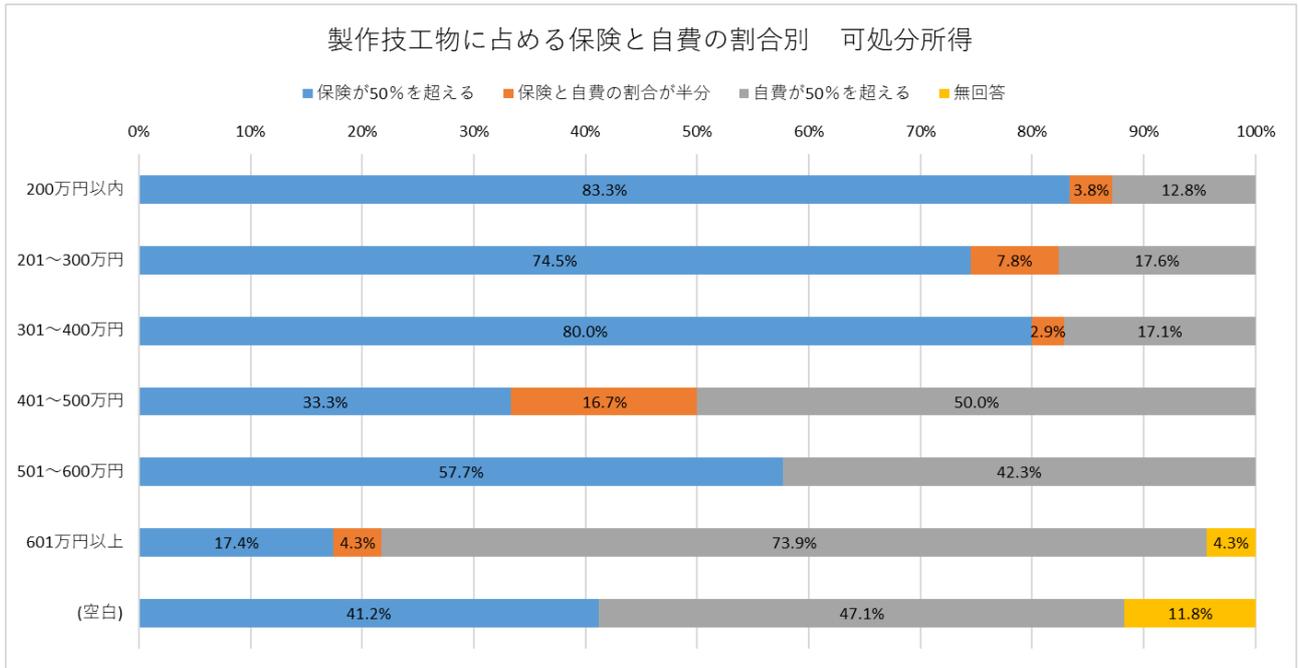


開業区分別 昨年の可処分所得額
 (総売上－経費 おおよその年額) 単位：万円



年代別可処分所得





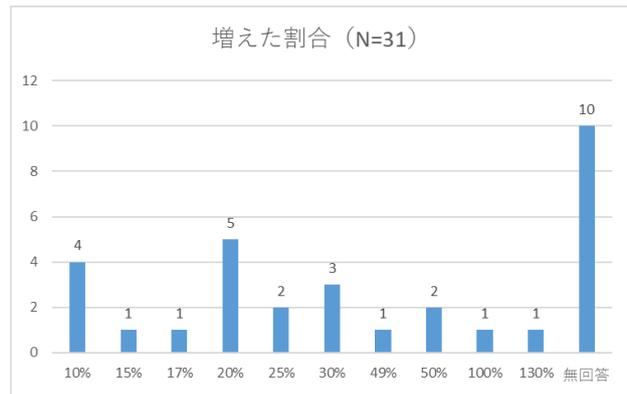
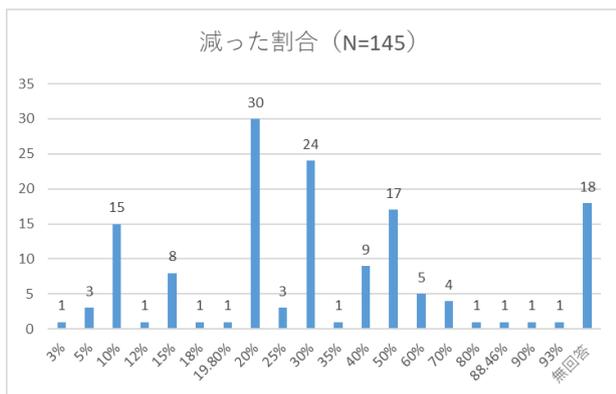
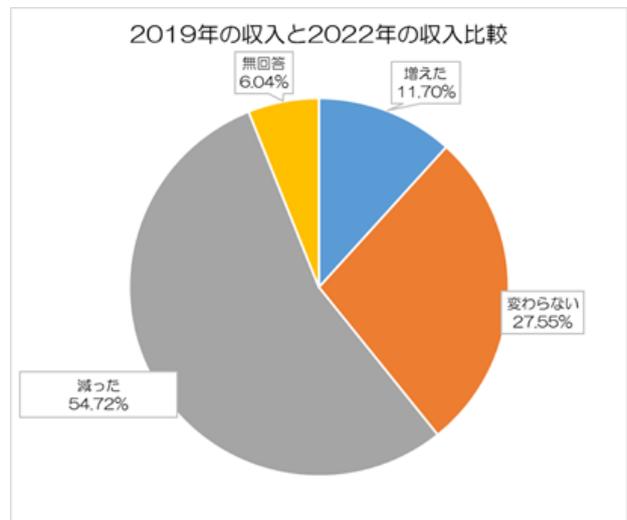
13. 新型コロナウイルス感染症が拡大する前と後での経営状況についてお伺いします。

2019年の収入と比較して、2022年の収入はいかがですか。

□増えた 約 () % □変わらない □減った 約 () %

新型コロナウイルス感染症が拡大する前と後での経営状況については、55%が減ったと回答した。増えたと回答したのは12%だった。

増えた	31
変わらない	73
減った	145
無回答	16
計	265

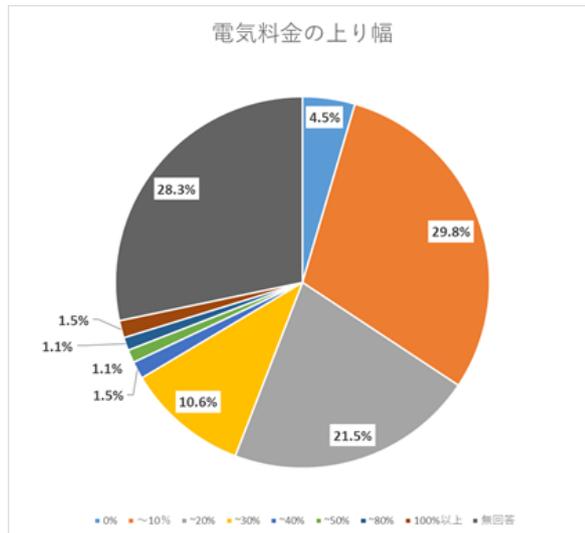


14. 電気料金高騰の影響についてお伺いします。2022年8月と比較して

2023年8月の電気料金はどの程度上がりましたか。 約 () %

電気高騰の影響については～10%の値上がり率が30%で最も多かった。

電気料金の上り幅	
0%	12
～10%	79
～20%	57
～30%	28
～40%	4
～50%	3
～80%	3
100%以上	4
無回答	75
	265



15. 歯科技工所の閉所を考えたことはありますか。

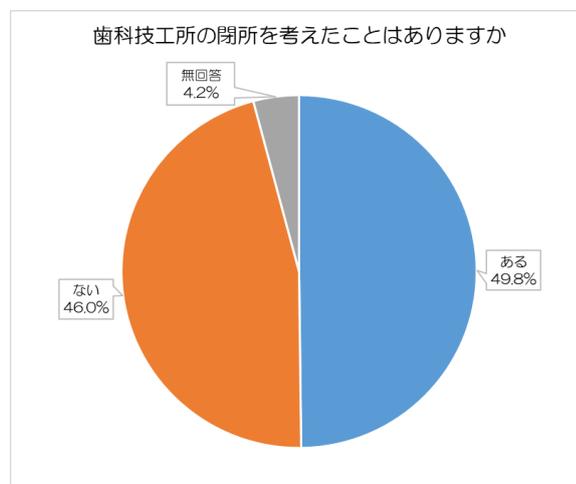
ある ない

⇒あるとご回答された方へ 当てはまる理由を全てチェックしてください。

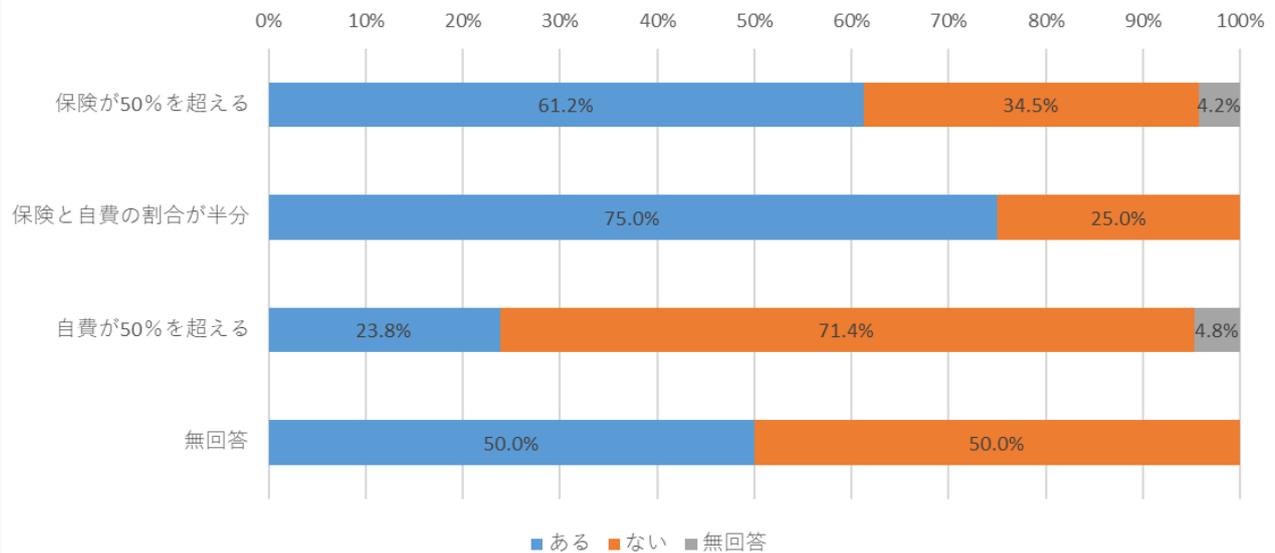
- 採算が合わない
- 高齢
- 健康上の理由
- 将来展望がない
- 経費高騰
- 設備投資が厳しい
- 知識・技術が追いつかない
- 受注が減った
- 人員不足
- 技工料金の値下げ競争
- その他 ()

歯科技工所の閉所について、「考えたことがある」と回答したのが50%で、半分の歯科技工所で閉所を検討していた。理由としては「採算が合わない」が64%と最も多く、次いで「設備投資が厳しい」、「高齢」、「将来展望がない」が52%であった。保険と自費の割合別では保険が50%を超える場合の「考えたことがある」と回答した割合が61%に対し、自費が50%を超える場合が24%であった。

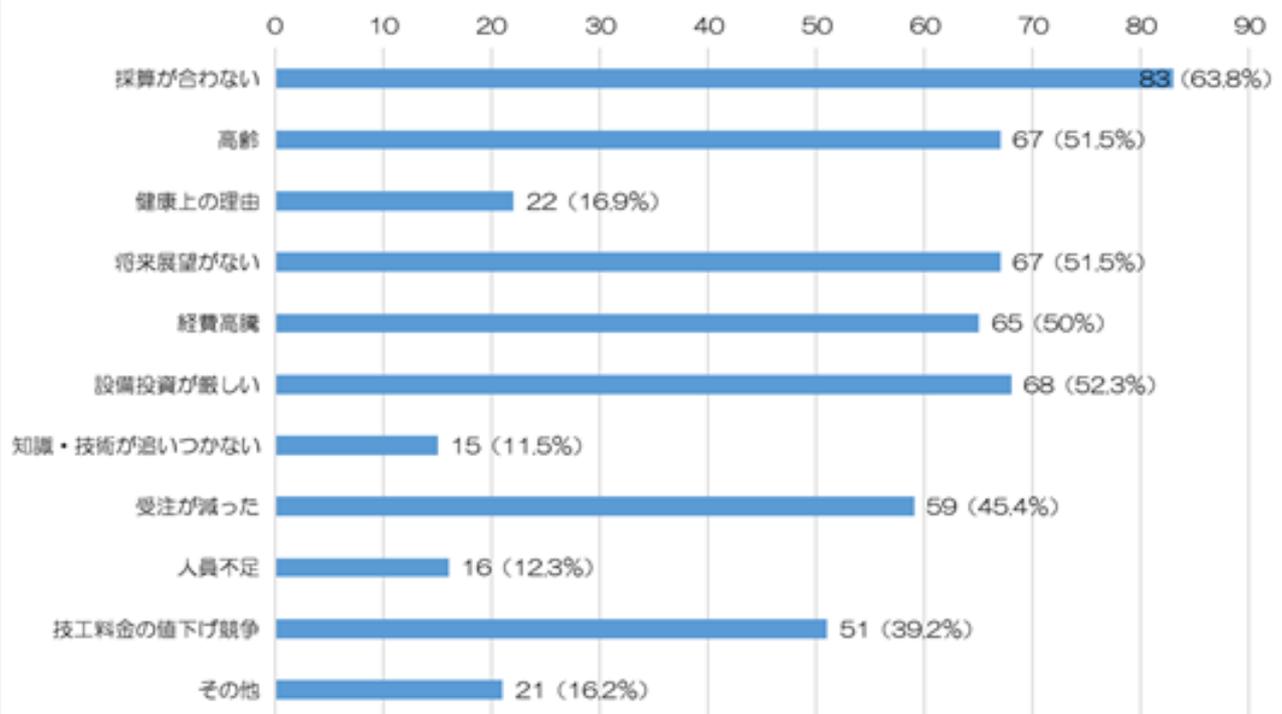
ある	132
ない	122
無回答	11
計	265



製作技工物に占める保険と自費の割合別閉所を考えたことがあるか



あると回答された方の理由（複数回答） N:132

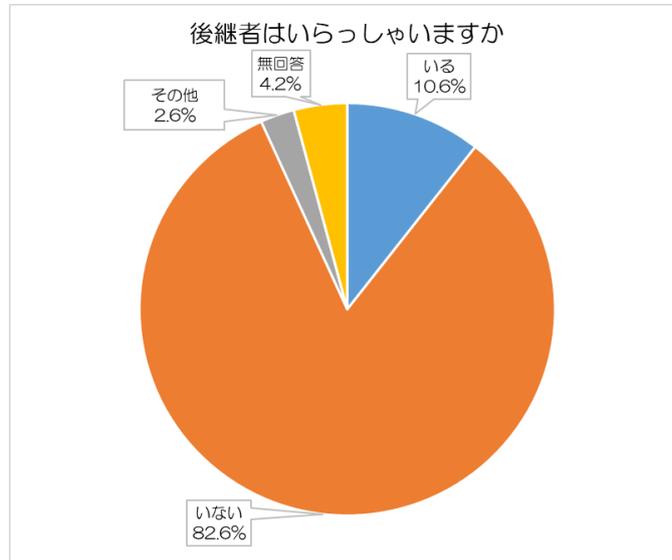


16. 後継者についてお伺いします。後継者はいらっしゃいますか。

いる いない その他 ()

「後継者についてはいない」が83%（前回：83%）と回答した。

いる	28
いない	219
その他	7
無回答	11
計	265

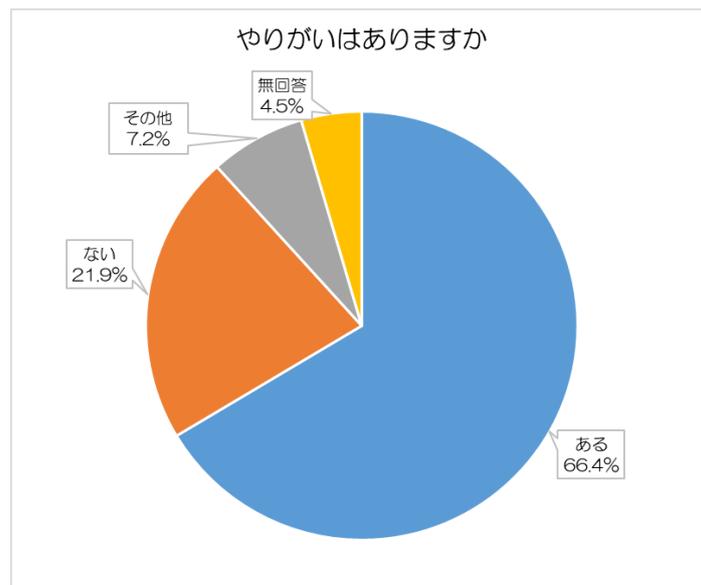


17. 仕事のやりがいについてお伺いします。やりがいはありますか。

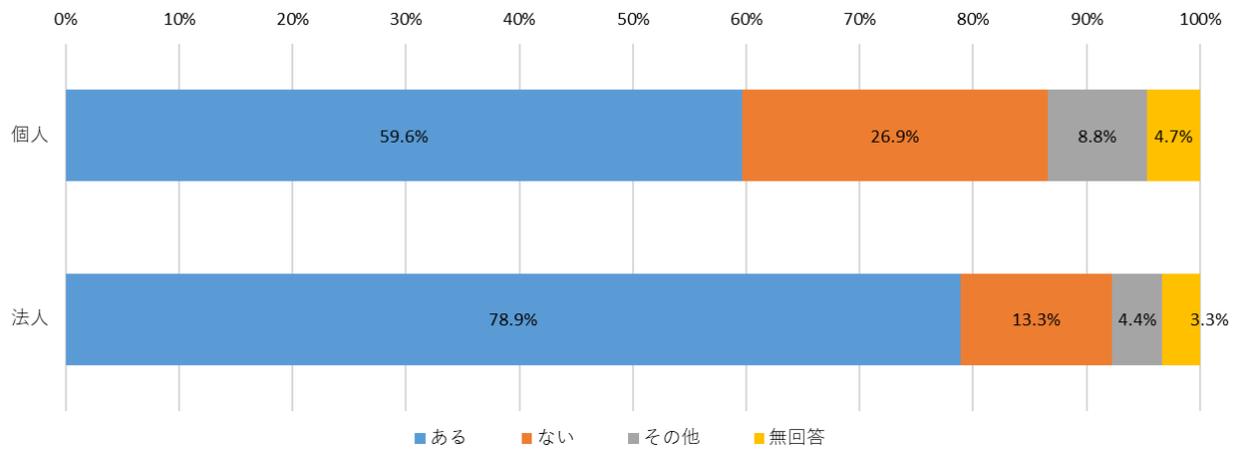
ある ない その他 ()

仕事のやりがいは「ある」が66%（前回55%）となった。個人より法人の方が「ある」との回答が19%多く、「ない」の回答は14%少なかった。

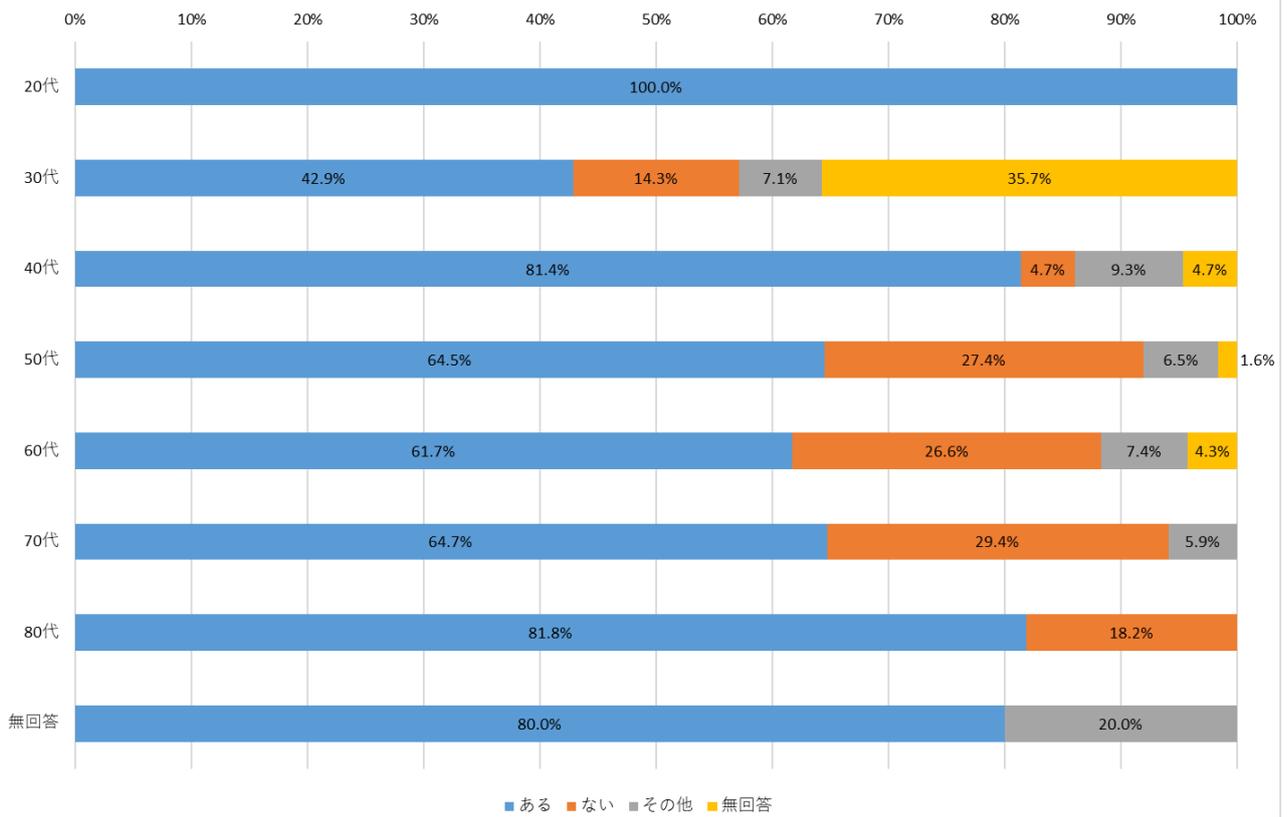
ある	176
ない	58
その他	19
無回答	12
計	265

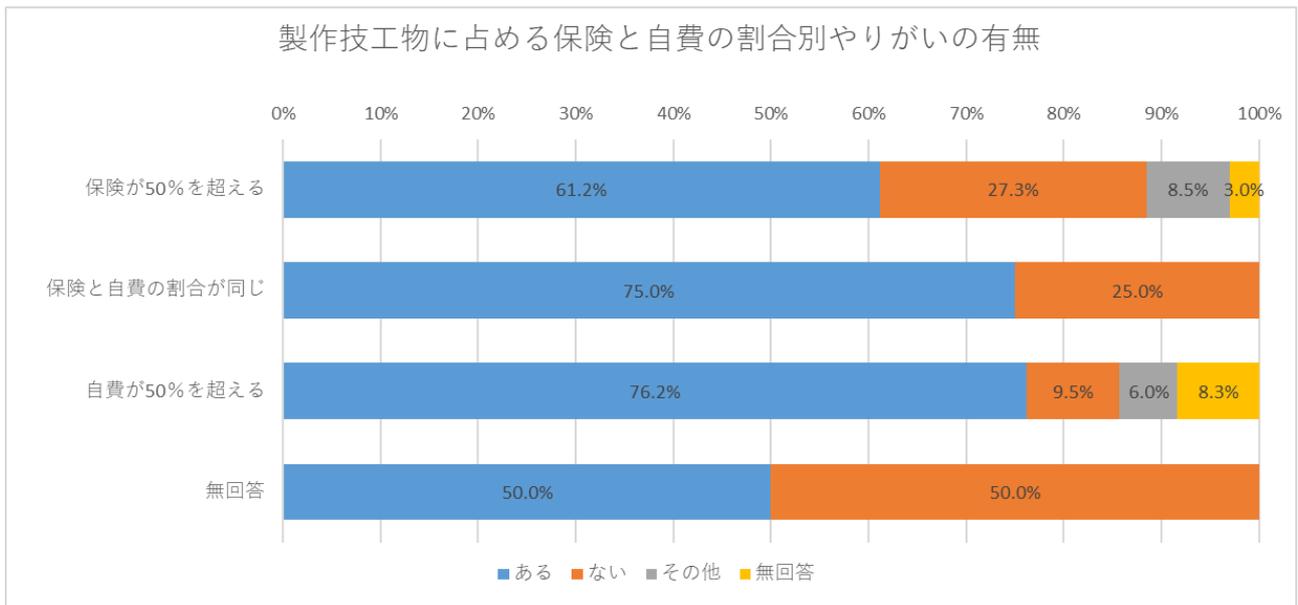


開業区分別 やりがいの有無



年代別 やりがいの有無





18. CAD/CAM技術による受注についてお伺いします。

保険・自費問わず受注している 自費のみ受注している 受注していない

⇒ 「自費のみ受注している」、「受注していない」と回答された方へ

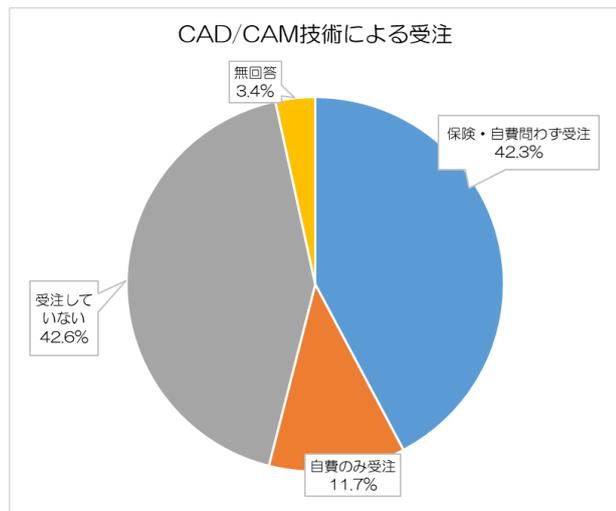
保険の受注をしていない理由について当てはまるもの全てにチェックしてください

採算が合わない 設備投資が厳しい 機械を置く場所がない

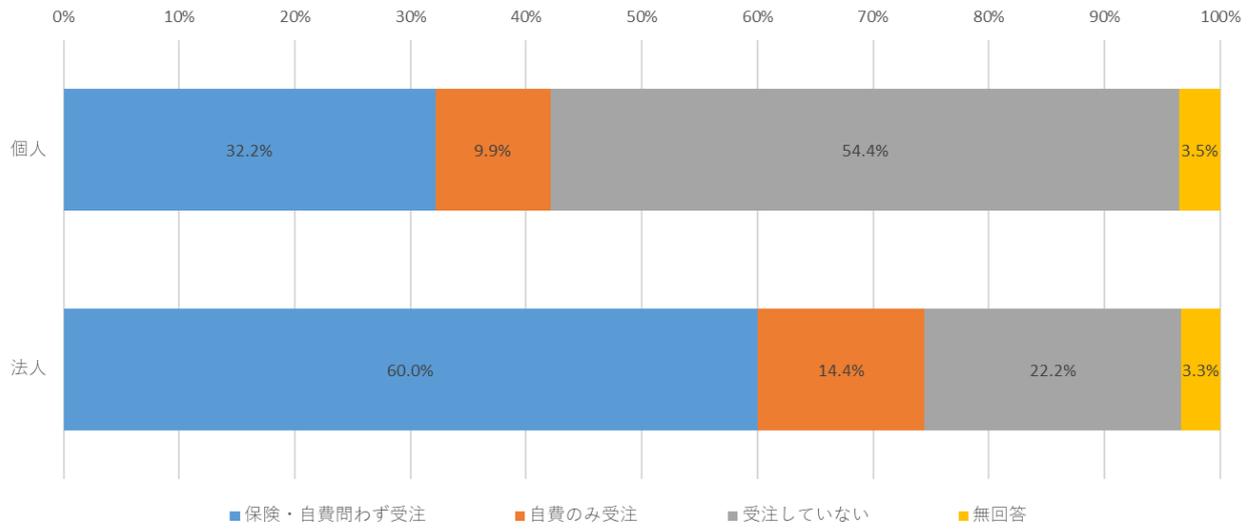
知識・技術が追いつかない 要望がない その他 ()

CAD/CAM技術による受注については、42%が「保険・自費を問わず受注」、12%が「自費のみ受注」で、43%が「受注していない」との回答であった。「自費のみ受注」「受注していない」の理由は「設備投資が厳しい」が42%と最も多く、次いで「採算が合わない」が35%であった。また、個人では「保険・自費問わず受注」が32%に対し、法人は60%であった。

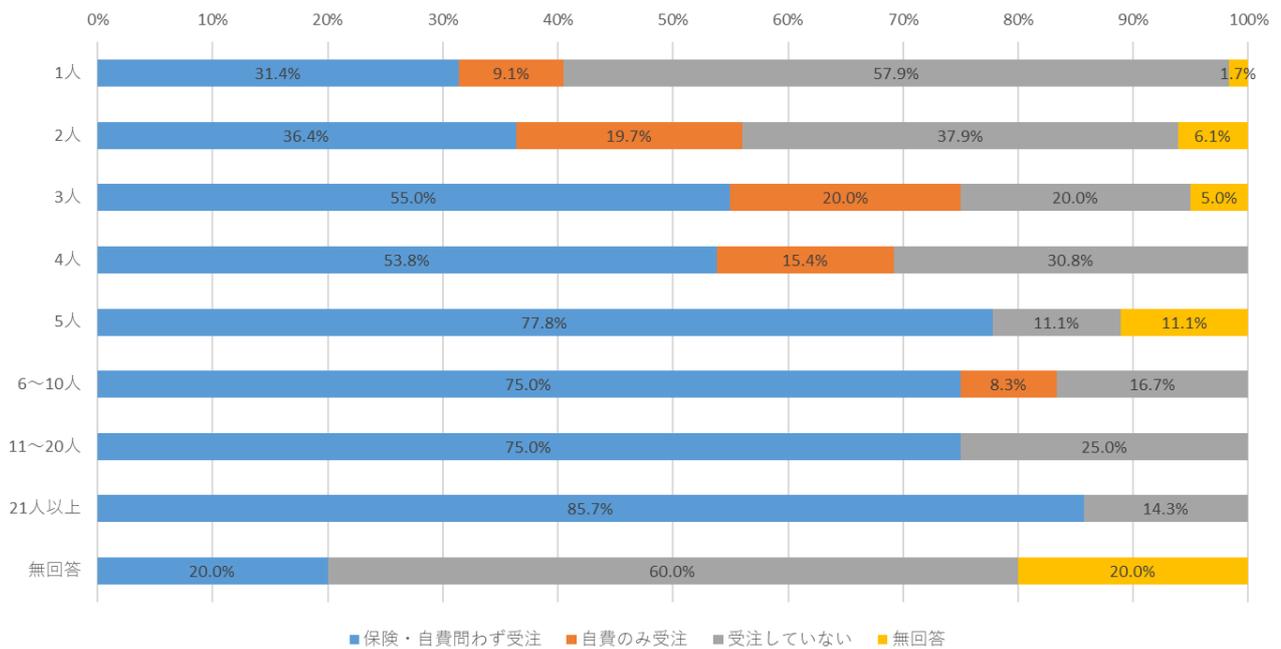
保険・自費問わず受注	112
自費のみ受注	31
受注していない	113
無回答	9
計	265



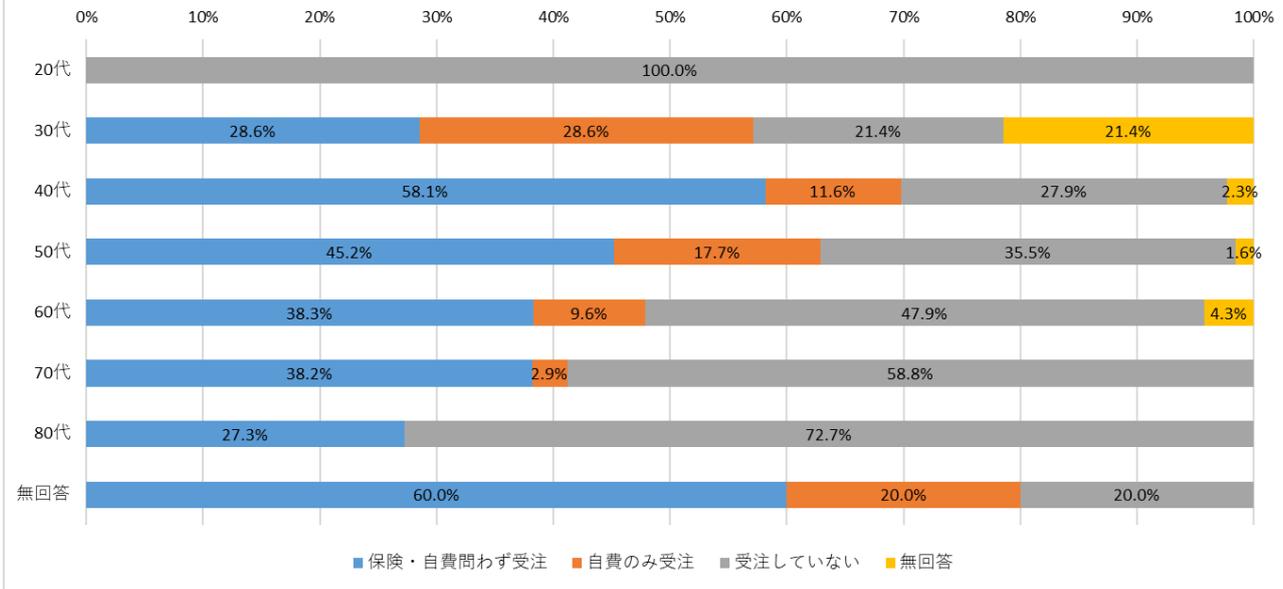
開業区別CAD/CAM技術による受注



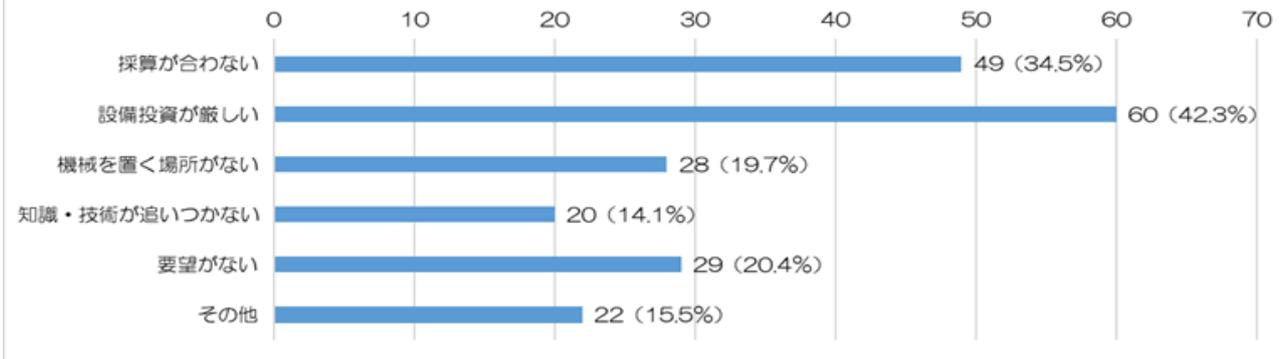
事業所人数別CAD/CAM技術による受注



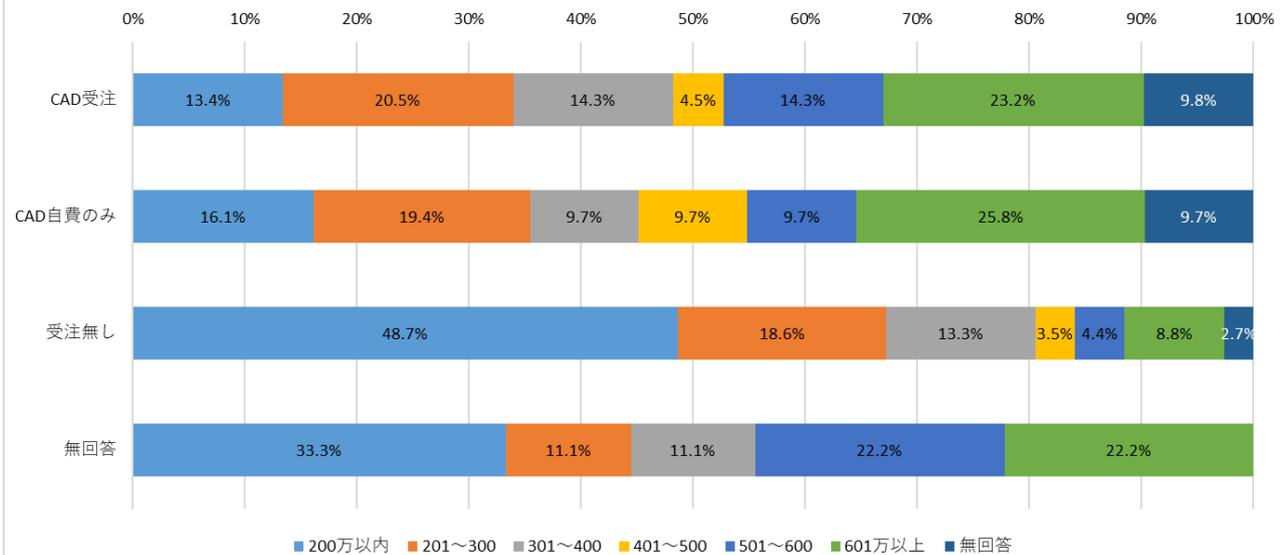
年代別CAD/CAM技術による受注



自費のみ受注している、受注していない方の理由（複数回答） N:144



CAD/CAM冠 受注有無による所得分布



その他の意見

- ・CAD/CAM なんて技術ではない
- ・CAD/CAM 以外高い技術を要するもの
- ・面倒
- ・外注です
- ・技工士の否定に繋がる
- ・義歯専門にやっている
- ・興味がない
- ・歯科医の技術がない
- ・時間のムダ
- ・自費のみ受注しているため保険は一切していない
- ・自費は他でやっているため自分の技工所ではやらない
- ・取引先 Dr の知識と技術が追いついていない
- ・受注要望があれば可能
- ・人手不足
- ・只今メーカーを選定して購入予定
- ・適合がイマイチ
- ・保険の CAD/CAM 冠を製作しても破折するマテリアルなのでやらない
- ・良い物とは思えない

19. チタン冠の受注についてお伺いします。

保険・自費問わず受注している 自費のみ受注している 受注していない

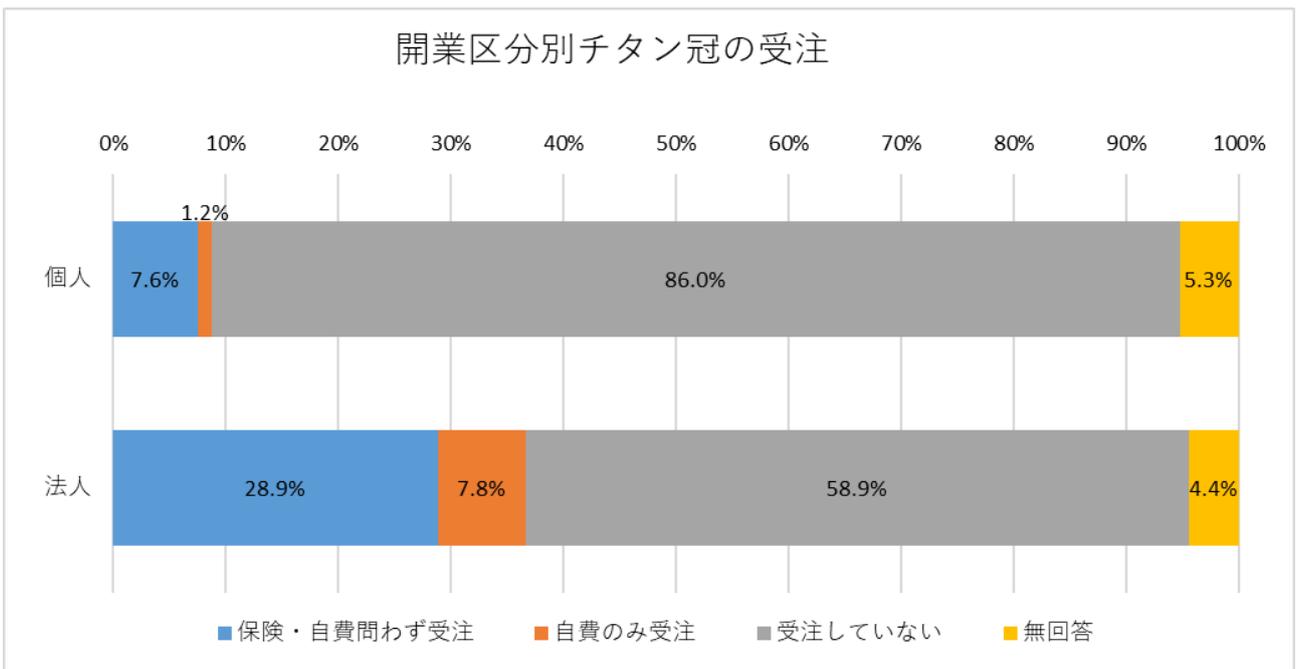
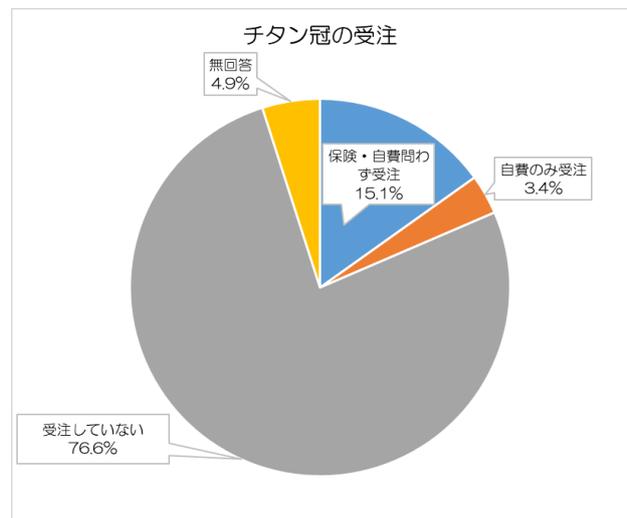
⇒「自費のみ受注している」、「受注していない」と回答された方へ

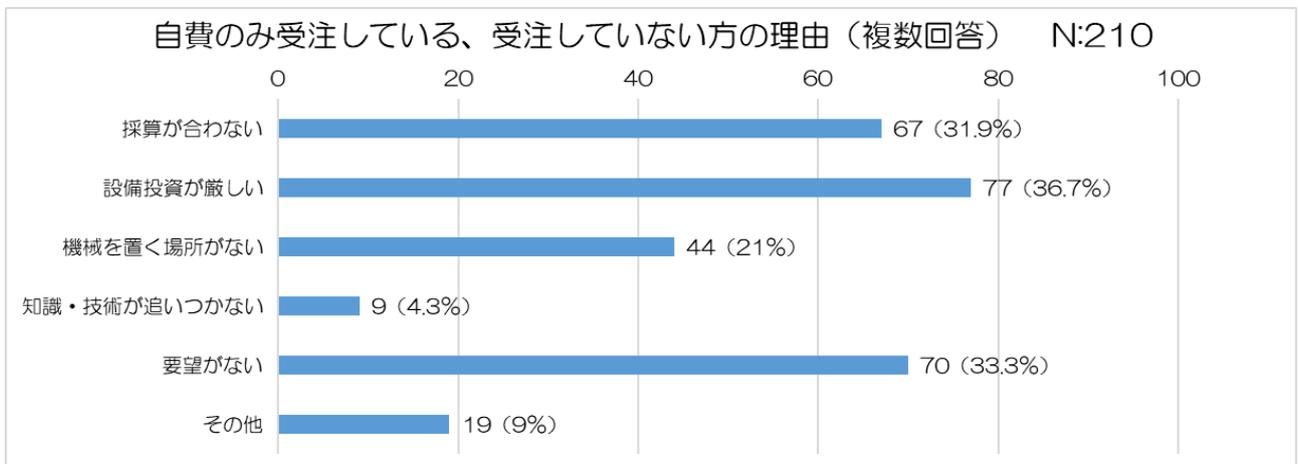
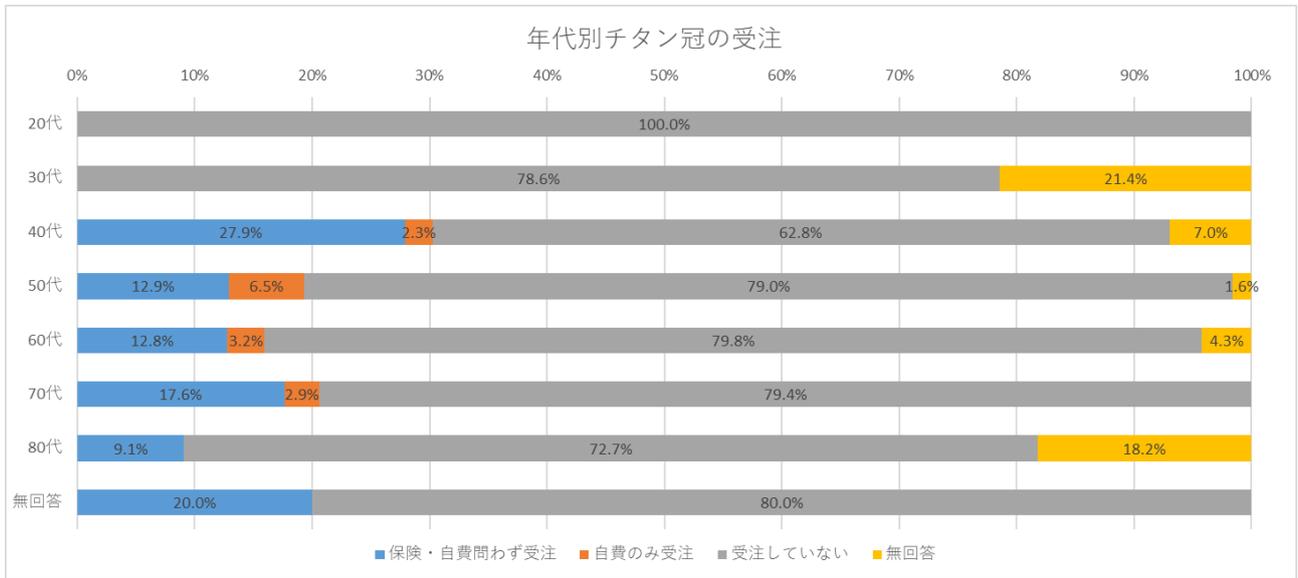
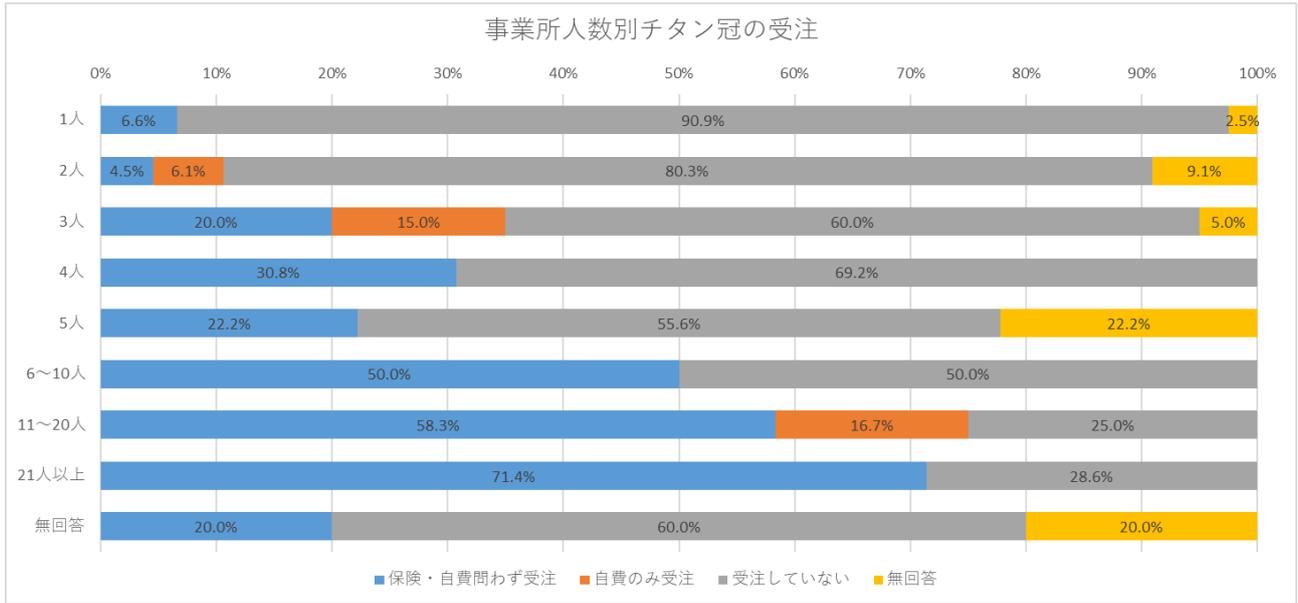
保険の受注をしていない理由について当てはまるもの全てにチェックしてください

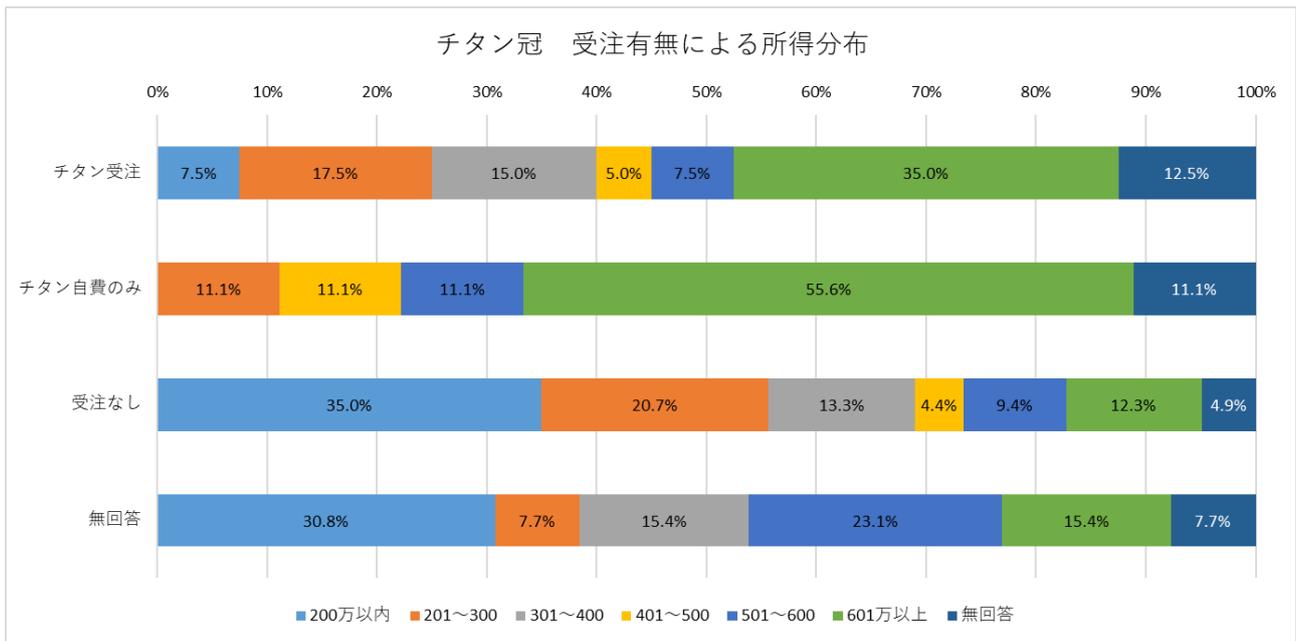
- 採算が合わない 設備投資が厳しい 機械を置く場所がない
知識・技術が追いつかない 要望がない その他 ()

チタン冠の受注については、15%が「保険自費問わず受注」、3%が「自費のみ受注」で、77%が「受注していない」と回答した。「自費のみ受注」「受注していない」の理由は設備投資が厳しいが37%で最も多く、次いで要望がないが33%であった。また、個人では「保険・自費問わず受注」が8%に対し、法人は29%であった。法人の技工所の方が保険・自費問わず受注している傾向にあった。

保険・自費問わず受注	40
自費のみ受注	9
受注していない	203
無回答	13
計	265







その他の意見

- ・ Co-Cr で良い チタンはどうでもいい
- ・ チタン冠の取り扱いがない
- ・ なぜ今チタン冠？
- ・ メリットがまったくない
- ・ 面倒
- ・ 外注
- ・ 機械の消耗が激しくリペアーが必修となる 1 回に 40 万は掛る。バーの高騰等。
- ・ 義歯専門に受注
- ・ 研磨にチタンは手間がかかりすぎ！
- ・ 専門外
- ・ 多くに手を出したくない
- ・ 鑄造のチタン冠は製作できない 製作が困難
- ・ 鑄造を外注、研磨作業が大変すぎます
- ・ 保険対応していないため
- ・ 料金を下げろとの圧がすごい

20. 保険の義歯の受注についてお伺いします。

受注している 受注をやめた（_____年ごろ） 受注したことがない

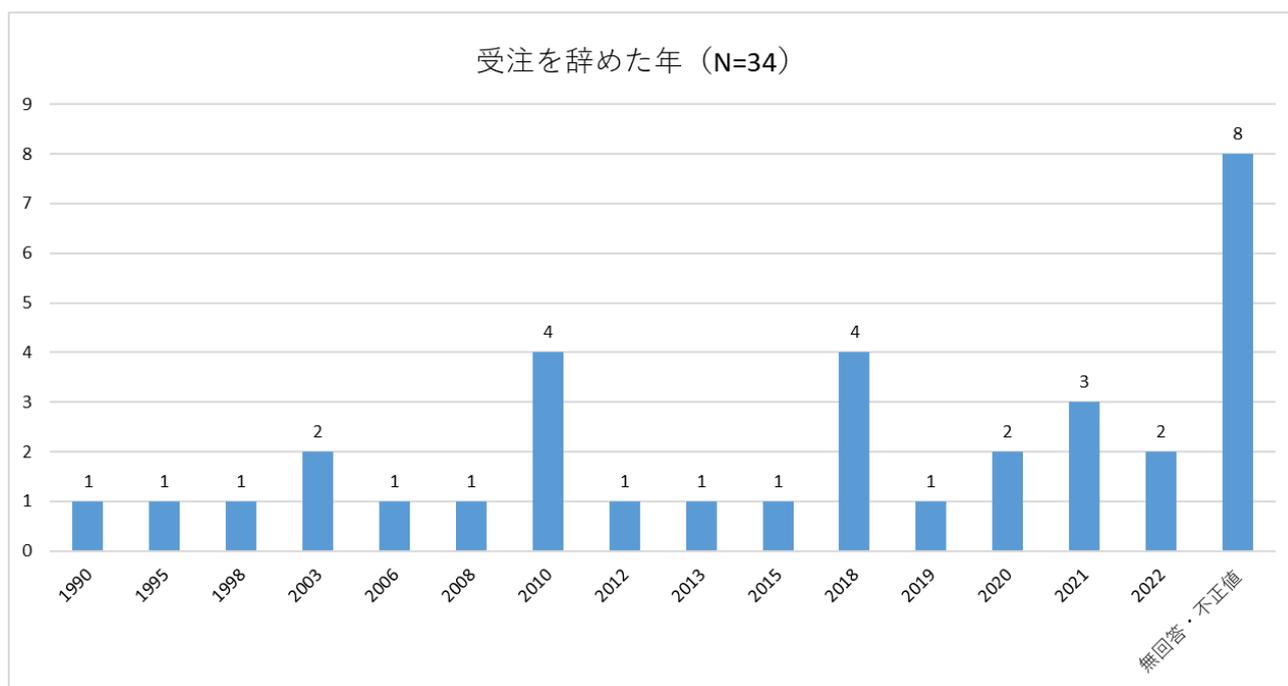
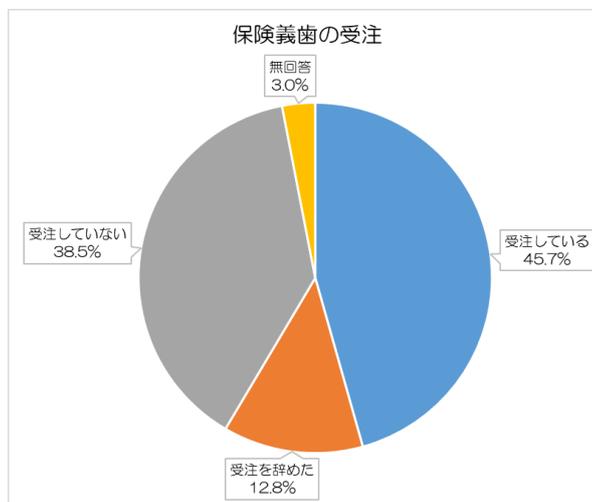
⇒「受注をやめた」、「受注したことがない」と回答された方へ

理由について当てはまるもの全てにチェックしてください。

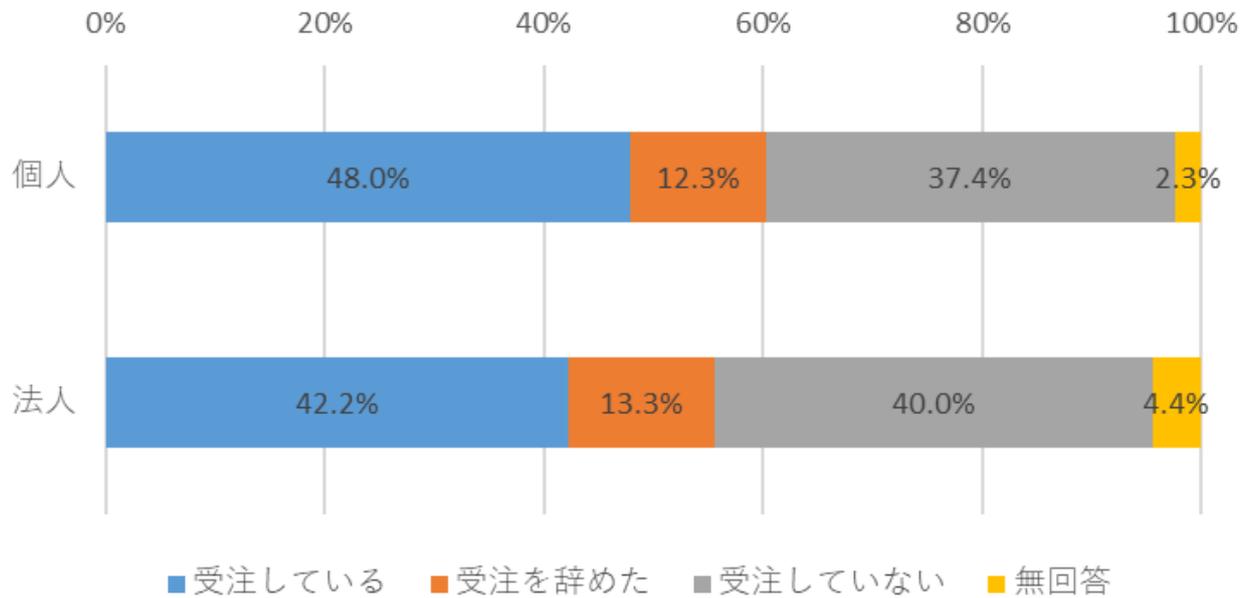
Cr. Br 製作が専門 採算が合わない 時間がない 人員が足りない
技術的な問題 その他（_____）

保険の義歯の受注については46%が「受注している」、13%が「受注を止めた」、38%が「受注していない」と回答した。「受注を止めた」「受注したことがない」の理由は「クラウン・ブリッジ製作が専門」が46%と最も多く、次いで「採算が合わない」が34%であった。法人の受注が42%に対し、個人は48%であり、法人よりも個人の方が受注の割合が多かった。年代別では30代の64%、40代の61%、50代の66%が「受注を止めた」「受注していない」と回答していた。

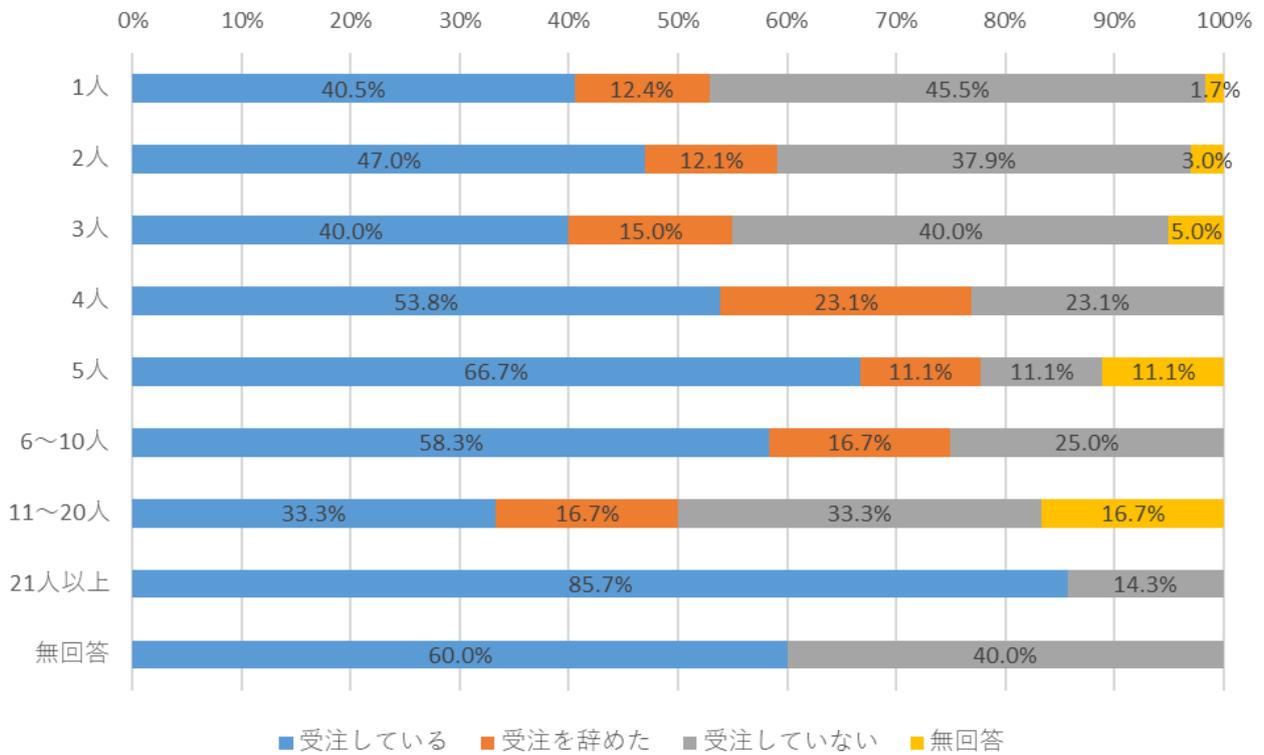
受注している	121
受注を辞めた	34
受注していない	102
無回答	8
計	265



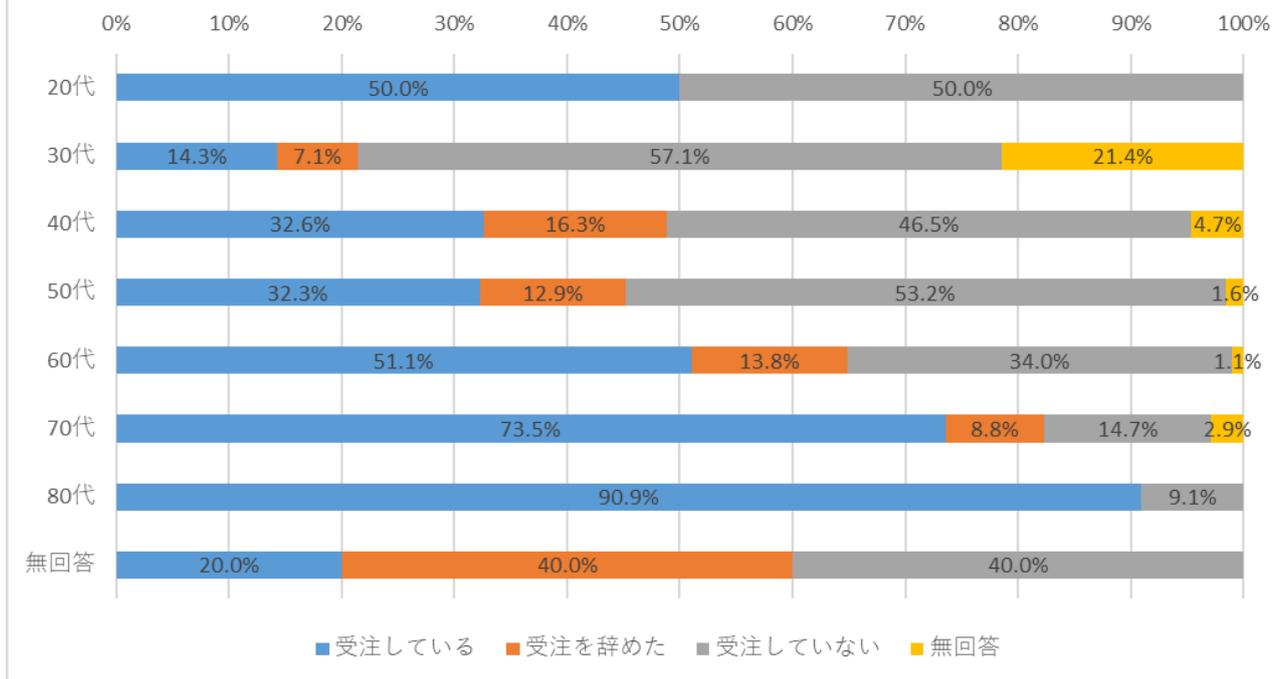
開業区分別保険義歯の受注



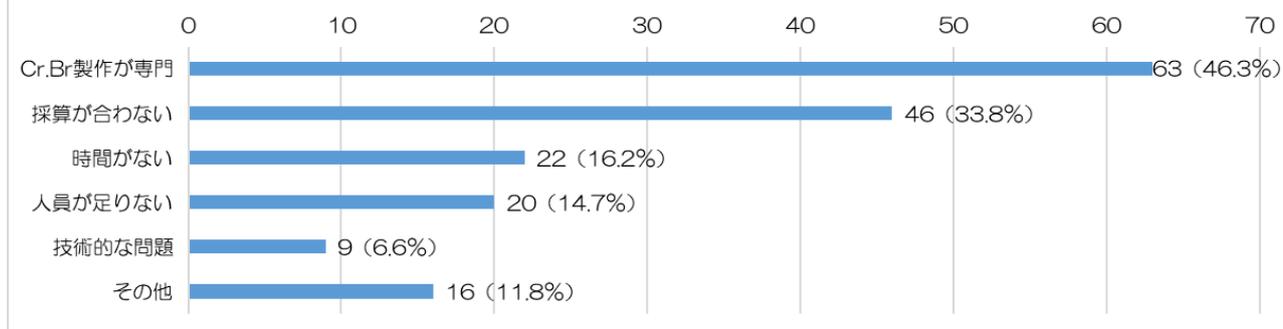
事業所人数別保険義歯の受注



年代別保険義歯の受注



受注をやめた、受注したことがない方の理由（複数回答） N:136



2.1. 自費の義歯の受注についてお伺いします。

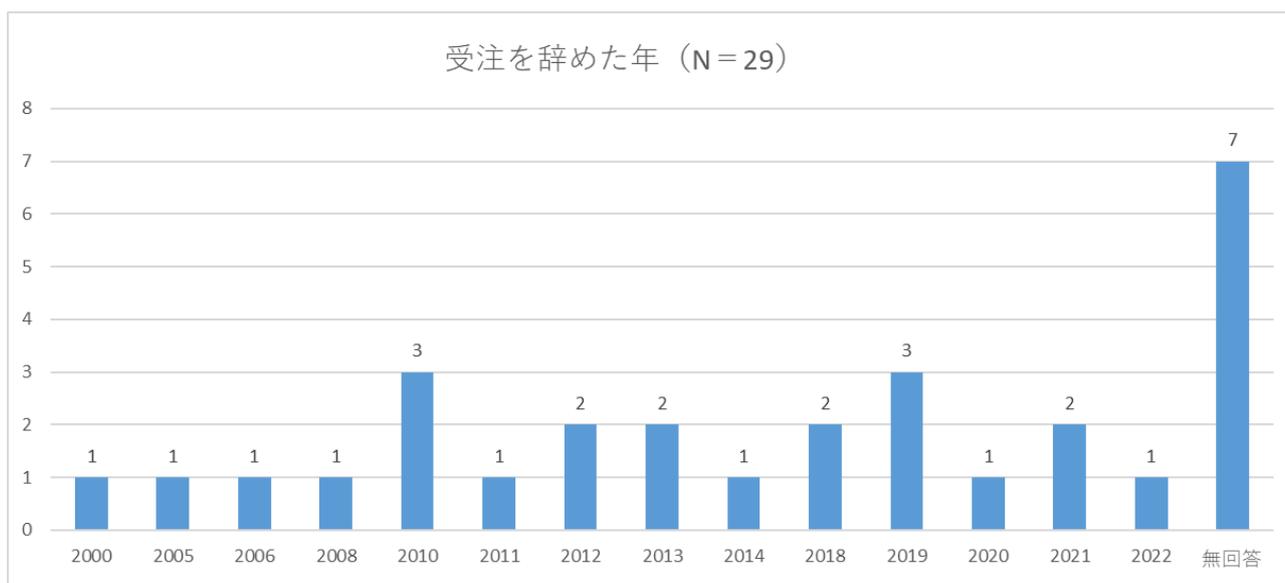
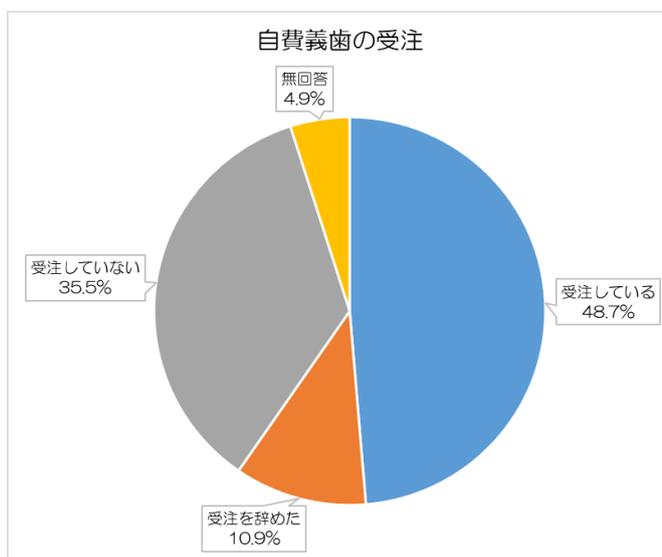
受注している 受注をやめた（_____年ごろ） 受注したことがない

⇒「受注をやめた」、「受注したことがない」と回答された方へ
理由について当てはまるもの全てにチェックしてください

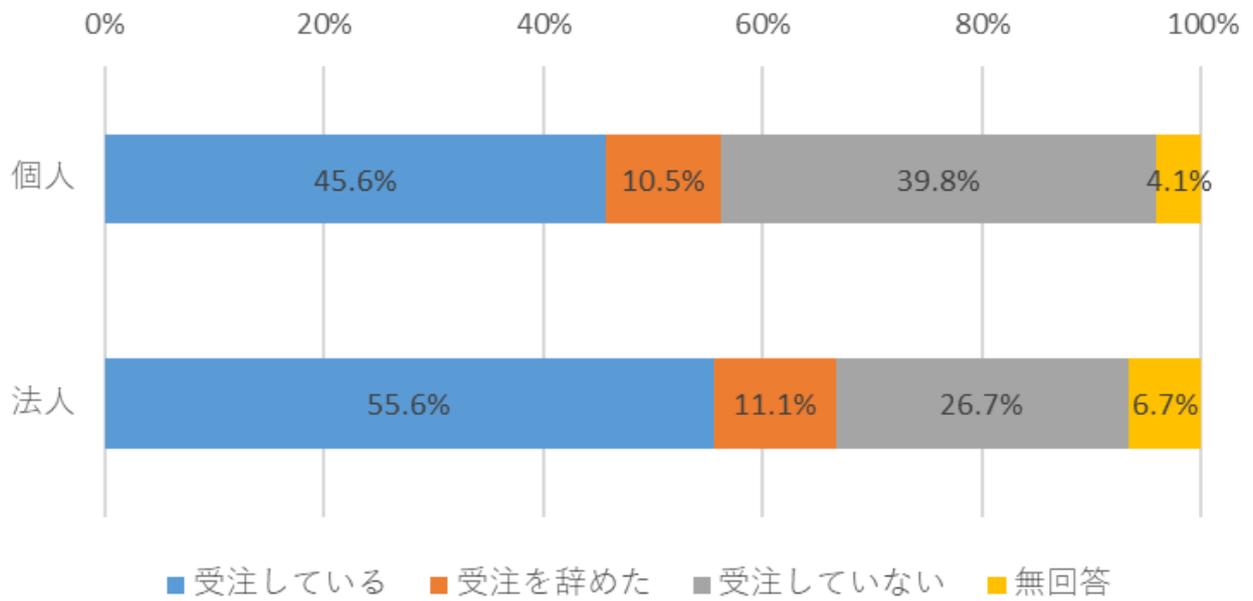
Cr. Br 製作が専門 採算が合わない 時間がない 人員が足りない
技術的な問題 その他（_____）

自費の義歯の受注については49%が「受注している」、11%が「受注を止めた」、35%が「受注していない」との回答であった。「受注を止めた」、「したことがない」理由は「クラウン・ブリッジ製作が専門」が44%と最も多く、次いで「採算が合わない」が16%であり、保険の義歯よりも「採算が合わない」という回答の割合が少なかった。法人の受注が56%に対し、個人は46%であり、個人よりも法人の方が受注の割合が多かった。年代別では30代の50%、40代の53%、50代63%が「受注を止めた」「受注していない」との回答であり、若い年代の方がその比率が低かった。

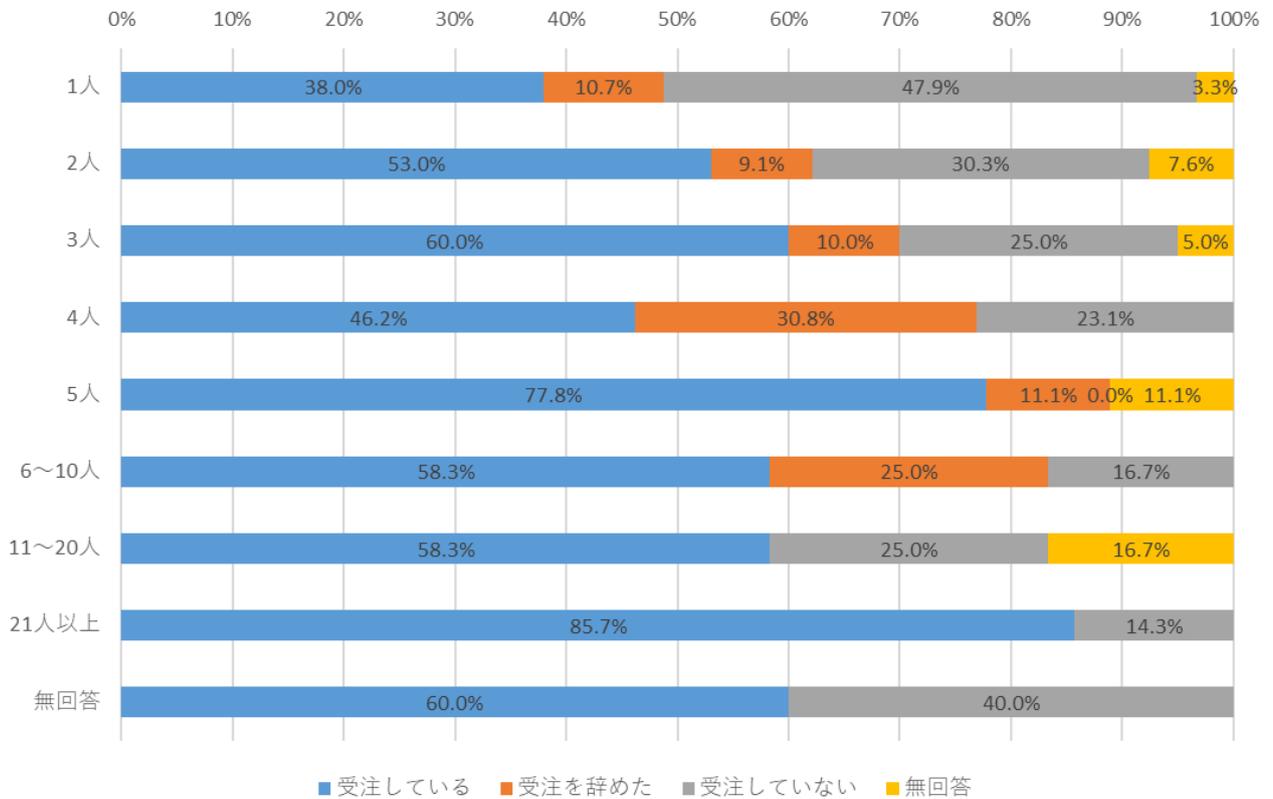
受注している	129
受注を辞めた	29
受注していない	94
無回答	13
計	265



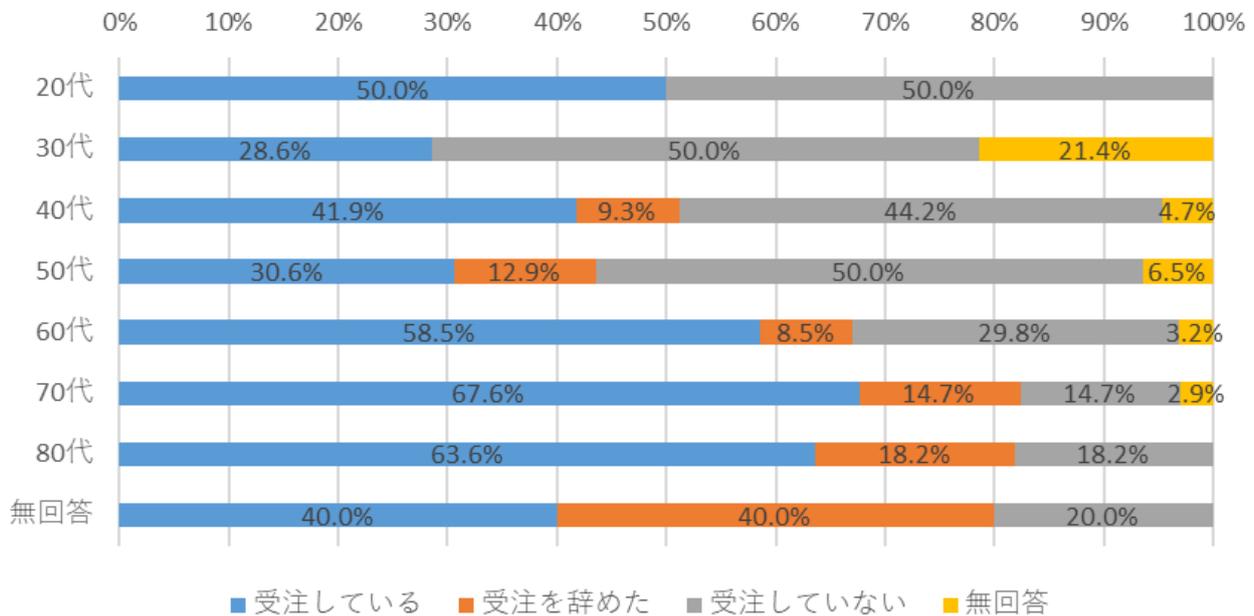
開業区分別自費義歯の受注



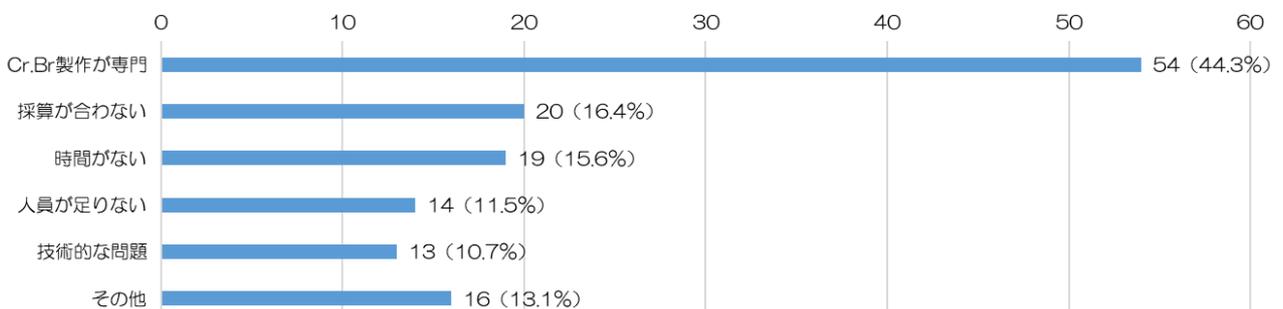
事業所人数別 自費義歯の受注



年代別自費義歯の受注



受注をやめた、受注したことがない方の理由（複数回答） N:122



その他の意見

- ・ Dr がノンスクラブデンチャーにかわったため
- ・ デジタル技工に対応していない
- ・ 面倒なのでやめたいと思っている
- ・ やってない
- ・ 外注先の技工所の閉鎖
- ・ 義歯は製作していません
- ・ 金属床をやっていた方が死亡し事業を閉めたため
- ・ 仕事来ない
- ・ 歯科医院の廃業
- ・ 取り扱ってない
- ・ 要望がない

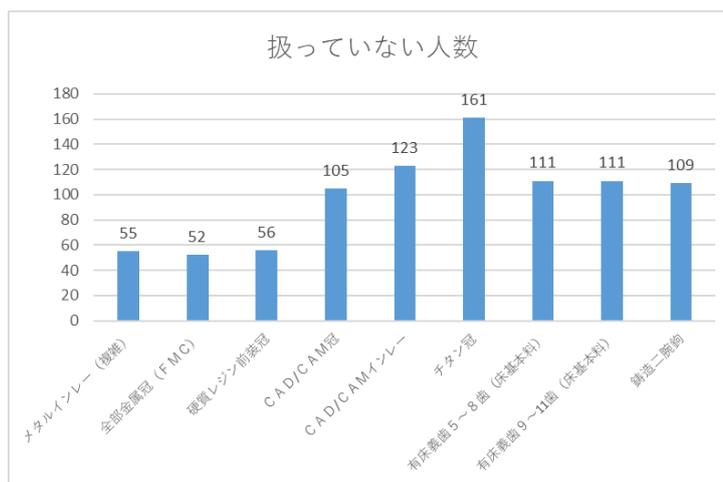
2.2. 歯科技工物（保険）の現行料金と希望する料金

メタルインレー（複雑）	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
全部金属冠（FMC）	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
硬質レジン前装冠	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
CAD/CAM冠	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
CAD/CAMインレー	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
チタン冠	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
有床義歯5～8歯（床基本料）	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
有床義歯9～11歯（床基本料）	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない
鑄造二腕鉤	現行（ ）円	希望（ ）円	<input type="checkbox"/> 扱っていない

技工物の現行料金と希望する料金では、現行料金と希望料金に違いがあるケースが多く、インレー、FMC、硬質レジン前装冠、チタン冠では、保険技工料の7割を求める意見が多かった。一方、CAD/CAM冠や有床義歯、鑄造二腕鉤では、保険技工料7割以上の報酬を求める回答が多く、保険技工料が低すぎる設定であることが示唆された。一方、不採算と思う保険技工物は、「義歯」、「インレー」、「FMC」という回答が多く、現行料金と希望料金に差があることが分かった。

扱っていない人数

メタルインレー（複雑）	55
全部金属冠（FMC）	52
硬質レジン前装冠	56
CAD/CAM冠	105
CAD/CAMインレー	123
チタン冠	161
有床義歯5～8歯（床基本料）	111
有床義歯9～11歯（床基本料）	111
鑄造二腕鉤	109



	インレー複雑	FMC	前装冠	CAD/CAM冠	CAD/CAMインレー	チタン冠	義歯5-8	義歯9-11	鑄造二腕鉤
個人	16%	15%	17%	47%	56%	65%	42%	42%	40%
法人	29%	28%	28%	26%	29%	51%	41%	41%	41%

保険技術料の7割	1,988円
現行の平均	1,385円
希望の平均	2,138円

インレー	現行	希望
500-1200	1	0
700	2	0
800	6	0
900	10	0
950~1500	1	0
950	1	0
1000	29	1
1100	7	0
1180	1	0
1200	31	11
1300	12	2
1300-1700	1	0
1320	1	0
1400	4	0
1500	27	38
1600	6	5
1700	1	0
1750	0	1
1800	4	14
1900	3	0
1988	0	0
1990	1	1
2000	10	43
2100	1	1
2200	1	0
2300	1	0
2500	3	11
2600	0	1
2620	1	0
2800	0	1
3000	0	10
3107	0	0
3500	0	4
4000	0	4
4500	0	1
5000	0	3
8000	0	1
10000	1	1

保険技術料の7割	3,178円
現行の平均	2,319円
希望の平均	3,495円

F M C	現行	希望
1200-2000	1	0
1300	1	0
1500	1	0
1600	1	0
1680	1	0
1700	2	0
1800~2700	1	0
1800	18	0
1840	1	0
1850	1	0
1900	6	0
2000	38	3
2100	3	0
2180	1	0
2200	13	2
2300	12	3
2350	1	0
2400	6	0
2500	32	36
2535	1	0
2600	5	4
2700	3	4
2800	5	7
2900	1	0
3000	9	42
3200	0	1
3495	0	0
3500	1	21
3600	0	1
3800	1	0
4000	1	9
5000	0	14
5500	0	1
6000	0	2
7000	0	1
8000	0	2
10000	1	1
15000	0	1
20000	0	1

保険技術料の7割	8,218円
現行の平均	5,362円
希望の平均	7,697円

硬質レジン	現行	希望
2700-5000	1	0
2900	1	0
3000	1	0
3500	4	0
3600	1	0
3800	3	0
3900	2	0
4000~7200	1	0
4000	17	1
4100	1	0
4200	1	0
4300	2	0
4400	1	0
4460	1	0
4500	15	4
4700	1	0
4800	8	1
5000-7200	1	0
5000	36	11
5100	1	0
5200	2	1
5500	12	10
5600	1	1
5800	2	0
5825	1	0
6000	22	19
6400	1	0
6500	9	2
6800	1	0
7000	2	27
7500	1	7
7800	2	1
8000	5	35
8218	0	0
8220	1	2
8500	1	2
9000	3	7
9500	0	2
10000	0	7
11000	0	1
12000	0	6
15000	0	2
18000	1	0
30000	0	2

保険技術料の7割	8,400円
現行の平均	8,424円
希望の平均	10,450円

C A D / C A M	現行	希望
2500	1	0
3000	0	1
4000	2	0
5000	2	0
5500	1	0
5800	1	0
6000-10000	1	0
6000	5	2
6500	8	1
6700	1	0
7000	9	1
7364	1	0
7400	1	0
7500	5	0
7800	1	0
8000	10	13
8400	4	2
8500	4	3
8800	1	1
9000	9	12
9100	1	0
9500	5	4
9800	1	0
10000	13	15
10450	0	0
10500	1	2
10700	1	0
11000	2	4
12000	5	13
12500	2	0
13000	0	5
15000	0	6
16000	0	1
18000	0	1
20000	1	0
30000	0	1

保険技術料の7割	5,250円	
現行の平均	7,047円	
希望の平均	9,017円	
CAD/CAMインレー	現行	希望
2000	1	0
2300	1	0
2800	0	1
3000	1	1
4000	2	0
5000-20000	1	0
5000	6	0
5200	1	0
5250	3	1
5300	1	0
5500	2	0
6000	12	1
6500	6	2
6700	1	0
6800	2	0
7000~8500	1	0
7000	11	7
7364	1	0
7500	6	2
7700	1	0
8000	3	17
8100	1	0
8400	1	2
8500	2	3
8800	2	0
9000	2	9
9500	2	1
10000	2	14
10500	1	0
11000	0	4
11700	1	0
12000	1	3
12500	1	0
13000	0	1
15000	0	1
18000	0	1
20000	1	1

保険技術料の7割	8,400円	
現行の平均	8,333円	
希望の平均	9,841円	
チタン冠	現行	希望
4000	1	0
5000	1	1
6000	2	0
6500	1	0
6800	1	0
7000	3	1
7200	1	0
7400	1	0
7500	1	0
7800	1	0
8000	8	3
8400	5	1
8500	2	1
9000	3	5
9500	0	2
10000	4	14
10455	1	0
11000	1	1
12000	0	3
15000	0	1
15700	0	1
20000	1	0

保険技術料の7割	5,124円	
現行の平均	4,837円	
希望の平均	7,461円	
義歯5~8	現行	希望
1500	1	0
2000	2	0
2800	1	0
3000~4000	1	0
3000	7	0
3200-3500	1	0
3200	1	0
3300	3	0
3500	7	2
3600	1	0
3700	1	0
3753	1	0
3800	1	0
3900	1	1
4000	11	5
4100	2	0
4200	4	1
4300	2	0
4400-5500	1	0
4400	3	0
4500~5200	0	1
4500	7	3
4600	1	0
4700	1	0
4760	1	0
4800	3	1
4830	1	0
4900	0	1
4910	1	1
5000	9	12
5100	1	0
5120	1	1
5124	0	0
5150	0	1
5200	1	0
5400	1	0
5500	1	5
5600	0	2
5900	0	1
5980	2	0
6000	9	12
6500	0	1
6980	0	1
7000	3	5
7500	2	1
8000	0	13
8100	0	1
9000	0	1
10000	0	9
12000	0	1
15000	1	2
20000	0	1
30000	1	1
40000	0	1

保険技術料の7割	6,734円	
現行の平均	6,310円	
希望の平均	10,304円	
義歯9~11	現行	希望
2000	1	0
3500~6000	1	0
3800	1	0
4000	5	0
4100	1	0
4300	2	0
4500	2	1
4600-4800	1	0
4620	1	0
4800	3	1
5000	12	4
5100~6800	0	1
5200	1	0
5500	6	3
5700	1	0
5900	1	0
6000	13	5
6100	1	0
6300	1	0
6350	1	0
6380	1	0
6400	2	0
6490	1	1
6500	5	4
6600	1	1
6650	1	0
6700	2	0
6800	1	1
6804	0	0
6840	0	1
6900	0	1
7000	5	10
7100	1	0
7200	2	0
7500	4	3
7600	0	2
7700-9000	1	0
7980	1	0
8000	9	9
8500	2	0
8800	1	0
9000	0	3
9300	1	0
9500	1	1
10000	0	16
10650	0	1
11000	0	2
12000	1	4
12500	0	1
12678	0	0
13000	0	1
14000	0	1
15000	0	5
18000	1	0
20000	0	2
25000	0	2
50000	0	1
60000	0	1

保険技術料の7割	1,645円	
現行の平均	1,577円	
希望の平均	2,396円	
鑄造二腕鉤	現行	希望
500	1	0
1000	9	1
1100	2	0
1200	12	1
1300	10	1
1350	1	0
1380	1	0
1400	4	0
1443	1	0
1500-2000	0	2
1500	26	10
1577	0	0
1600	7	2
1645	0	0
1650	2	2
1660	1	0
1800	7	8
1870	1	0
1900	1	0
2000	5	28
2050	1	0
2100	2	0
2170	1	0
2200	1	1
2300	1	0
2396	0	0
2400	0	2
2500	4	12
2600	0	1
2800	1	0
3000	2	13
3300	0	1
3500	1	3
4000	0	4
5000	0	2
5500	0	1
6000	0	1

23. 保険の歯科技工物の製作にあたり特に不採算と思うものを3つ挙げてください。

1. () 2. () 3. ()

保険技工物で不採算と思うものでも、義歯、インレー、FMC という回答が多く、現行料金と希望料金が一致していないことが分かった。

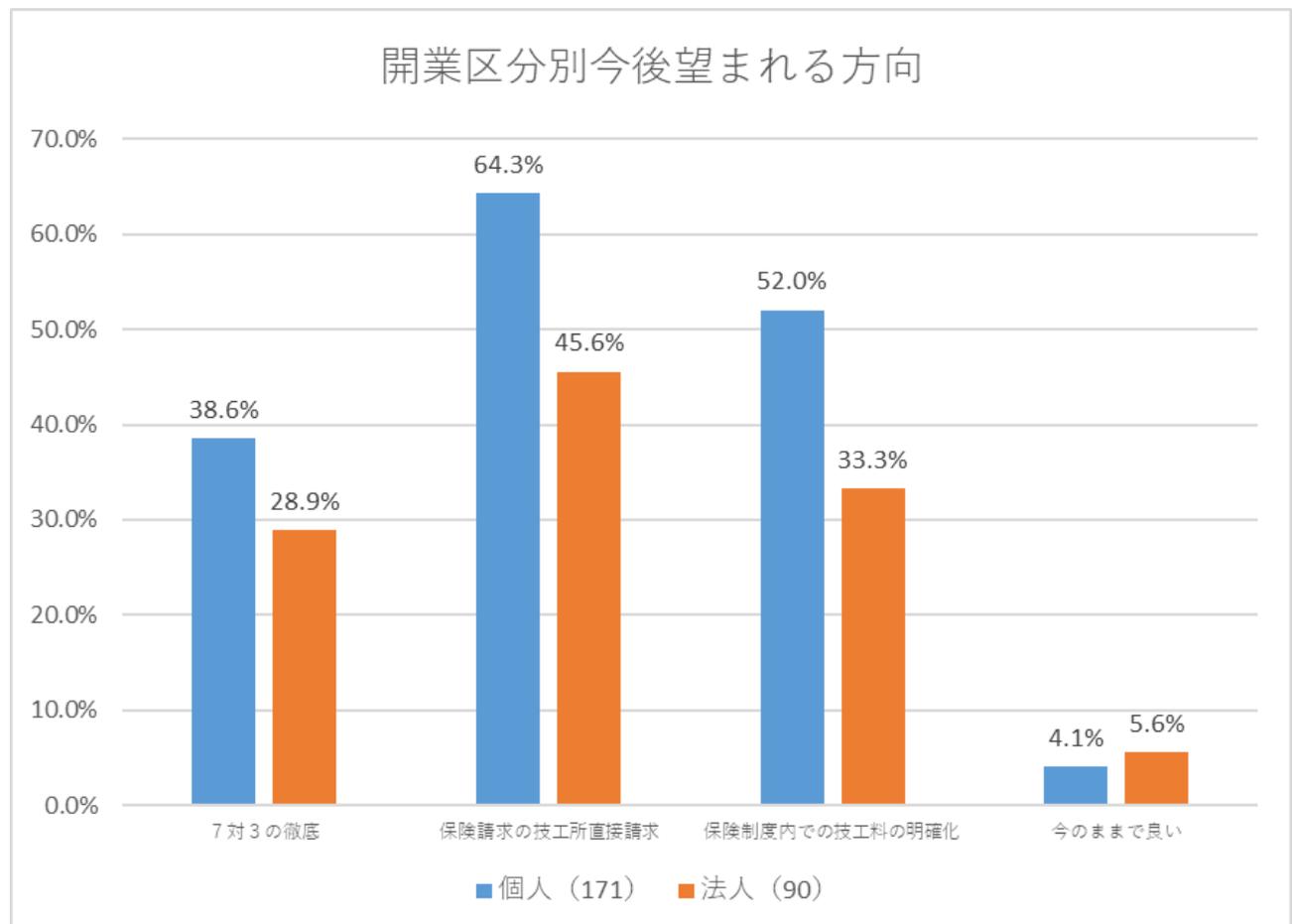
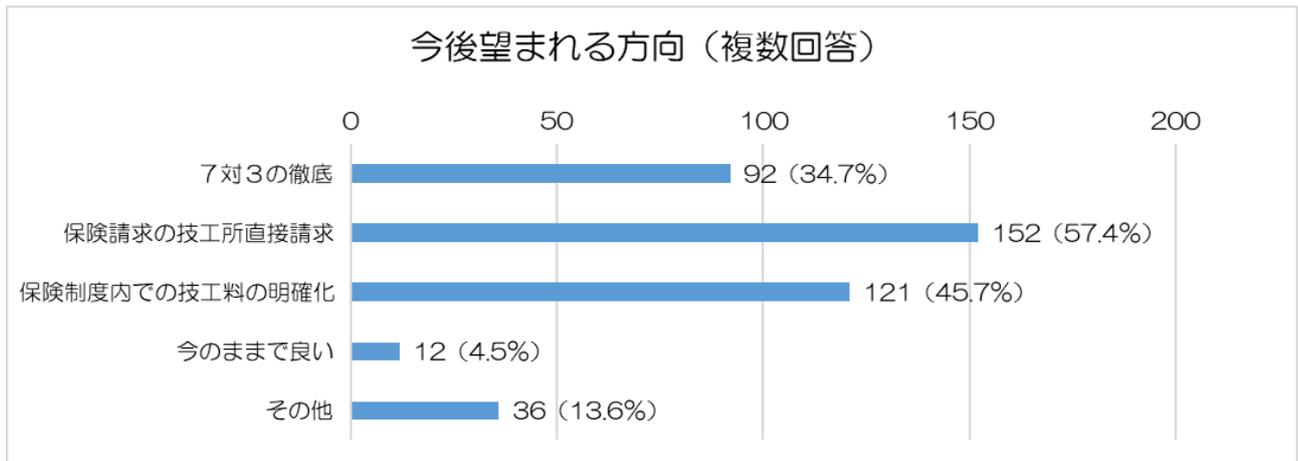
項目	回答数
1 義歯	31
2 インレー	17
3 FMC	13
4 メタルインレー	12
5 値段	12
6 全て	7
7 硬質レジン前装冠	6
8 有床義歯	6
9 前装冠	5
10 CAD/CAM	4
11 メタルコア	4
12 CAD/CAMインレー	3
13 テック	3
14 ロー提	3
15 時間	3
16 CrBr	2
17 TeC	2
18 クラウン	2
19 クラスプ	2
20 コア	2
21 デンチャー関連	2
22 ファイバーコア	2
23 ワイヤークラスプ	2
24 保険義歯	2
25 CAD/CAMの再印象の無料の再製作依頼	1
26 CAD/CAMブロック	1
27 C R インレー	1
28 FCK	1
29 HRBri	1
30 MODインレー	1
31 PD	1
32 PD5～8歯	1
33 インレー (単・複)	1
34 インレー、コア	1
35 インレークラウン	1
36 かかる時間	1
37 キャストコア	1
38 すべて!	1
39 すべて!7:3を守っていない!! (保険点数)	1
40 テック (レジン)	1

項目	回答数
41 テンボラリークラウン	1
42 トレー	1
43 パーシャルデンチャー	1
44 バラのインレー	1
45 バラの料金	1
46 バラ冠	1
47 ブリッチ	1
48 ヘミセクション FMC Bridge	1
49 マグネット	1
50 メタル	1
51 メタルコアインレー	1
52 リベース、リライニング	1
53 レジン前装製造冠	1
54 印象不良による再製作	1
55 外交	1
56 基礎床	1
57 義歯はコストパフォーマンスいいと思ってる。 探すと安い材料ある。	1
58 金属の高騰	1
59 金属製造冠	1
60 硬レBr	1
61 硬質レジンブリッジ	1
62 材料料	1
63 作業用模型	1
64 歯科側のバイト違い	1
65 自費並の製作物の要望	1
66 修理	1
67 人工歯排列	1
68 製作に時間がかかる、材料も上がる	1
69 総義歯	1
70 納期が短い	1
71 排列料	1
72 必要経費に対して技工料	1
73 複雑インレー	1
74 保険デンチャー	1
75 保険の料金を変えても何も変わらないと思います	1
76 保険技工全般	1
77 補綴全般	1
78 模型のトリミング	1
79 模型代も請求したい	1

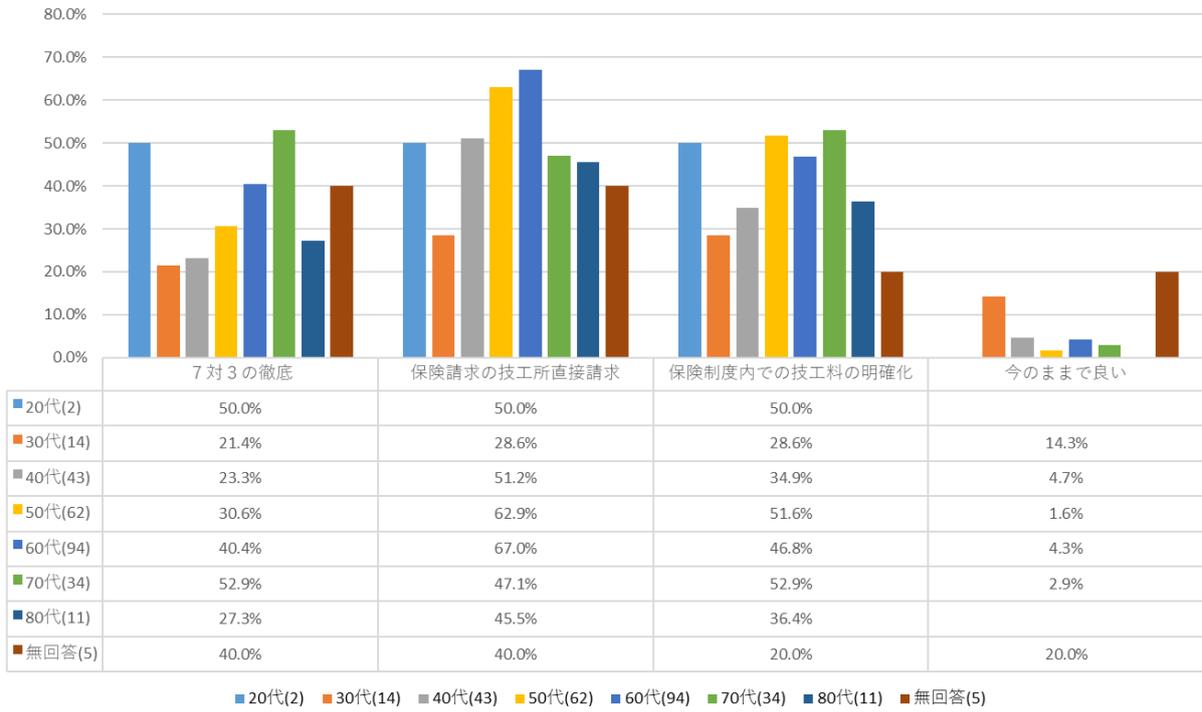
2.4. 今後望まれる方向はどのようなものですか？（保険制度に関して）（複数回答可）

- 7対3の徹底 保険請求の技工所直接請求 保険制度内での技工料の明確化
 今のままで良い その他（ ）

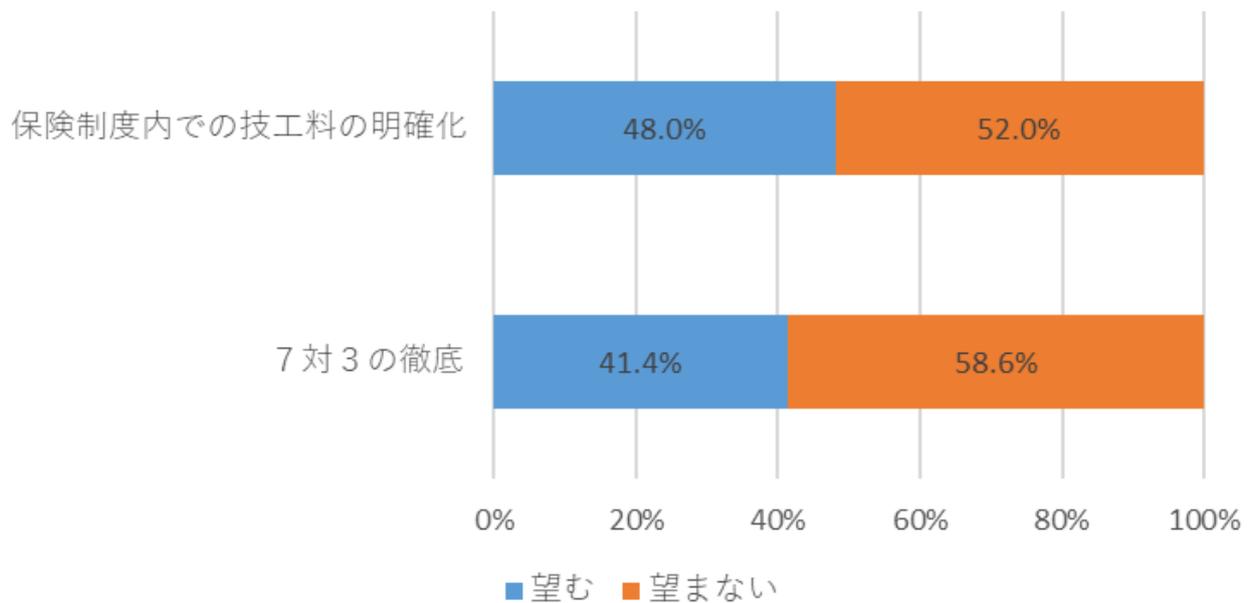
今後望む方向としては、「技工所が保険請求を直接請求」が57%と最も多かった。前回も65%と最も多く、直接請求を望む声は大きい。「7：3の徹底」より、「技工料の明確化」の回答が9%高く、現在の診療報酬自体にも不満が窺える。また、「今のままで良い」という回答は4.5%と最も低く、現状に不満を持っていることが分かった。



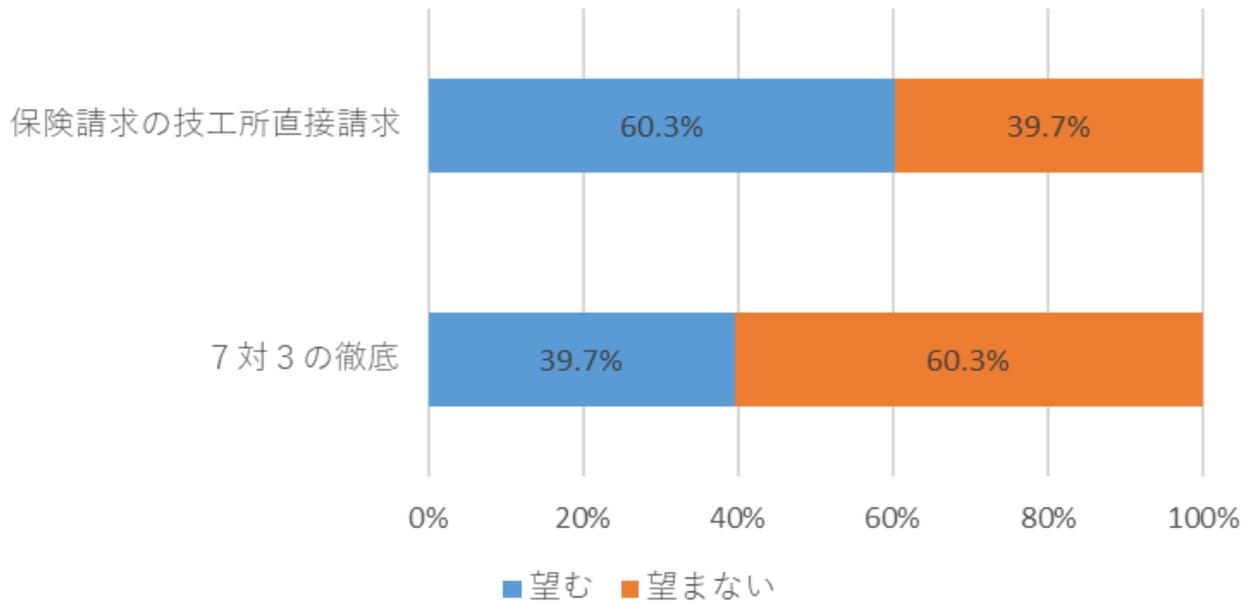
年代別今後望まれる方向



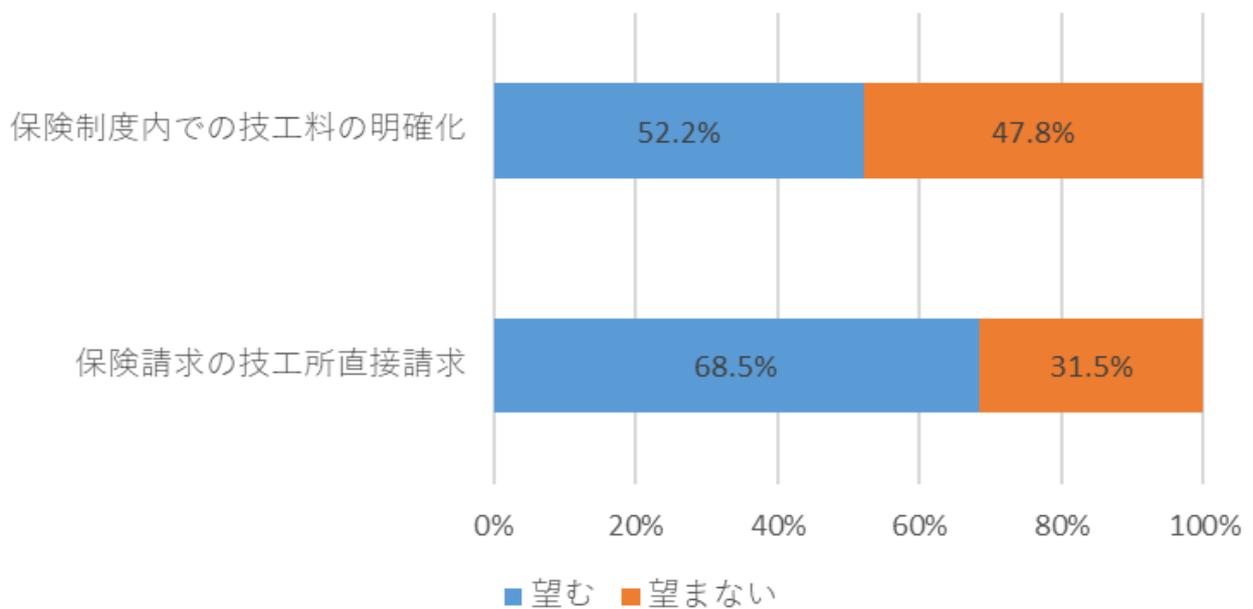
直接請求を望むと回答したうちの他の回答 (N=152)



技工料の明確化と回答したうちの他の回答 (N=121)



7：3の徹底を望むと回答したうちの他の回答 (N=92)



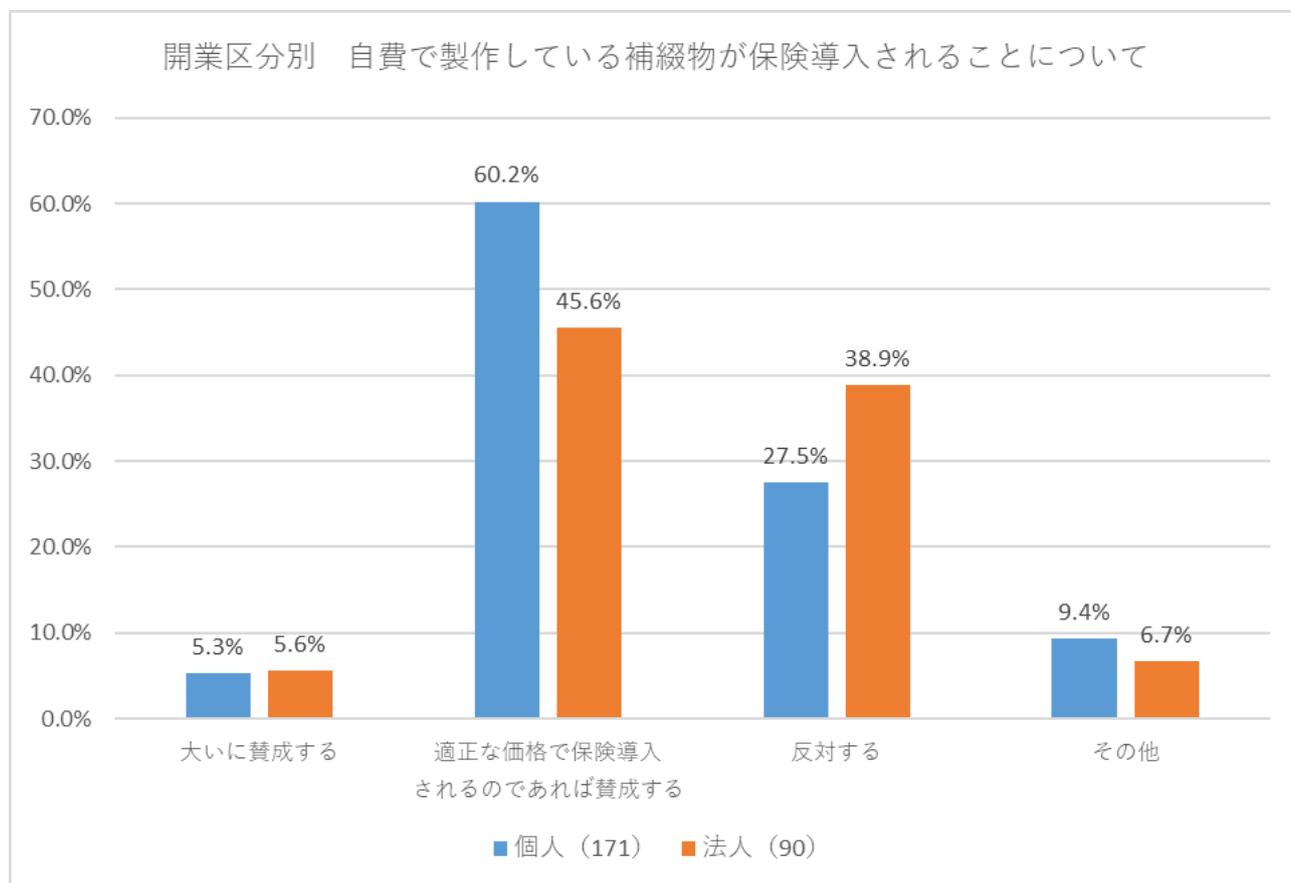
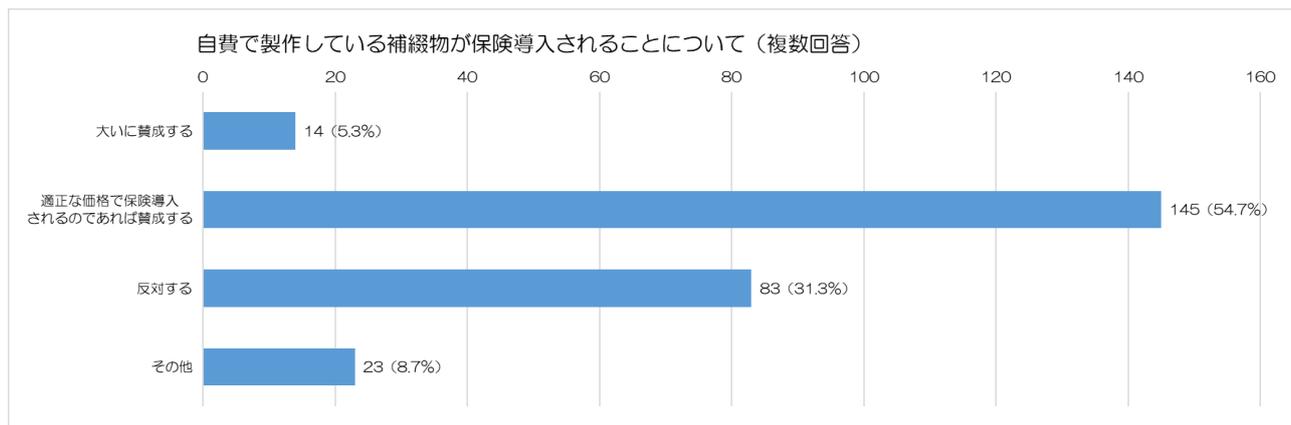
その他の意見

- ・7:3でなく、10:0か9:1
- ・7:3ではなく、10:0でもいいと思っている。
- ・7:3の徹底もされず安く製作してくれれば製作物がどのようなものでも患者はわからないのでという歯科医師
- ・ダンピングの廃止とバックマージンの廃止
- ・トレーサビリティの徹底
- ・もしくは保険適応外にすることを希望します
- ・医院が大きくなると院内技工所を作りはじめるが、これがブラックを生んでいる。院内の働き方が一般的な働き方のルールからも外れる。
- ・営業ラボの排除
- ・介護保険参入
- ・完全に手遅れです
- ・技工士がいれば製作できるように
- ・技工料金100%が技工所に入るように法律を作る。歯科医院には調整料だけ入れればいい
- ・技工料金の全体的な底上げ
- ・急がないと未来がない、絶対に！
- ・厚生労働省の現場をわかっていない保険点数設定！！
- ・歯科も大変らしく料金は開業以来変わらず
- ・需給のギャップを埋めるため、技工士の削減以外にない
- ・制度を守らない業界は相方とも滅びる
- ・製作料が確実にとどくこと。金額のアップ
- ・直接請求は技工士会に入会の第一の目的だったが、とうとう芽を見ずに終える結末に
- ・点数に対して10:0でも採算は厳しいと思う
- ・同じ価格で保険請求の技工所直接請求
- ・保険をやらない
- ・保険の撤廃、全部自費
- ・保険の点数を上げる
- ・保険をしていないのでわからない
- ・保険化の撤廃
- ・保険技工所だけで関係ない話
- ・保険治療が存在するから腕のない医師や技工士がはびこるので廃止
- ・保険制度、撤廃
- ・補綴を保険からなくす。まともに製作できる料金ではない

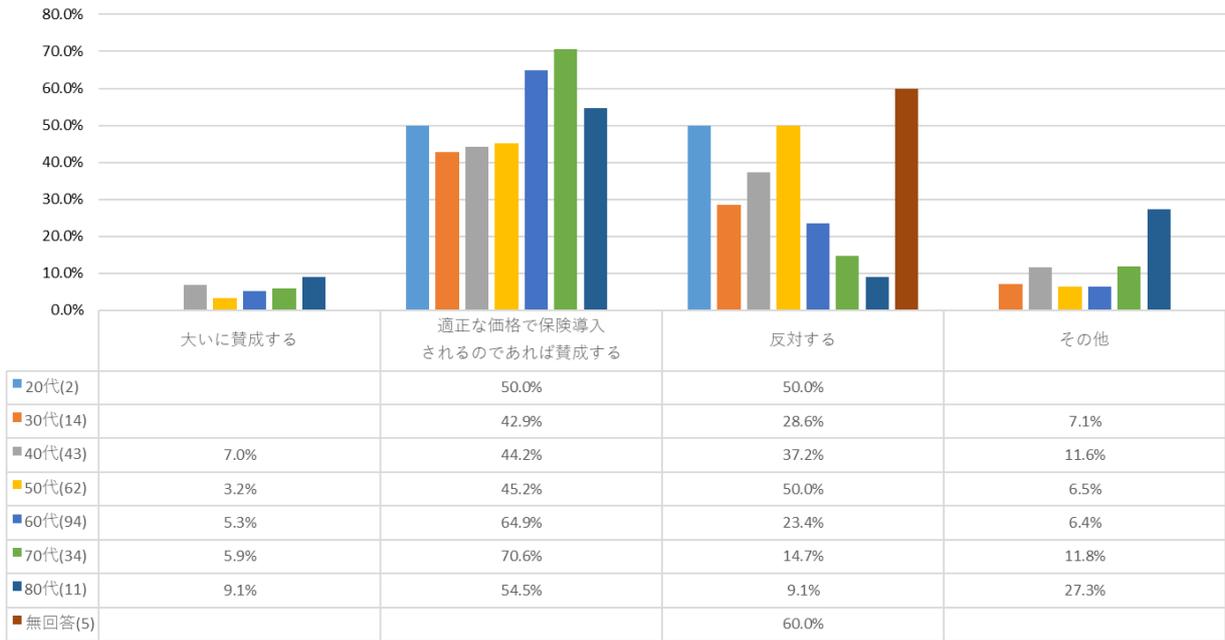
25. 自費で製作している補綴物が将来保険導入されることについて、どう感じますか。

- 大いに賛成する 適正な価格で保険導入されるのであれば賛成する
反対する その他 ()

自費で製作している補綴物が将来保険導入されることについては「適正な価格で保険導入されるのであれば賛成する」が55%と最も多かった。個人では60%、法人では46%が「適正な価格での保険導入されるのであれば賛成する」と回答した。なお、年代別では20～50代が「適正な価格で保険導入されるのであれば賛成する」と回答した割合は50%以下であった。



年代別 自費で製作している補綴物が保険導入されることについて



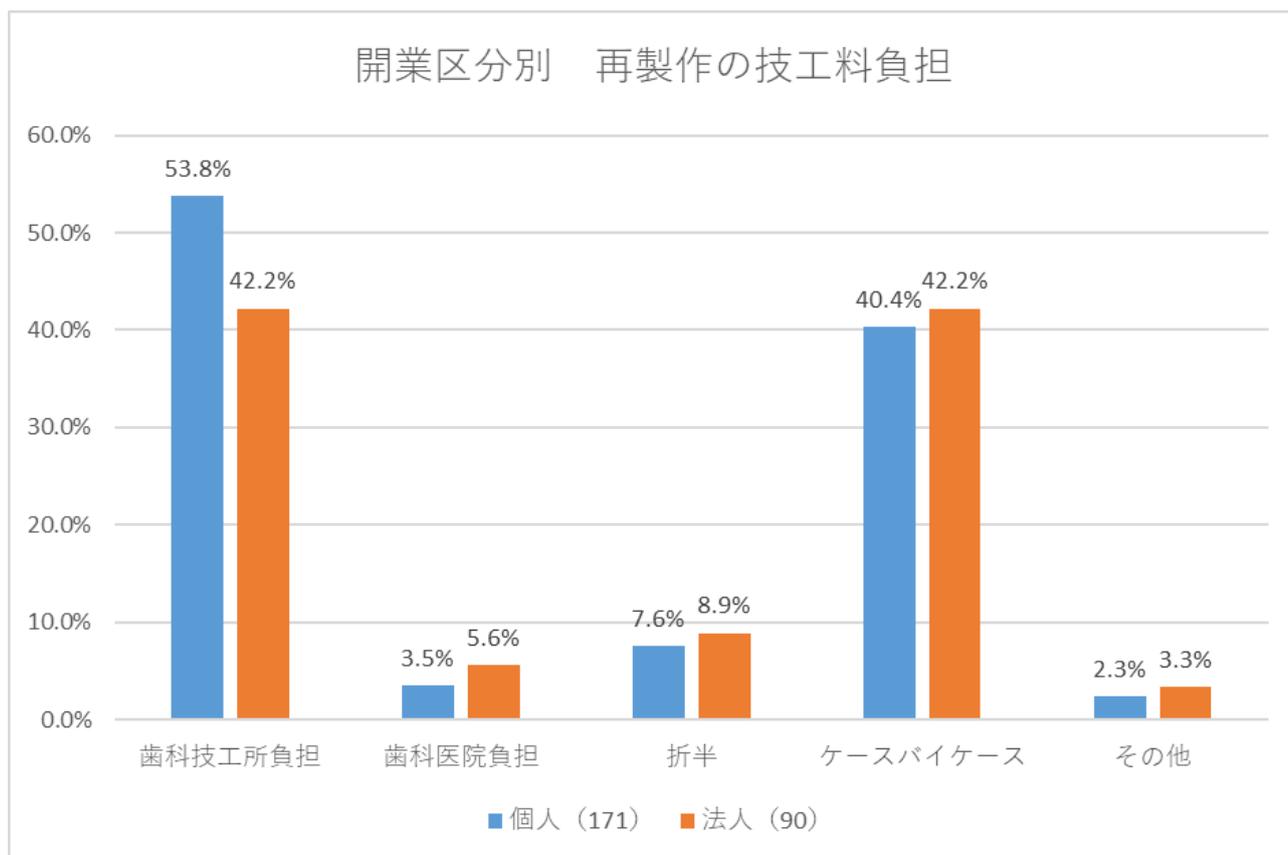
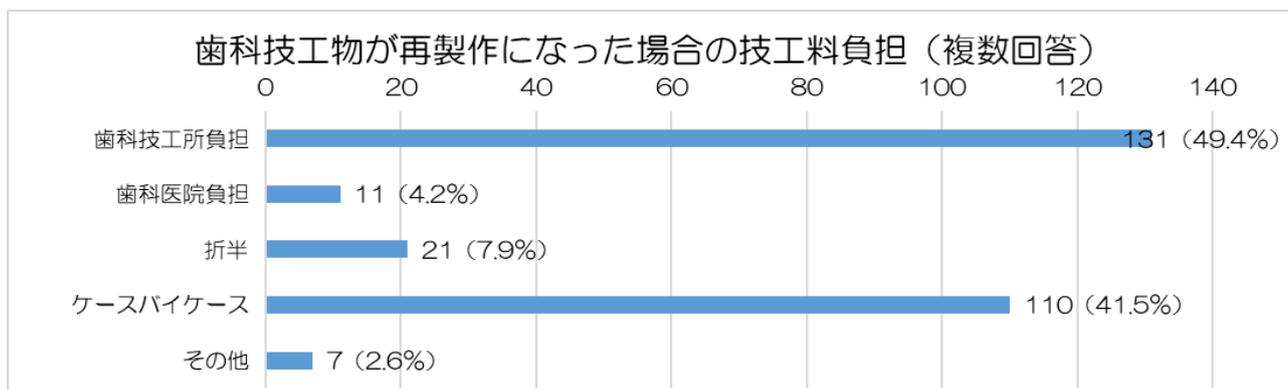
その他の意見

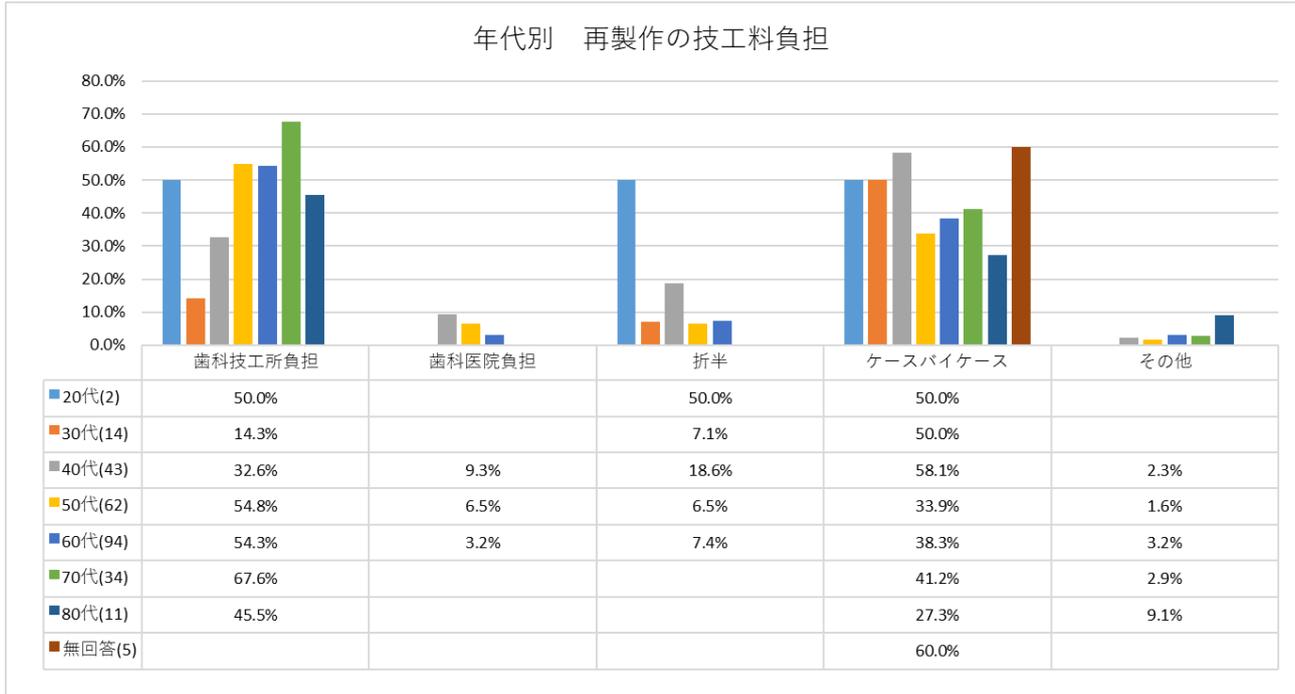
- ・ 7 : 3 であれば○
- ・ ジルコニアなどを保険に入れるのを賛成する
- ・ その時は技工をやめる時
- ・ どちらでもよい
- ・ ハイブリッドインレーの保険導入をしてほしい
- ・ マテリアルとの関連性なので答えられない。粗雑マテリアルは結局ダメ。
- ・ まともな料金が取れない
- ・ 医学財源構造の改革により国民歯科医療の実現を図る
- ・ 海外発注を希望するので賛成する
- ・ 機械導入費がないため
- ・ 技工料の値上げになりやすい
- ・ 技工料金も保険点数分直接請求できないままだと技工所の利益が減ってしまうだけになる
- ・ 強大な設備投資が必要となるものならば、人材不足と相まって小規模ラボなどはつぶれていくでしょう
- ・ 今もそうだが、へたくそなプレスやジルコニアが増えてただイメージが悪くなるだけ
- ・ 自費でも適正な価格を支払われない現実。
- ・ 自費の技術の低下
- ・ 自費は保険と一緒にならないと思う
- ・ 誰の為にもならない
- ・ 知らなかった
- ・ 導入されても歯科医がそれに見合う技工代を払わないと思う
- ・ 品質低下の危惧
- ・ 保険点数を上げて技工士技術料とする

26. 現在、歯科技工物が再製作になった場合の技工料負担はどのような扱いですか？

- 歯科技工所負担 歯科医院負担 折半
 ケースバイケース その他

歯科技工物が再製作になった場合の技工料負担については、技工所負担が49%（前回54%）と半数近くが技工所負担となっている。年代別では50代以降の50%以上が歯科技工所負担となっているが、30代、40代ではケースバイケースでの負担が最も多かった。

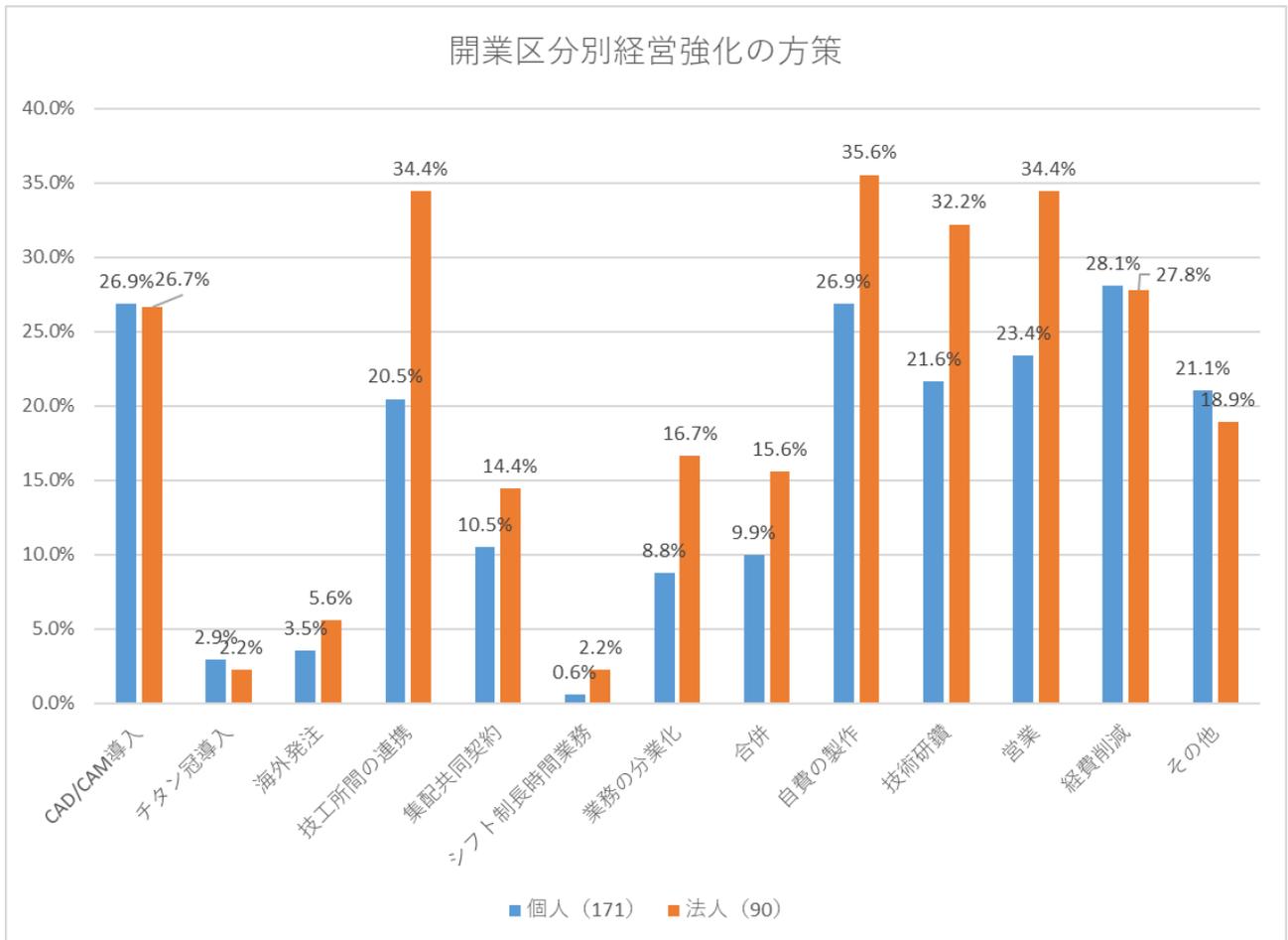
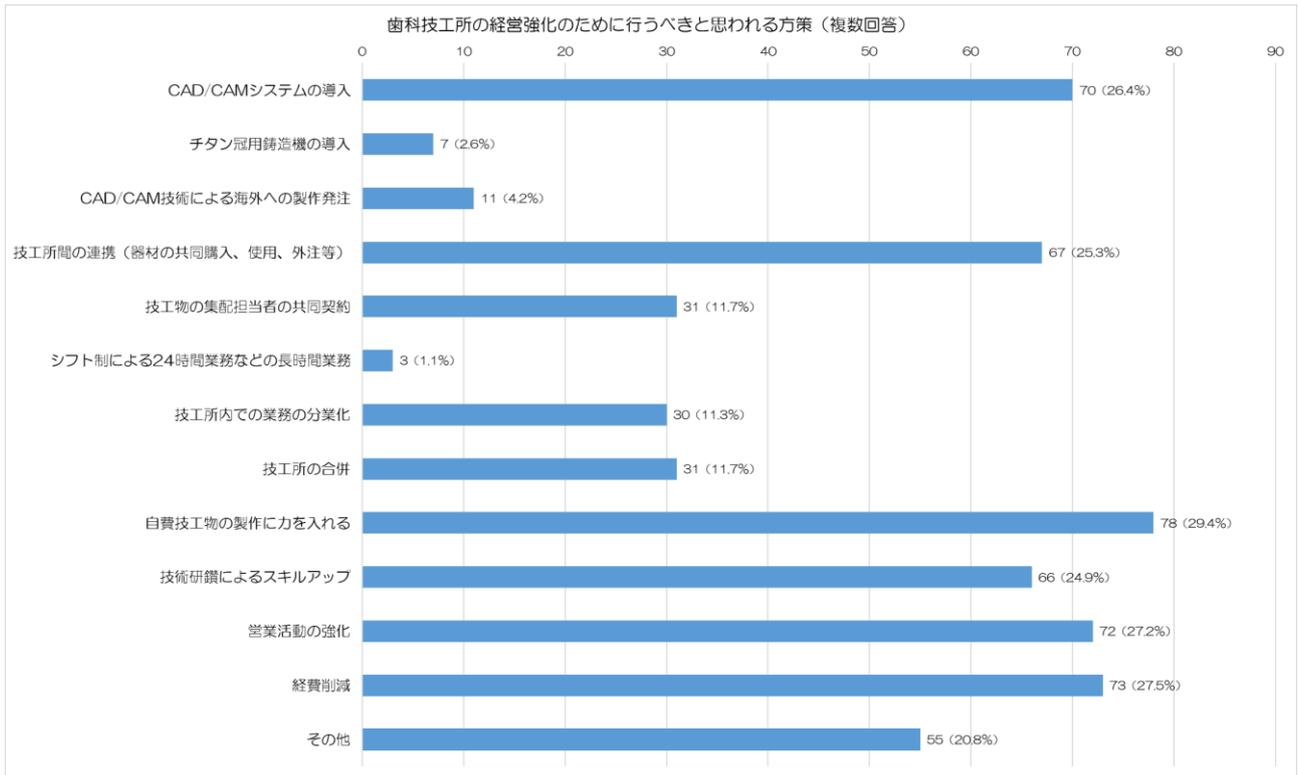


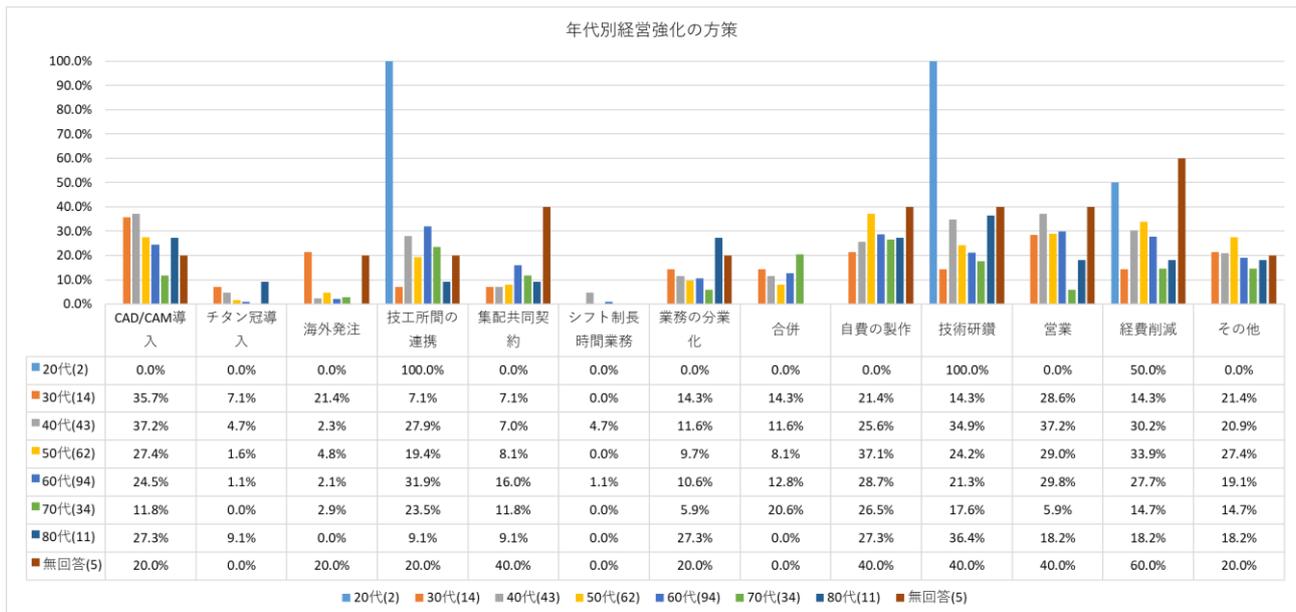


27. 今後、歯科技工所の経営強化のために行うべきと思われる方策についてお選びください。(複数回答可)

- | | |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> CAD/CAM システムの導入 | <input type="checkbox"/> チタン冠用鋳造機の導入 |
| <input type="checkbox"/> CAD/CAM 技術による海外への製作発注 | <input type="checkbox"/> 技工所間の連携(器材の共同購入、使用、外注等) |
| <input type="checkbox"/> 技工物の集配担当者の共同契約 | <input type="checkbox"/> シフト制による24時間業務などの長時間業務 |
| <input type="checkbox"/> 技工所内での業務の分業化 | <input type="checkbox"/> 技工所の合併 |
| <input type="checkbox"/> 自費技工物の製作に力を入れる | <input type="checkbox"/> 技術研鑽によるスキルアップ |
| <input type="checkbox"/> 営業活動の強化 | <input type="checkbox"/> 経費削減 |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

今後、歯科技工所の経営強化のために行うべき方策では、「自費技工物の製作に力を入れる」が29%と最も多かった。次いで「経費削減」が28%、「営業活動の強化」が27%となった。一方、30代以下の若い世代では「技工所毎でのCAD/CAM冠等の機械の導入」が多く回答された。



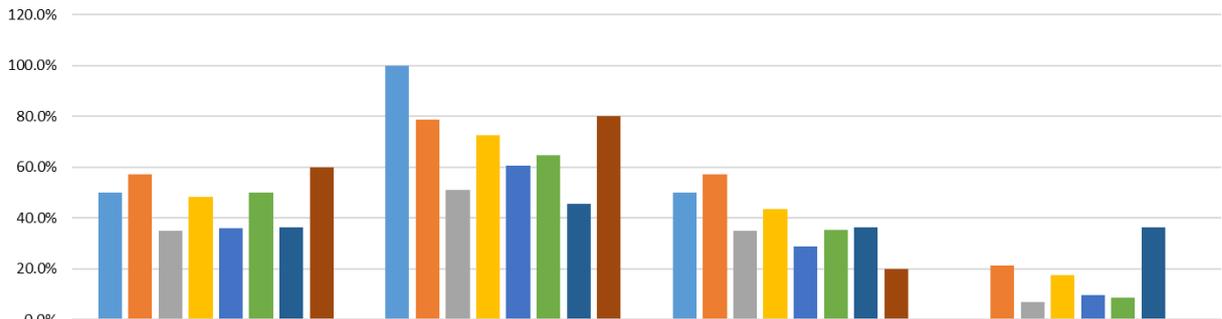


その他の意見

- ・ 1. 単価の向上 2. 歯科医院による納期の決定の廃止 3. 集配業務を技工所から各歯科医院にする
- ・ IOS の保険導入
- ・ インターネット等のマッチング (DC. 技工所間) をやめさせてほしい。お金の流れが良くない。E パークみたいな感じです。ドクター→技工所→運営
- ・ オペレーションの最適化
- ・ この業種は機械の充実じゃないです。人材の充実が大事！若手の技工士がこの仕事「わり合わねー！」と思わず生活して未来に希望が持てるようにする事が強化につながる。
- ・ そろそろ、やめようと考えている
- ・ ダumpingの廃止、最低価格（自費も含む）の設定
- ・ ダumping合戦している現状の改善
- ・ チタン冠はなぜ保険に入っているのですか？
- ・ 海外への製作発注を国で認めているのが違法。技工士法に違反していると思います。
- ・ 保険の補綴物の点数は技工士料にする。
- ・ どれだけ技工所が経営強化を図っても適正価格をドクターに請求できない時点で無理！
- ・ どれもあてはまらない、あてての技術スキルアップ
- ・ どれもそう簡単にできるものではない
- ・ ハンドメイドなので保険制度を技工士が直接請求しないとやりがいがないと思います
- ・ もっと以前に対策すべきで今さらの立て直しは無理 人材がいません
- ・ 営業～納品まで全業務における DX 化（人手不足は深刻です）
- ・ 介護への参入でタスクシフトを早期実現することによって、国民の理解を求めることが早急です
- ・ 器材の共同購入・使用・外注・業務の分業等はトラブルの元、技工物の製作は1から10まで個人でやるべきだと思います
- ・ 技工士への報酬、価値を高めてほしい
- ・ 技工士助手という立場でのスタッフを認め、明確化させること

- ・ 技工所のデジタル化
- ・ 技工所内での業務の分業化は医療ではなくなる（ビジネスです）
- ・ 技工納期の予約システムの開発
- ・ 技工物への対価値上げ
- ・ 技工料が上がらなければどうにもならない
- ・ 技工料の適正化
- ・ 技工料金の値上げ
- ・ 技工料金の値上げ→賃金 UP することで人手を確保→仕事受注を増やす。結局、薄利多売の業界なので、仕事をたくさんやるしかない。海外への製作発注はすべきではない。以前、中国の技工発注をしている大手が出てきた時、先生から「こんな営業来たけど、技工料安いんだよね。お宅どうする？」と足元を見て値下げを遠回しに要求されたことがある。海外への依頼は逆に技工士の首を絞めることになると思うから絶対に反対。
- ・ 技工料金の適正化、現状の最低賃金に照合した最低の技工料金の基準を法制する。現時点では勤続 10 年の技工士の賃金単価はコンビニストアの高校生のパートタイムより低賃金になっています。これでは人材の確保はできません
- ・ 技工料金を上げない限り、今後の人員不足は解決しない　すでに大問題になっているのにデンタル導入に焦点が当てられる質問ばかり
- ・ 技工料値上げ
- ・ 協業
- ・ 金の相場が気になる。まだ MB の自費は存在する。アメリカの金市場で相場が決まる。日本は左にならうしかない　政府では現実どうしようもない
- ・ 経営の強化は料金の適正のみ
- ・ 高齢につきなし
- ・ 国が技工料を管理する（歯科医師会は除外する）
- ・ 歯科医の勉強
- ・ 歯科医院との関係強化
- ・ 社会人としての教育
- ・ 人材確保だが、大手のように金は出せないなので、当技工所には人は来ない
- ・ 設備投資
- ・ 大幅値上げしかない（技工料）
- ・ 値段をもう少し見直した方が良い　どんどん悪くなる一方　そもそも歯科技工士に限らず意識がとても低い　悪いところに目がいつてしまっている
- ・ 適正価格に極力して頂く（低価格で引き継いだ歯科医院）
- ・ 保険関連について分からない
- ・ 保険点数をあげてほしい
- ・ 無理したくない
- ・ 料金の値上げ
- ・ 料金の値上げ 40～55%以上

年代別保険導入を希望する評価



年代	製作側での製作	依頼で歯科医院に赴く	在宅等での製作	その他
20代(2)	50.0%	100.0%	50.0%	
30代(14)	57.1%	78.6%	57.1%	21.4%
40代(43)	34.9%	51.2%	34.9%	7.0%
50代(62)	48.4%	72.6%	43.5%	17.7%
60代(94)	36.2%	60.6%	28.7%	9.6%
70代(34)	50.0%	64.7%	35.3%	8.8%
80代(11)	36.4%	45.5%	36.4%	36.4%
無回答(5)	60.0%	80.0%	20.0%	

その他の意見

- TEL やメールによる相談に対する評価
- シェード
- シェードテイキング等計画診療
- すでに立ち合いでチャージしているので必要ない
- チェアサイドでのシェードテイキング
- ほとんど依頼されることないので、どうでもいい
- ムリ
- 依頼による協働
- 加点を増やすより、1種類1種類の点数上げる。保険→全部自費
- 各医院が定める補償の押し付け
- 希望しない！現状では歯科医師の収入増になるだけ。技工士の報酬につながらない。そもそも協会は協働した場合の確認をどう取るのですか？
- 技工作業は技工士がやったもの、事全てにおいて点数をつけてほしい
- 協働しても技工士が評価されるのか、そこが疑問です
- 現在訪問診療にジレンマがあり、早期解決を望みます 人手不足により依頼があっても希望にそえていない現実を見てください 患者が希望しているのに???
- 現状のままでボランティアによる協力が望ましい
- 私はトライに参加する事はありますが、難しく考えた事はない。
- 歯科医師の報酬が少ないとの事で昔から技工所は押さえられている 出来ない！！
- 歯科技工士まで報酬が来ないので、やってもダメかも
- 歯科技工指示書記入の点数化

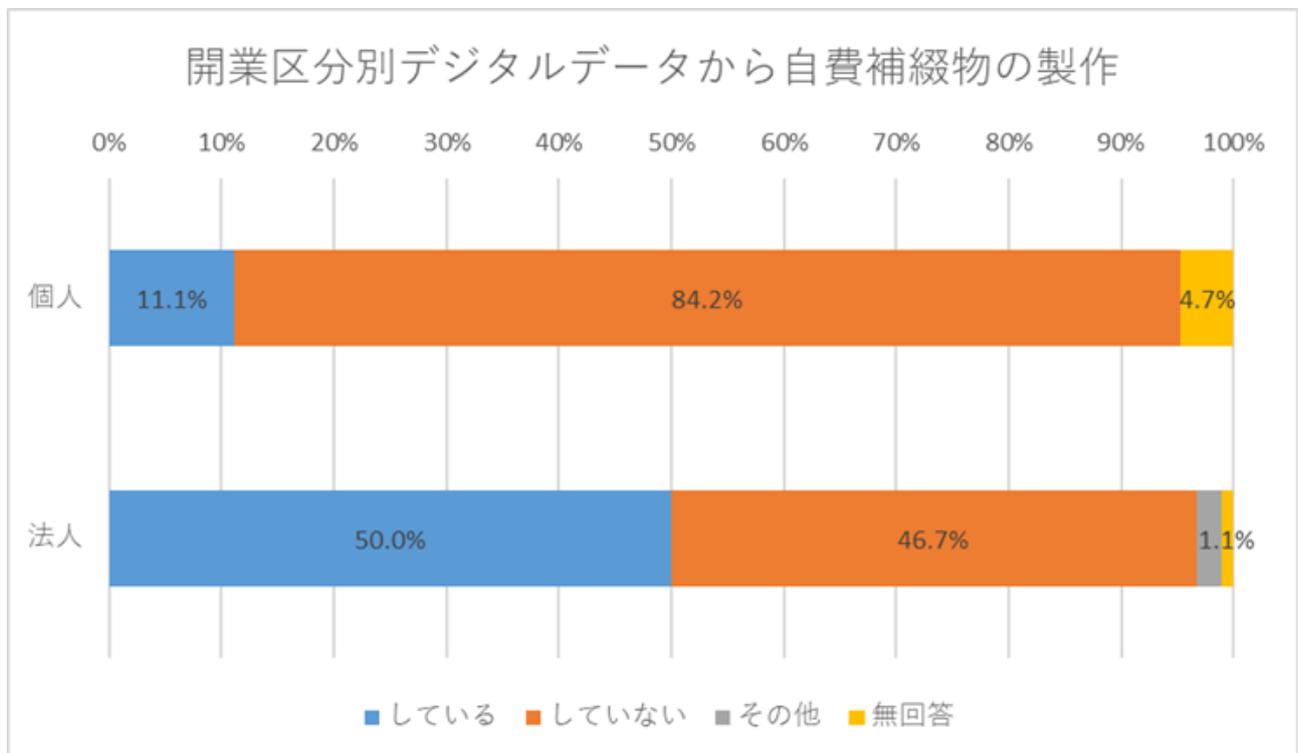
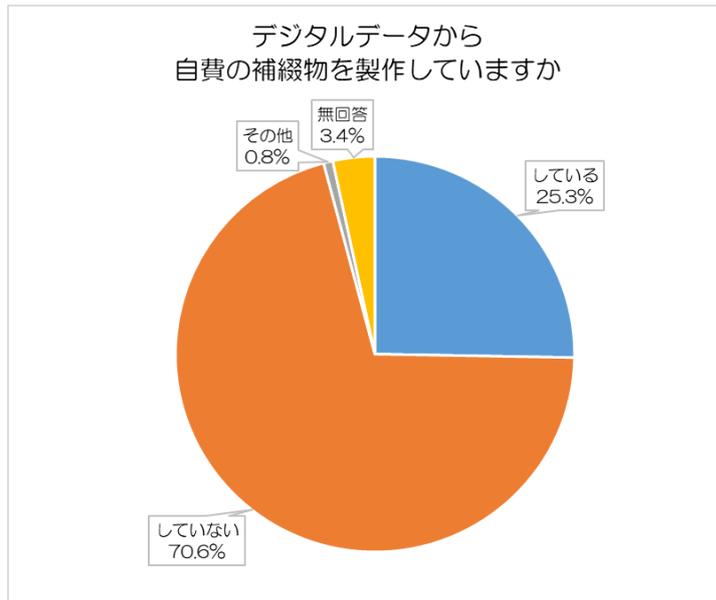
- ・ 歯科補綴に関する部分で「技工」そのものに関する技術を認めて欲しい
- ・ 全部を保険導入したとしても技工士が直接請求できなければ意味がない
- ・ 同行した事なし
- ・ 反対 立ち合いは自費を考えます
- ・ 不採算にならないければなんでもいいのでは？
- ・ 不正請求の温床になるから反対
- ・ 保険 CAD の再製と一定期間内での再製は全て報酬を頂かないと技工士負担となる。模型に合っているにもかかわらず再製は認められない。
- ・ 保険導入した所で今のような評価が低い状態では意味なし
- ・ 模型製作・咬合器に模型をつける過程など
- ・ 立ち合いが多くなると、経営が難しくなります。労働時間がすごく長くなってしまふ為、反対します
- ・ 立ち合い費を請求すればいいのでは

29. 模型・印象からでなくデジタルデータから自費の補綴物を製作していますか。

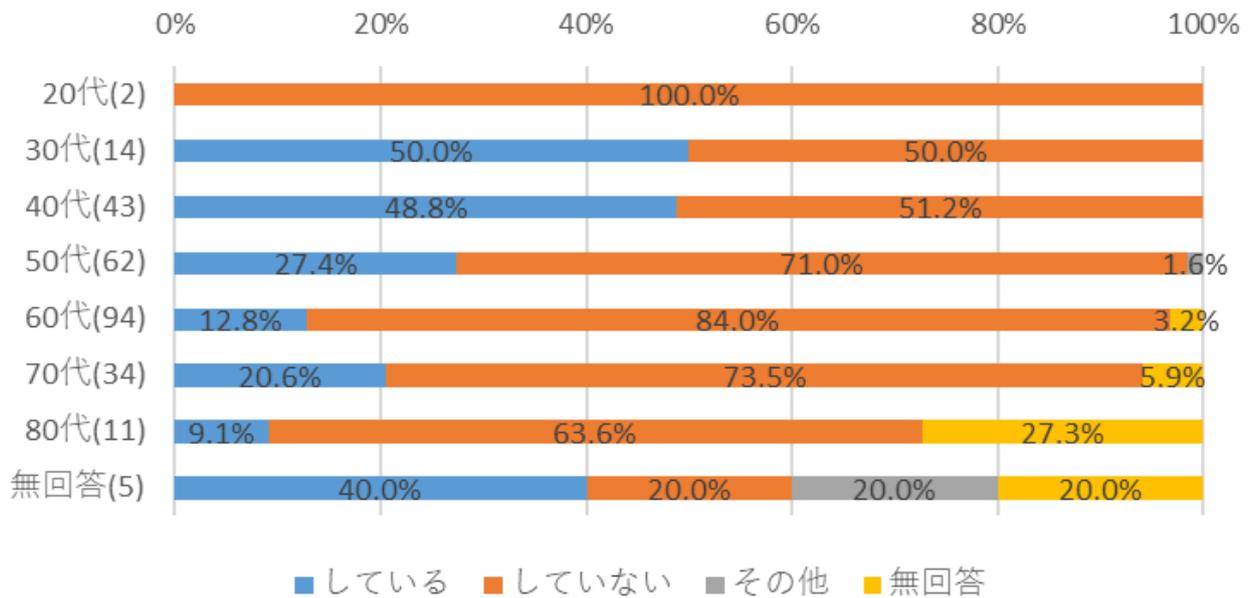
□している □していない □その他 ()

デジタルデータから自費の補綴物を「製作している」との回答は25%、「していない」は71%であった。法人では50%が「している」と回答したのに対し、個人では11%であった。年代別では30代、40代の割合が高かった。

している	67
していない	187
その他	2
無回答	9
計	265



年代別デジタルデータから自費補綴物の製作



30. コロナ禍で助成金は申請されましたか。

申請した 申請しなかった 申請できるものがなかった 知らなかった
 ⇒申請したと回答された方へ 当てはまる助成金を全てチェックしてください。

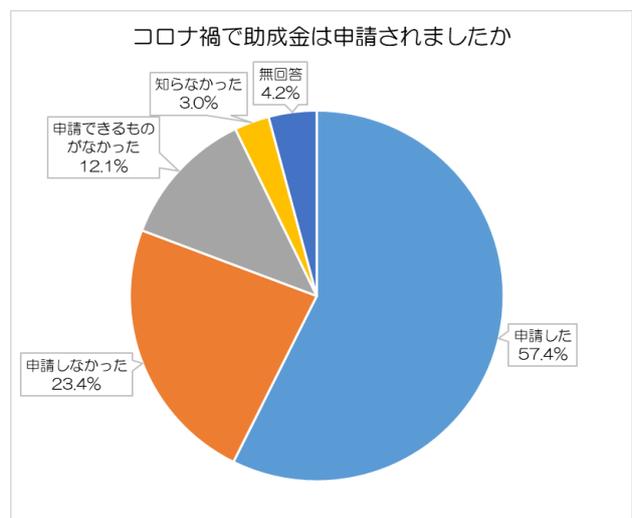
持続化給付金 家賃支援給付金 雇用調整助成金

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金 IT 導入補助金特別枠

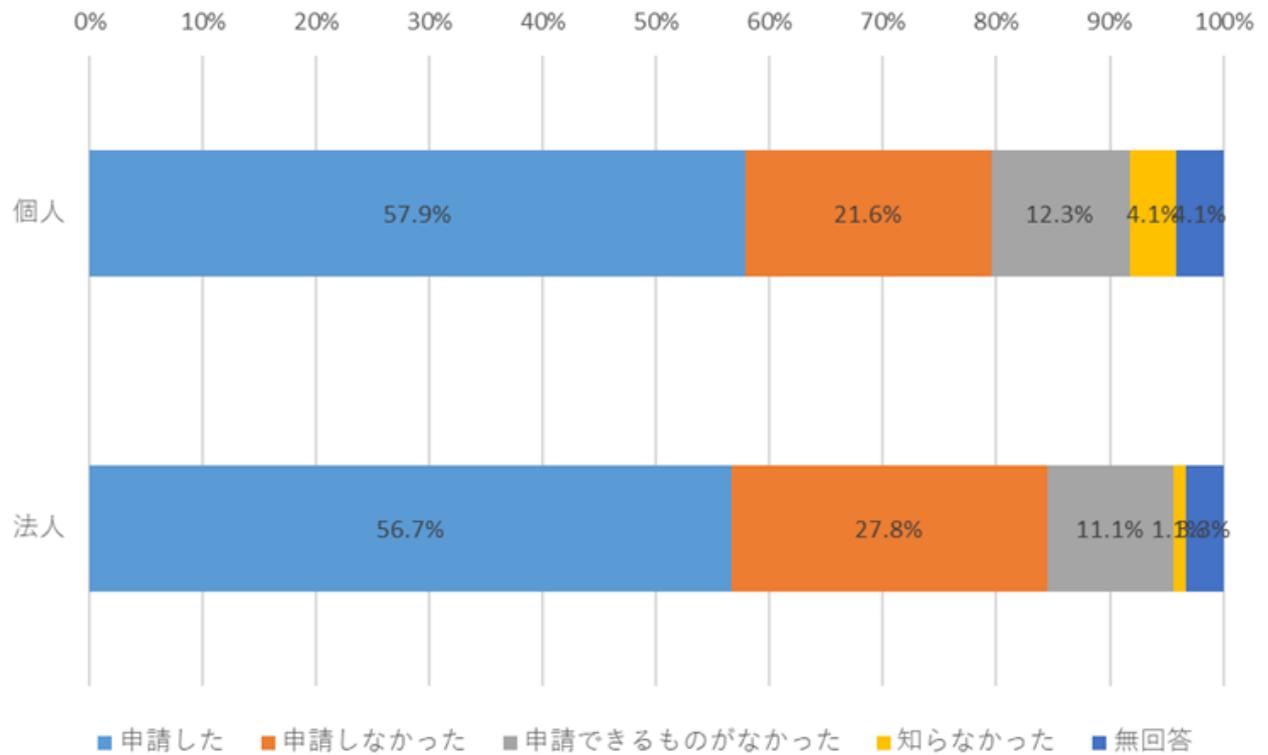
その他 ()

コロナ禍での助成金についての回答は「申請した」が 57%、「申請しなかった」が 24%、「申請できるものがなかった」が 12%、「知らなかった」が 3%であった。申請した助成金の種類としては「持続化給付金」が 88%、「家賃支援金」が 22%であった。

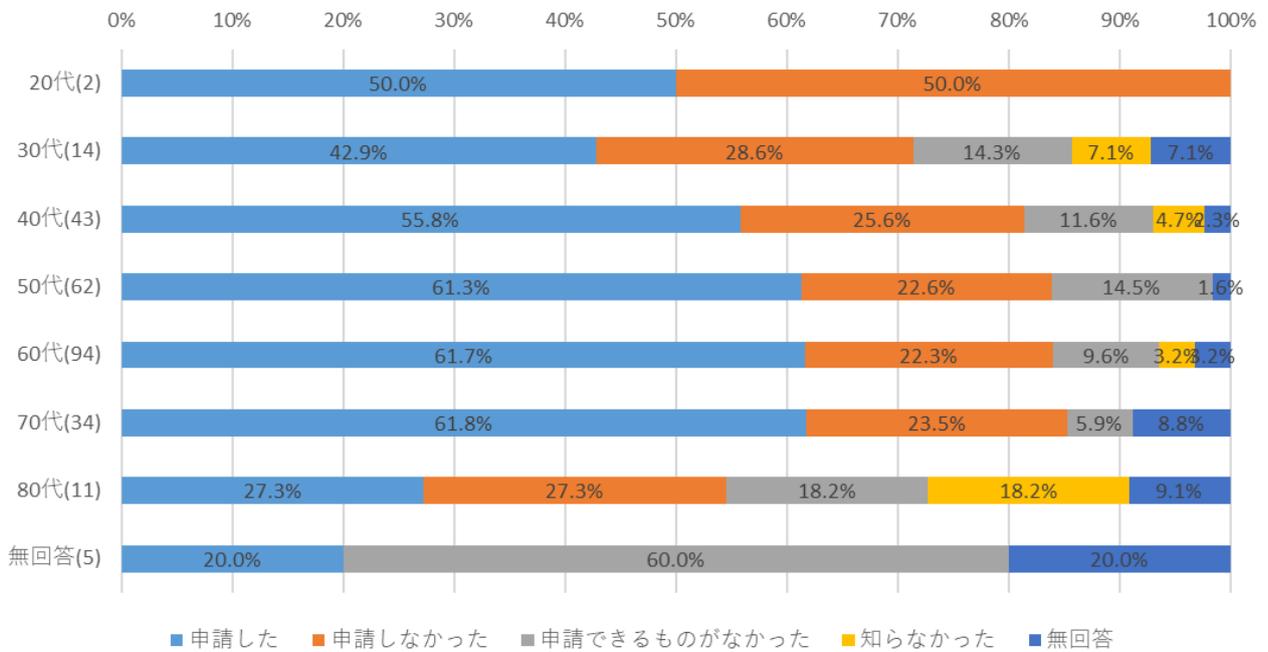
申請した	152
申請しなかった	62
申請できるものがなかった	32
知らなかった	8
無回答	11
計	265



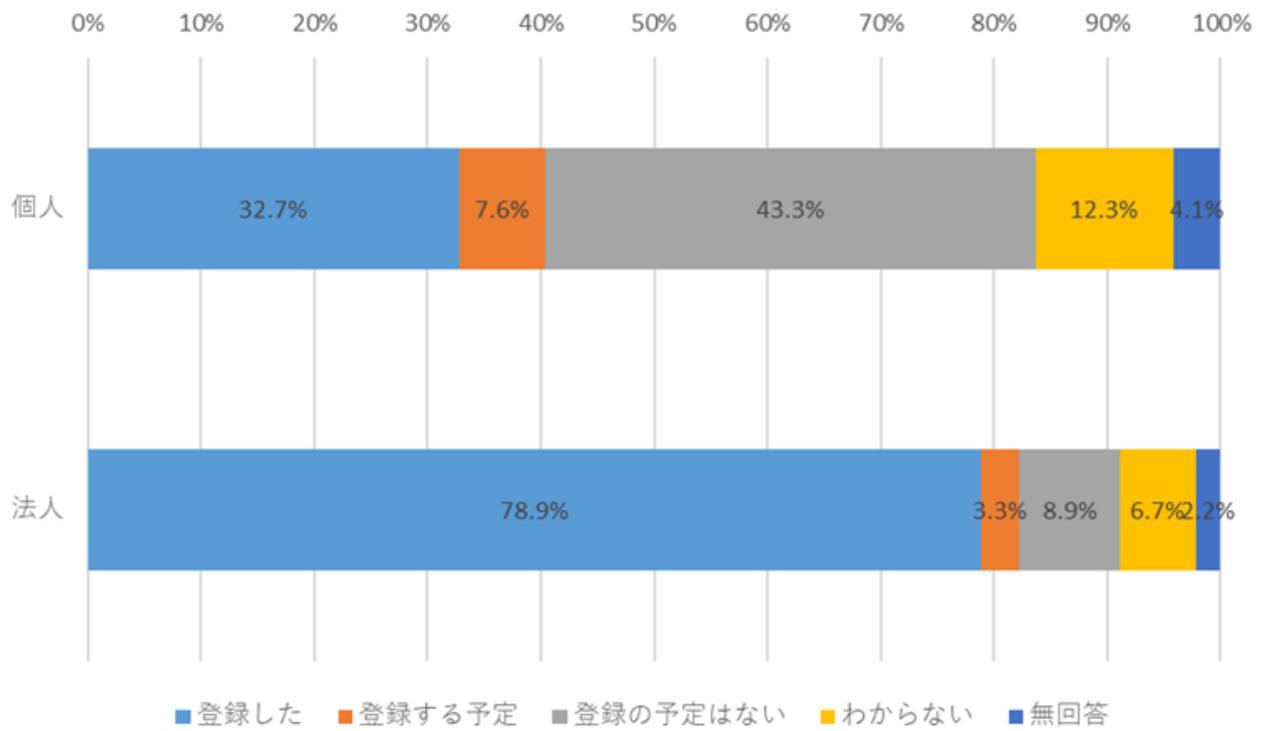
開業区分別助成金の申請状況



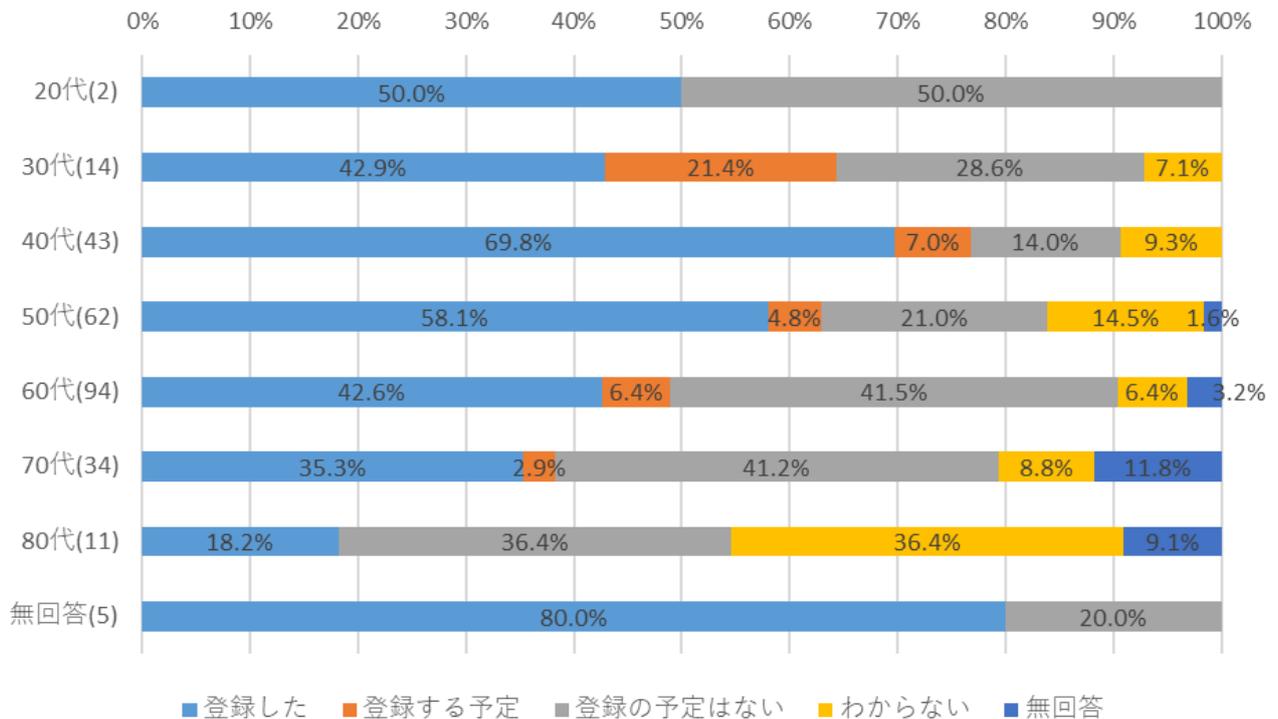
年代別助成金の申請状況



開業区分別インボイス登録状況

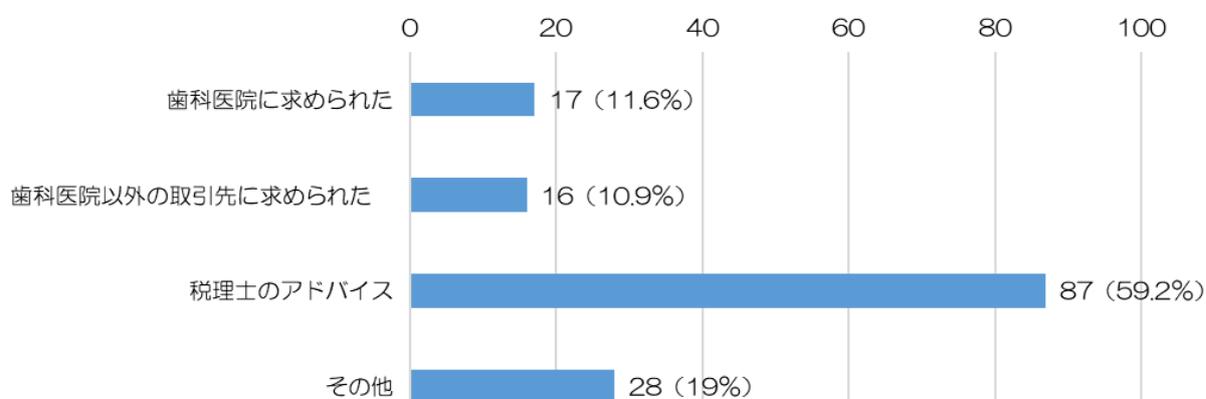


年代別インボイス登録状況



インボイスを登録した・登録する予定の理由（複数回答）

N:147



その他の記載欄

- ・1,000万円以上あるから
- ・もともと早い段階でインボイスを認知していたから
- ・やむをえず
- ・各補助金・助成金申請に必須の為
- ・技工士会のすすめ
- ・仕事なくなる、受注なくなる
- ・自らの判断
- ・自ら進んで
- ・自己判断
- ・自主
- ・自費メインのため
- ・自分で必要だと思った
- ・社会的信用のため
- ・商売として必要を感じたから
- ・信用のために
- ・税理士の方から現状のままでよいと言われた。
- ・年商1,000万円以上になった年がありました。
- ・納税をしているため
- ・必要と思ったから
- ・必要に応じて
- ・法人の為
- ・免税業者でないので

東京歯科保険医協会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-8

いちご高田馬場ビル 6F

TEL : 03-3205-2999

FAX : 03-3209-9918

HP : <http://www.tokyo-sk.com/>

E-mail : info@tokyo-sk.com